

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

三重県教育委員会

平成26年11月6日

本年4月に小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月25日に文部科学省から公表されました。

本県では、平成24年度から、子どもたちの学力向上に学校・家庭・地域が一体となって取り組む「みえの学力向上県民運動」を展開してきました。このような中、教科に関する調査結果は、全ての教科で全国の平均正答率を3年連続下回るなど厳しいものであり、今こそ、三重の教育に携わる関係者が心を一つにこの状況を改革していく必要があります。

教科に関する調査では、小・中学校とも国語に大きな課題があるとともに、小学校では算数にも課題がありました。

特に、国語においては、

- ・既習の漢字や故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で適切に用いること
- ・目的に応じて、事実と感想、意見などの関係を整理して書いたり読んだりすること

などに課題がありました。算数・数学においては、

- ・B問題（主として「活用」に関する問題）では、A問題（主として「知識」に関する問題）と比べると無解答率が高く、全国と比較してもその差がA問題より開いている状況にあること

・関係を見だし説明したり、根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり、表現することなどに課題がありました。このようなことから、学習活動の基盤となる言語に関する能力の育成についての課題が、主として「活用」に関する問題（B問題）の無解答率の高さにもつながっていると推察されます。

児童生徒や学校に対する質問紙調査では、全国平均と比較して、校内研修の実施回数は多いにもかかわらず、授業の進め方（「めあての提示」と「振り返る活動の計画的な設定」等）の改善がなされていない、学校での校長の授業の見回りが少ない等、基本的な指導方法の徹底や組織的な取組に課題があります。また、朝の読書は実施しているものの学校図書館を活用した授業の取組が少ない等の状況にあります。さらに、地域の行事への参加や学校への地域人材の協力は多く、家庭での学習時間についても一定の改善が見られるものの、全国に比べると学習・生活習慣にも課題がありました。

今回の調査結果から、子どもたちの可能性を十分に引き出せていない現状を真摯に受け止め、当調査で明らかになった児童生徒の学力の定着状況や学習状況、生活習慣等とこれまでの取組とを関連付けて検証を行いました。

県教育委員会では、ここにお示しした内容を広く県民の皆様方と共有するとともに、市町教育委員会や学校等と連携し、子どもたちの学力向上のために取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項等」をご覧ください。

「実施要領（抄）」[PDF](#)（148KB）

<掲載内容>

- [1 教科に関する調査の結果・分析](#)
- [2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）の結果・分析](#)
- [3 学力向上に向けた施策取組結果等の状況](#)
- [4 児童生徒の学びの充実を図るための県教育委員会による今後の取組](#)
- [5 各市町等別の質問紙調査（児童生徒用・学校用）の結果等](#)
- [6 各市町等別調査の結果・分析と今後の取組](#)

1 教科に関する調査の結果・分析

(1) 平均正答率の状況

<小学校>

平均正答率	国語 A		国語 B		算数 A		算数 B	
実施年度	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
三重県	60.3	69.6	46.7	52.5	75.8	76.2	55.3	56.0
全 国	62.7	72.9	49.4	55.5	77.2	78.1	58.4	58.2
全国の平均正答率との差	-2.4	-3.3	-2.7	-3.0	-1.4	-1.9	-3.1	-2.2
								
全国の平均正答率以上の学校数	132 校 (34.0%)	105 校 (27.9%)	118 校 (30.4%)	119 校 (31.6%)	158 校 (40.7%)	143 校 (37.9%)	115 校 (29.6%)	139 校 (36.9%)
								

※ () 内は、平成 25 年度実施校 388 校、平成 26 年度実施校 377 校に占める割合を示す。

<中学校>

平均正答率	国語 A		国語 B		数学 A		数学 B	
実施年度	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
三重県	75.0	78.0	65.8	49.0	63.2	67.1	39.3	58.3
全 国	76.4	79.4	67.4	51.0	63.7	67.4	41.5	59.8
全国の平均正答率との差	-1.4	-1.4	-1.6	-2.0	-0.5	-0.3	-2.2	-1.5
								
全国の平均正答率以上の学校数	61 校 (37.4%)	59 校 (37.1%)	64 校 (39.3%)	55 校 (34.6%)	80 校 (49.1%)	76 校 (47.8%)	59 校 (36.2%)	65 校 (40.9%)
								

※ () 内は、平成 25 年度実施校 163 校、平成 26 年度実施校 159 校に占める割合を示す。

本年度の平均正答率は、昨年度に引き続き、全ての教科において全国の平均正答率を下回っており、小学校国語 A・B、小学校算数 A、中学校国語 B において全国の平均正答率との差がさらに開いている状況にあります。

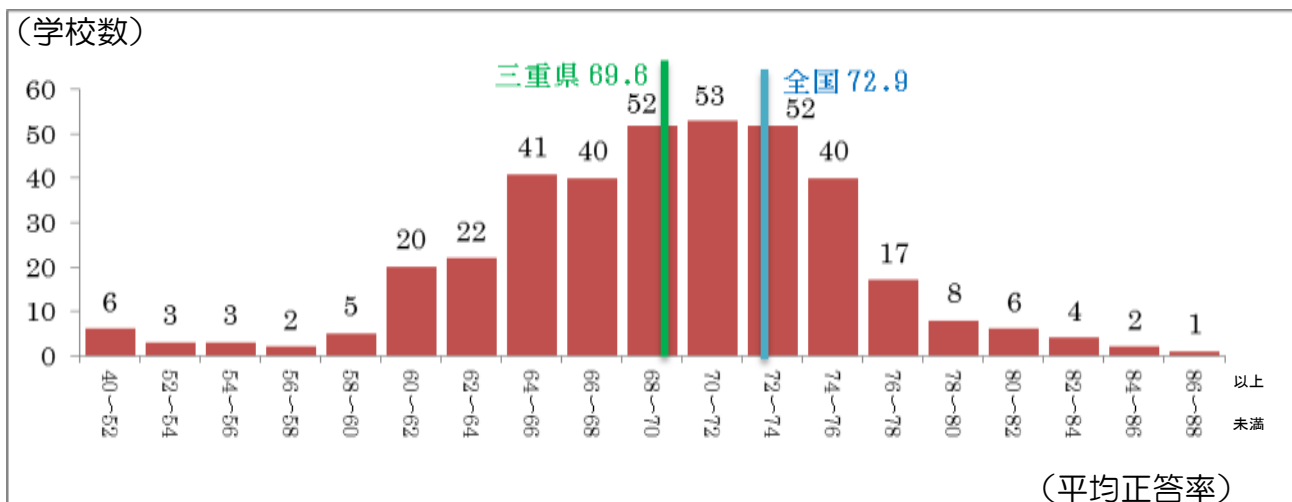
※ A 問題とは、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題

B 問題とは、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

（２）平均正答率の分布状況

<小学校>

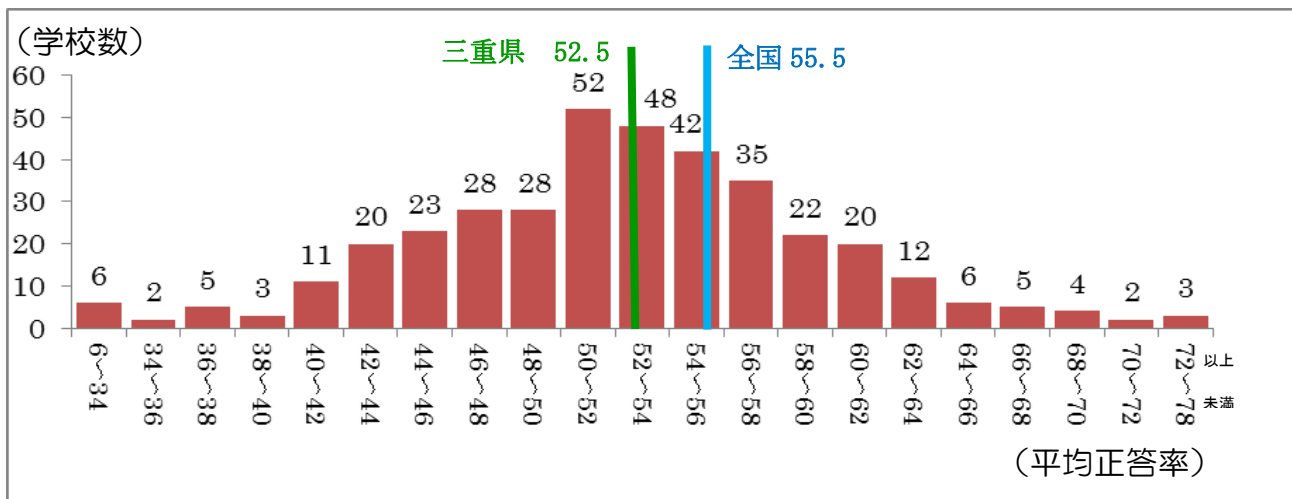
[小学校・国語Ａ]



全国の平均正答率 72.9 %未満の学校は 272 校（全体の 72.1 %）で、7割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は 105 校（全体の 27.9 %）に留まっています。

小学校及び中学校における教科に関する調査の中で、全国の平均正答率以上の学校数の割合が最も低くなっています。

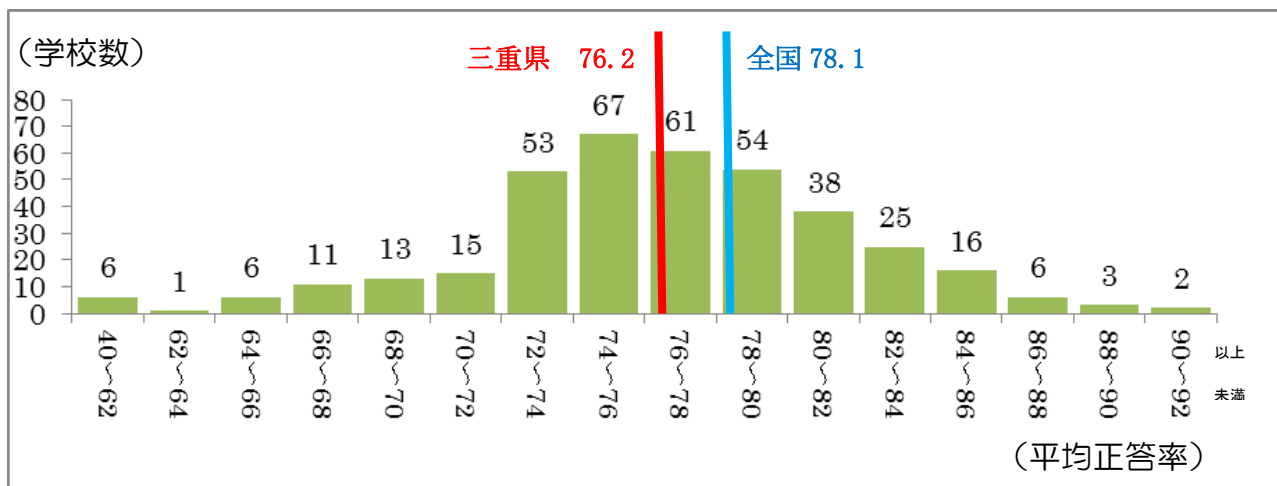
[小学校・国語Ｂ]



全国の平均正答率 55.5 %未満の学校は 258 校（全体の 68.4 %）で、6割を大きく超えており、全国の平均正答率以上の学校は 119 校（全体の 31.6 %）に留まっています。

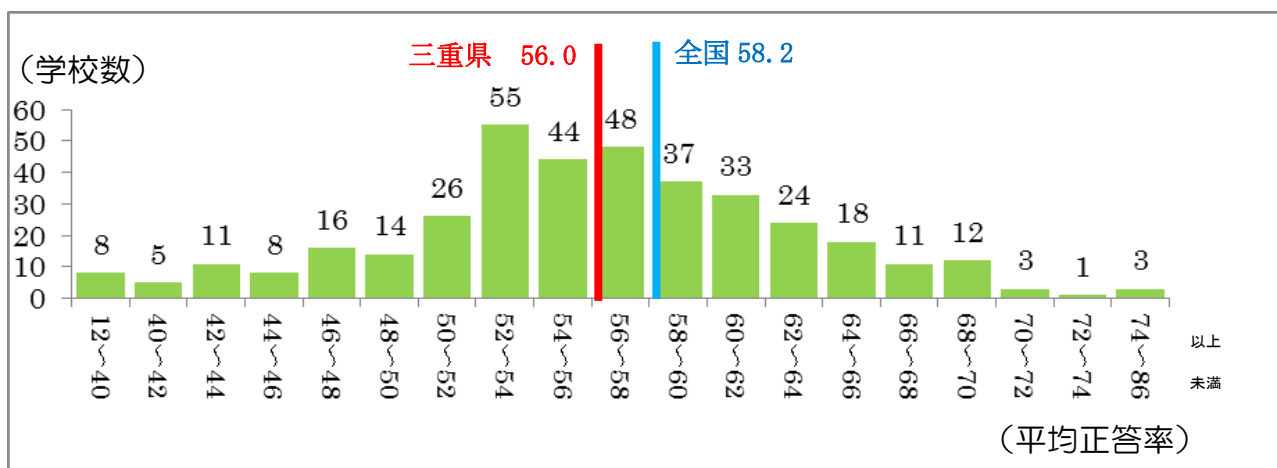
小学校における教科に関する調査の中では、平均正答率の分布の幅が広がっています。

[小学校・算数A]



全国の平均正答率 78.1%未満の学校は 234 校（全体の 62.1%）で、6割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は 143 校（全体の 37.9%）に留まっています。

[小学校・算数B]

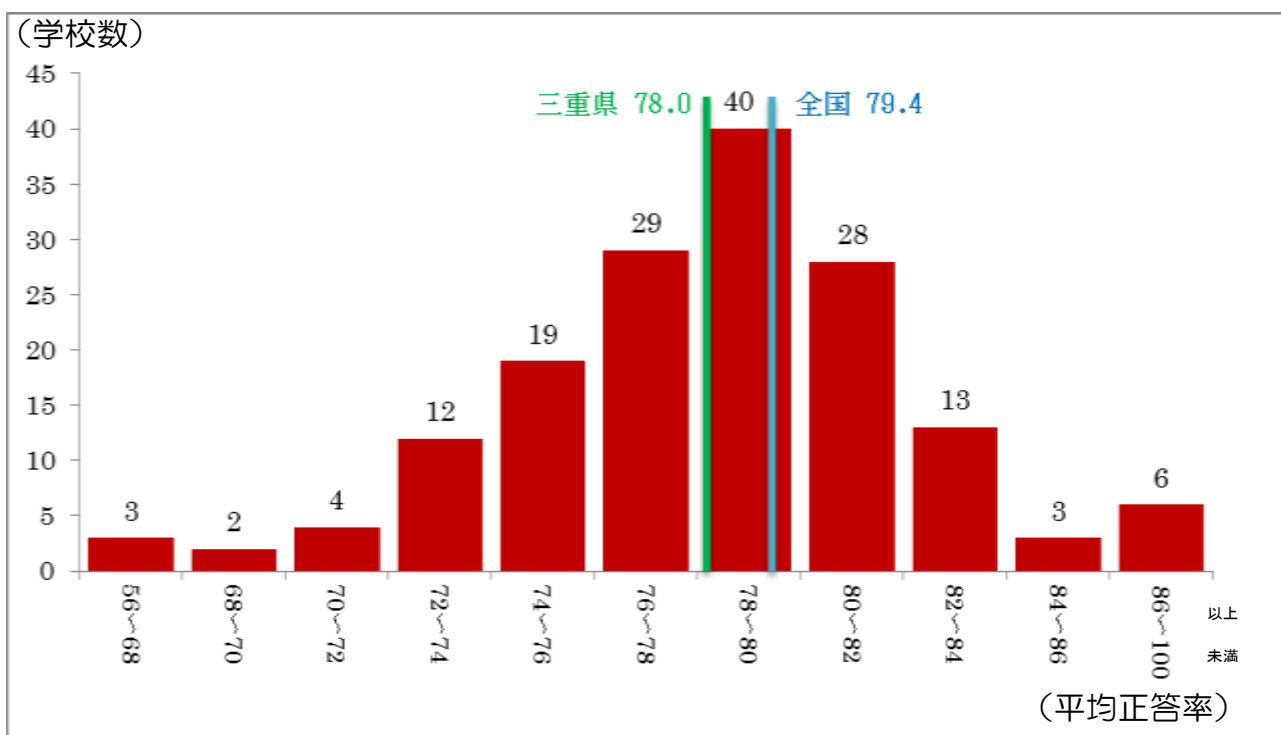


全国の平均正答率 58.2%未満の学校は 238 校（全体の 63.1%）で、6割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は 139 校（全体の 36.9%）に留まっています。

小学校国語Bと同様に、平均正答率の分布の幅が広がっています。

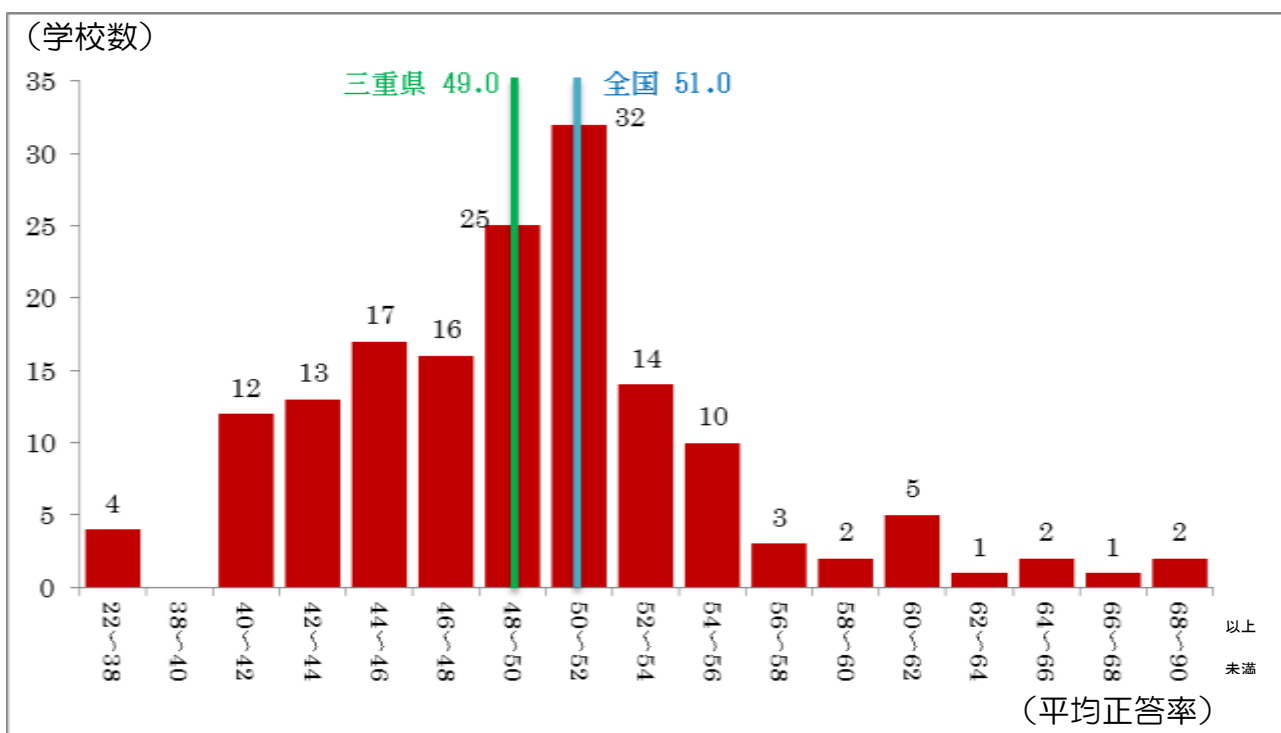
<中学校>

[中学校・国語A]



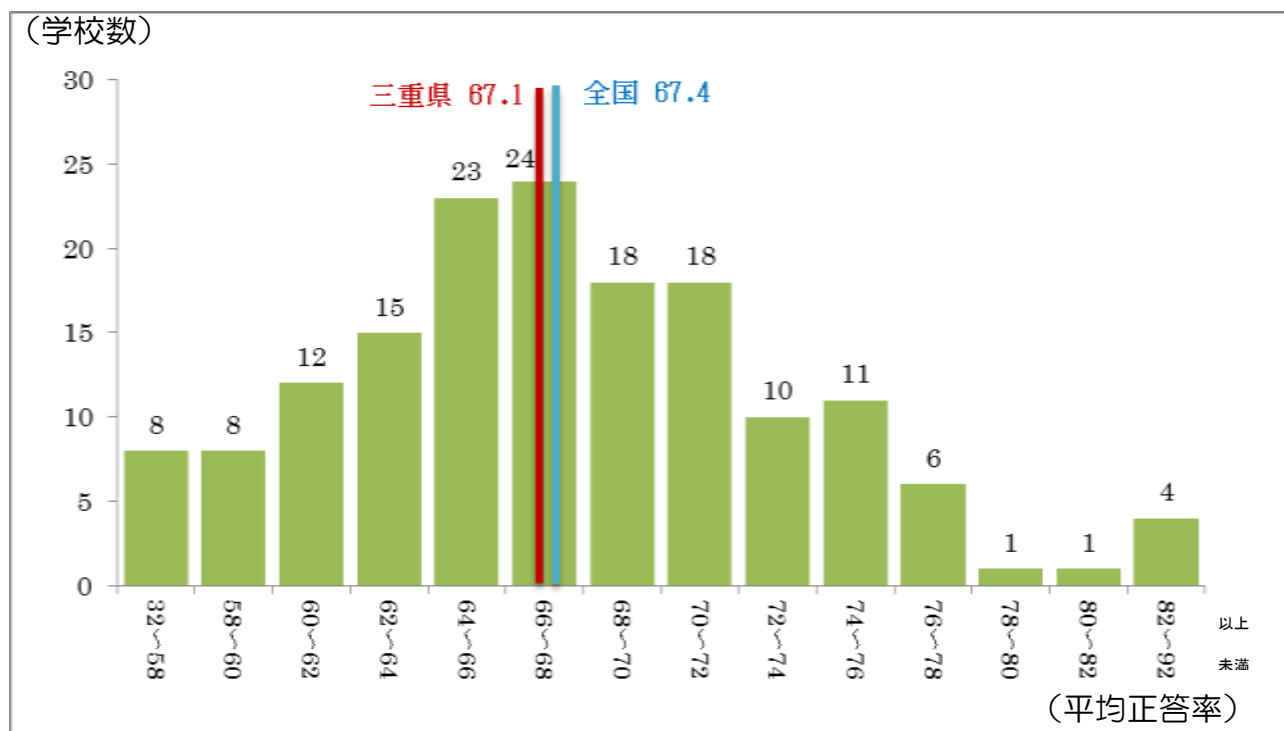
全国の平均正答率79.4%未満の学校は100校（全体の62.9%）で、6割を超えており、全国の平均正答率以上の学校は59校（全体の37.1%）に留まっています。

[中学校・国語B]



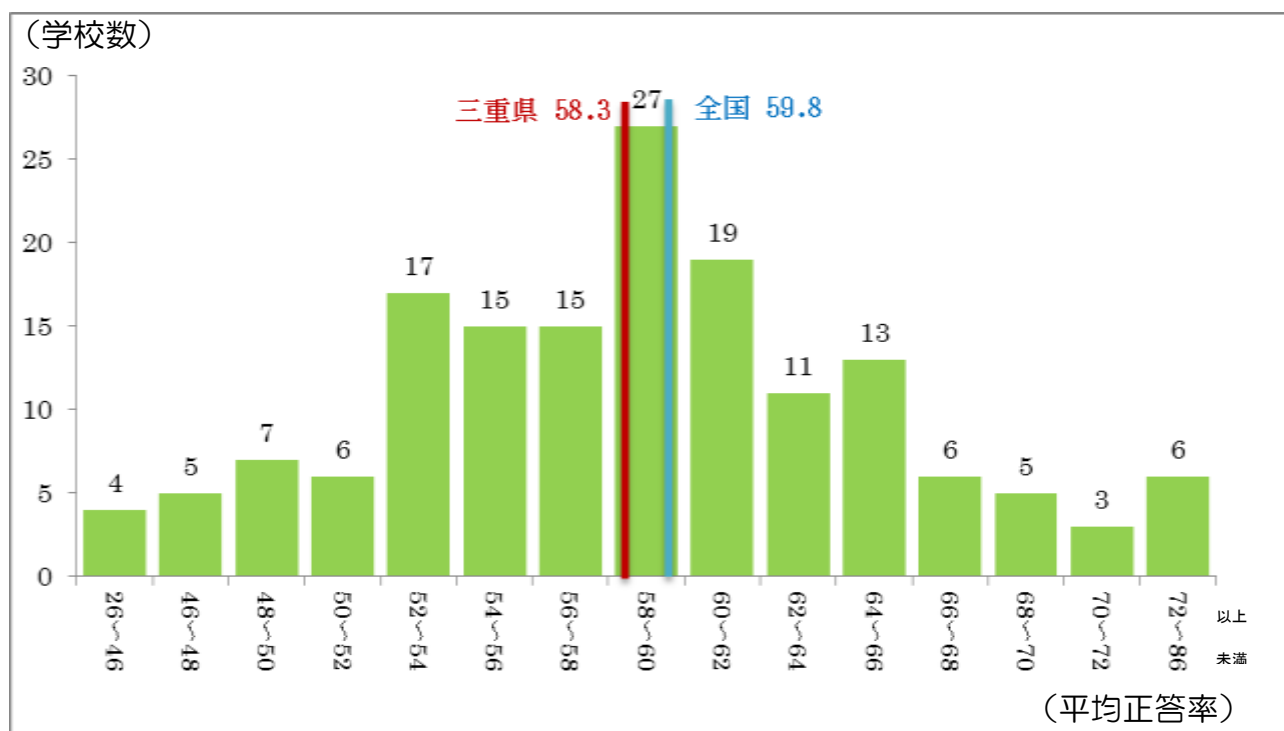
全国の平均正答率51.0%未満の学校は104校（全体の65.4%）で、6割を超えており、中学校における教科に関する調査では最も学校数の割合が高くなっています。全国の平均正答率以上の学校は55校（全体の34.6%）に留まっています。

[中学校・数学A]



全国の平均正答率67.4%未満の学校は83校（全体の52.2%）、全国の平均正答率以上の学校は76校（全体の47.8%）でほぼ同程度となっており、小中学校を通じて、全国の平均正答率以上の学校数の割合が最も高くなっています。

[中学校・数学B]

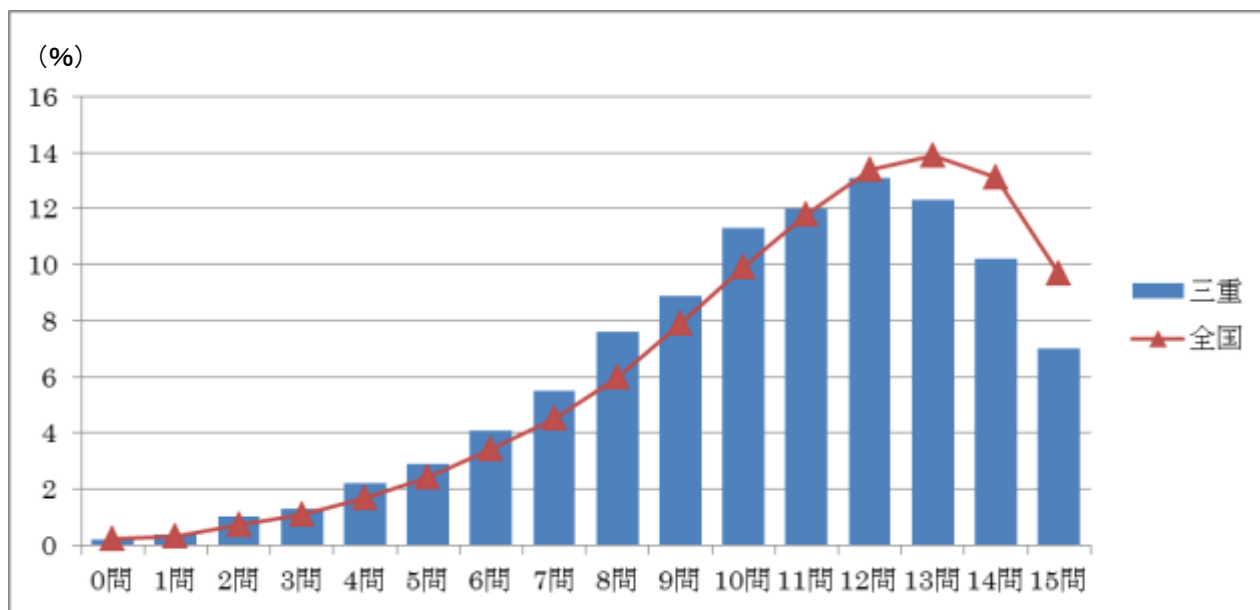


全国の平均正答率59.8%未満の学校は94校（全体の59.1%）で6割近くになっており、全国の平均正答率以上の学校は65校（全体の40.9%）に留まっています。

(3) 正答数の分布状況

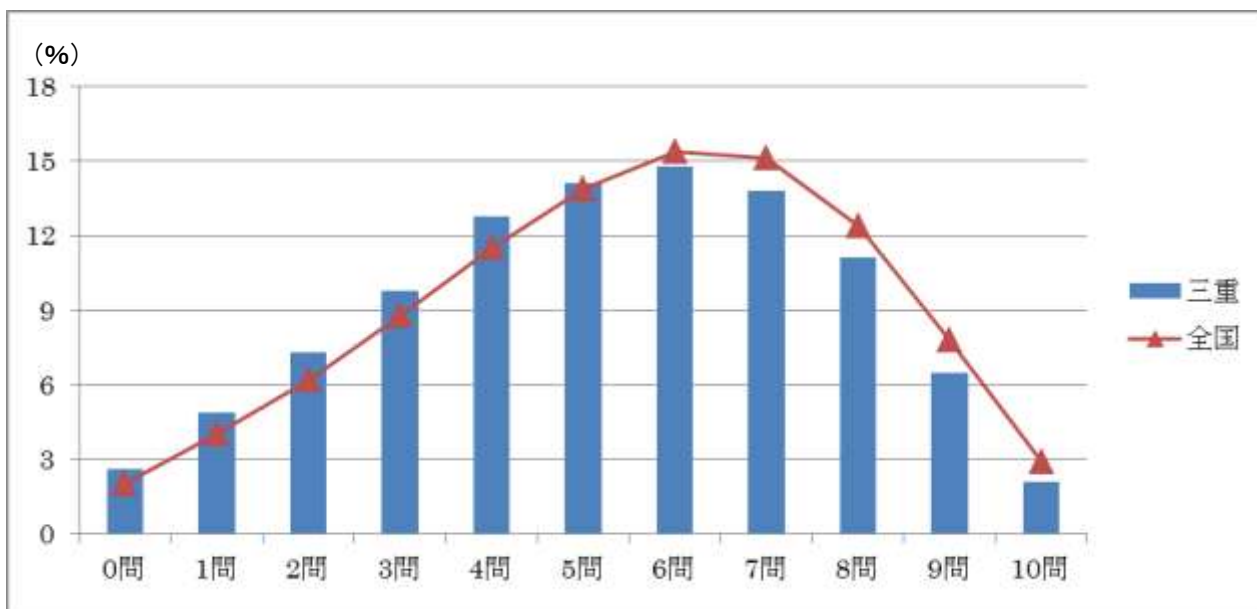
<小学校>

[小学校・国語A]



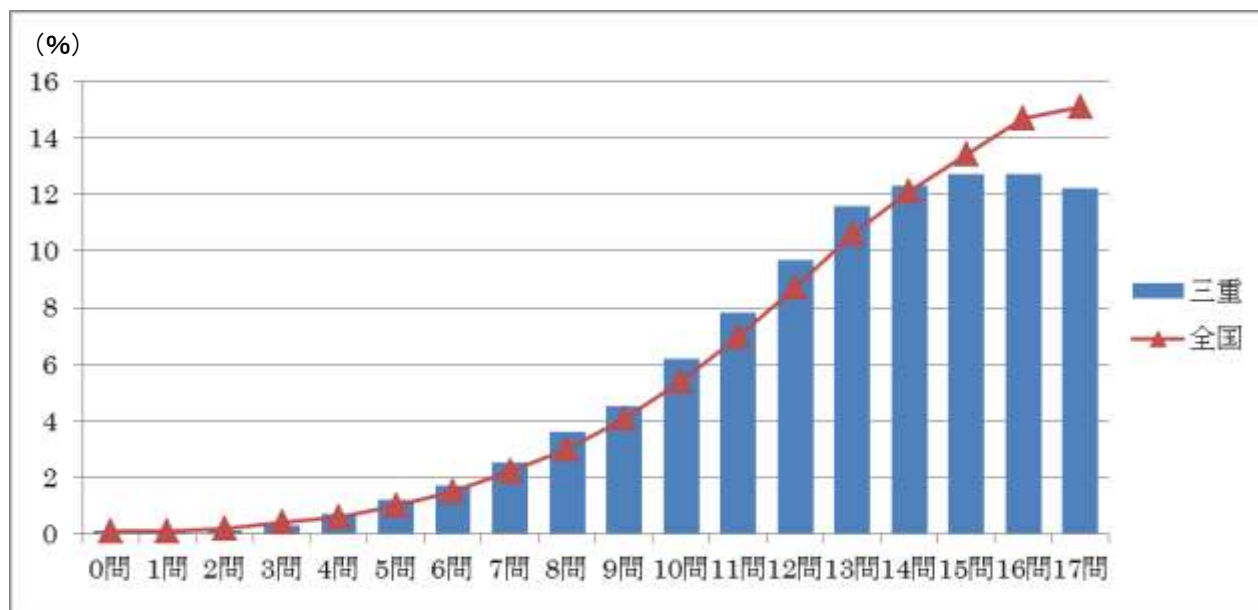
正答数が11問以下である割合が全国に比べて高く、13問以上である割合は全国に比べて低く、全体的に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

[小学校・国語B]



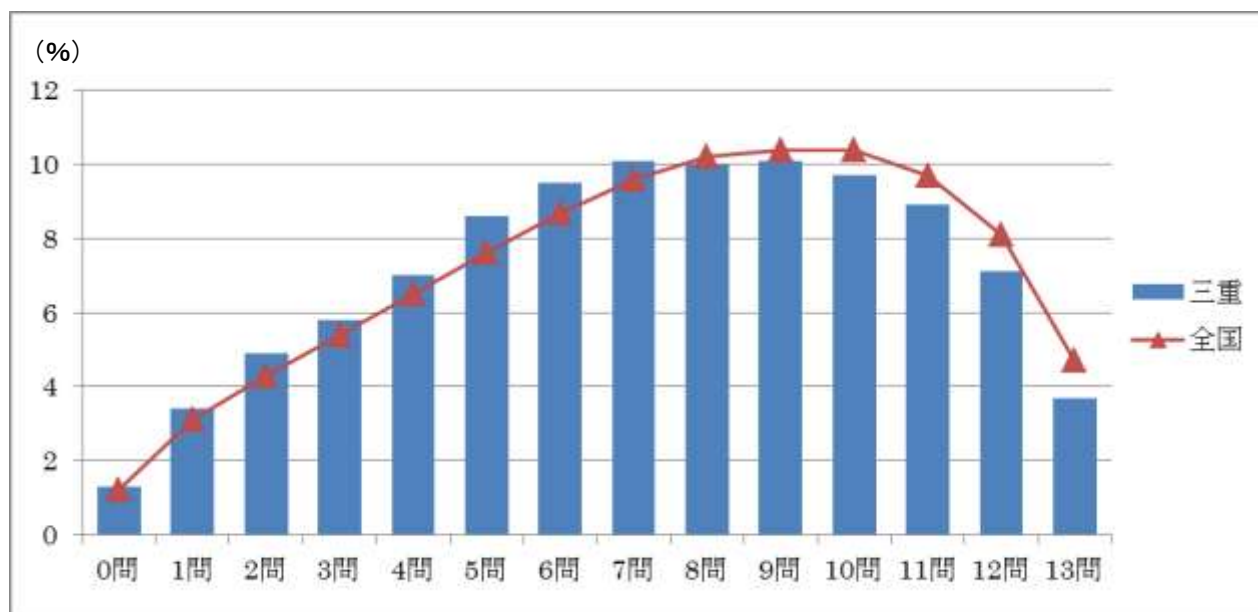
正答数が5問以下である割合が全国に比べて高く、6問以上である割合は全国に比べて低く、全体的に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

[小学校・算数A]



正答数が4問から14問までの割合が全国に比べて高く、15問以上である割合は全国に比べて低く、全体的に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

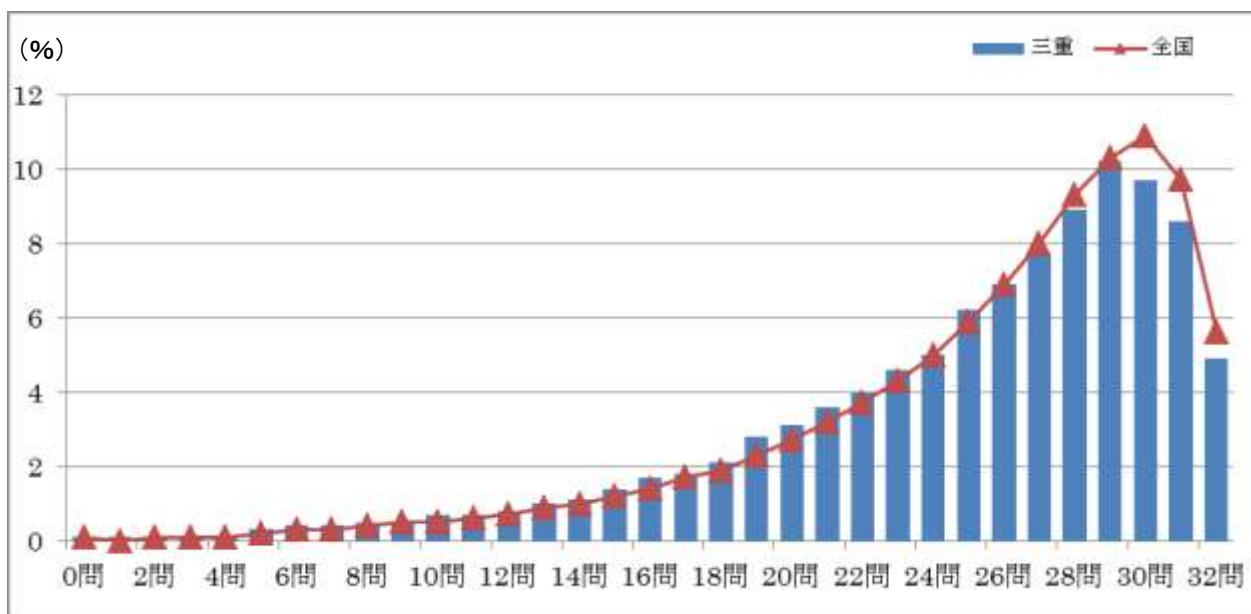
[小学校・算数B]



正答数が7問以下である割合が全国に比べて高く、8問以上である割合は全国に比べて低く、全体的に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

<中学校>

[中学校・国語A]



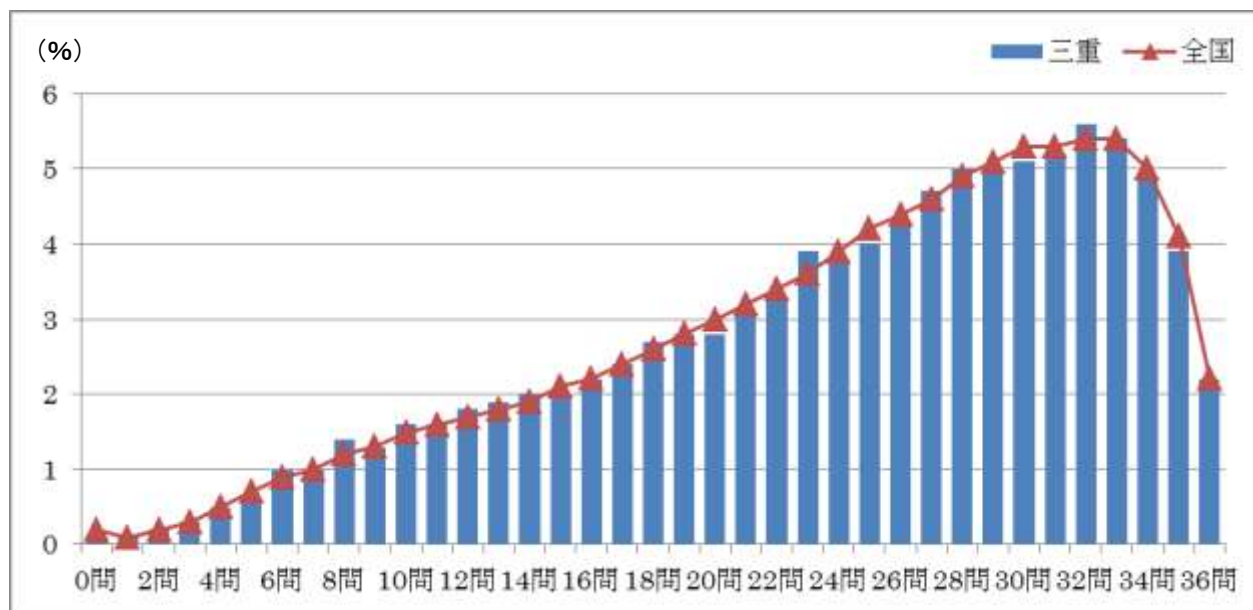
正答数が13問以下である割合は全国とほとんど変わらず割合も1%以下ですが、14問から25問までである割合は全国に比べて高く、27問以上である割合は全国に比べて低く分布している状況にあります。

[中学校・国語B]



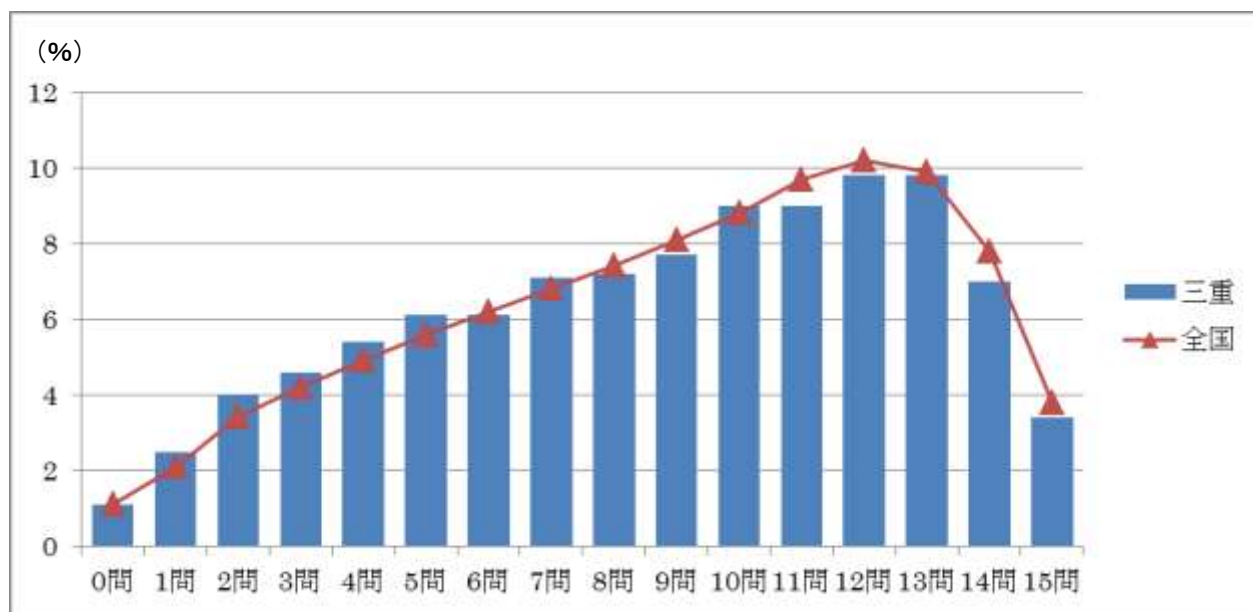
正答数が4問以下である割合が全国に比べて高く、5問以上である割合は全国に比べて低く、全体的に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

[中学校・数学A]



ほとんど全国の分布状況と同じ状況にあります。若干、20問以上の正答数の割合では全国に比べて低く分布している状況にあります。

[中学校・数学B]

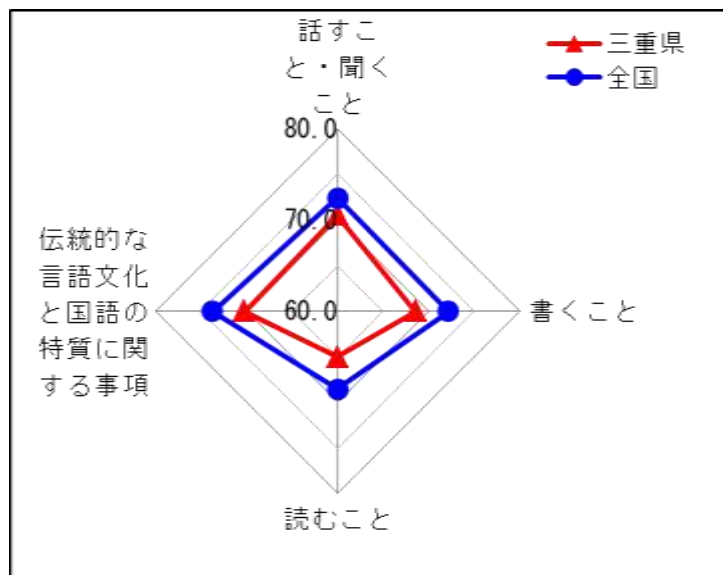


正答数が7問以下である割合が全国に比べて高い傾向にあり、8問以上である割合は全国に比べて低い傾向にあり、全体的に全国より正答数が低いところに分布している状況にあります。

（４）領域別平均正答率の状況

＜小学校＞

[小学校・国語Ａ]



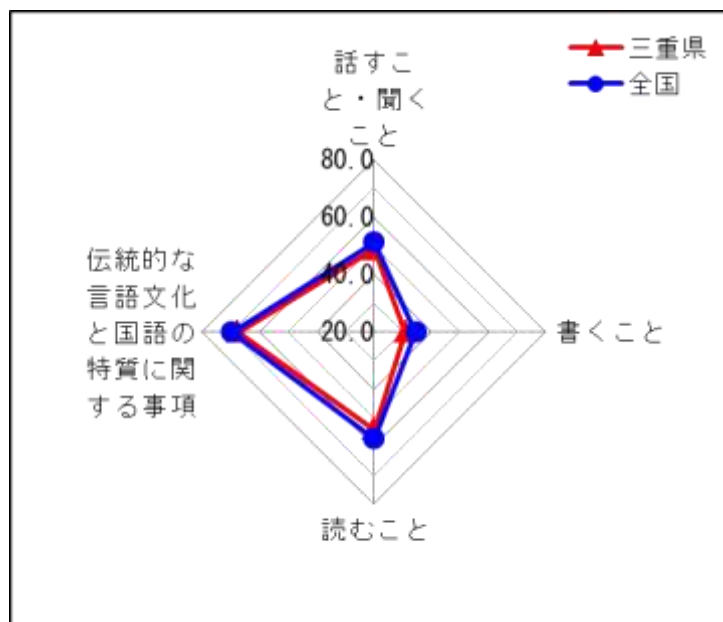
平均正答率	三重県	全国
全体	69.6	72.9
話すこと・聞くこと	70.5	72.4
書くこと	68.6	72.2
読むこと	65.0	68.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.2	73.7

すべての領域で全国状況より低く、特に、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で低い状況にあります。

【考察】

故事成語の意味や使い方を正しく理解し、用いることに課題があるため、実生活の中で意図的に使用する機会を設けるなどして、計画的に指導することが大切です。

[小学校・国語Ｂ]



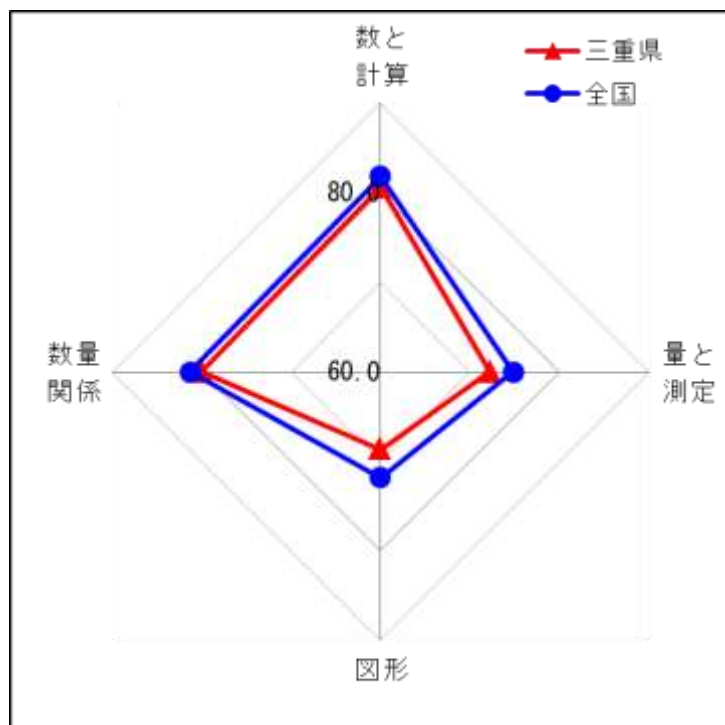
平均正答率	三重県	全国
全体	52.5	55.5
話すこと・聞くこと	48.9	51.2
書くこと	31.0	34.4
読むこと	54.1	57.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.6	69.8

すべての領域で全国状況より低く、特に、「書くこと」「読むこと」の領域で低い状況にあります。

【考察】

目的に応じて、事実と感想、意見などの関係を整理して書いたり、読んだりすることに課題があるため、必要な情報を取り出し、情報を整理する指導の充実を図ることが大切です。

[小学校・算数A]



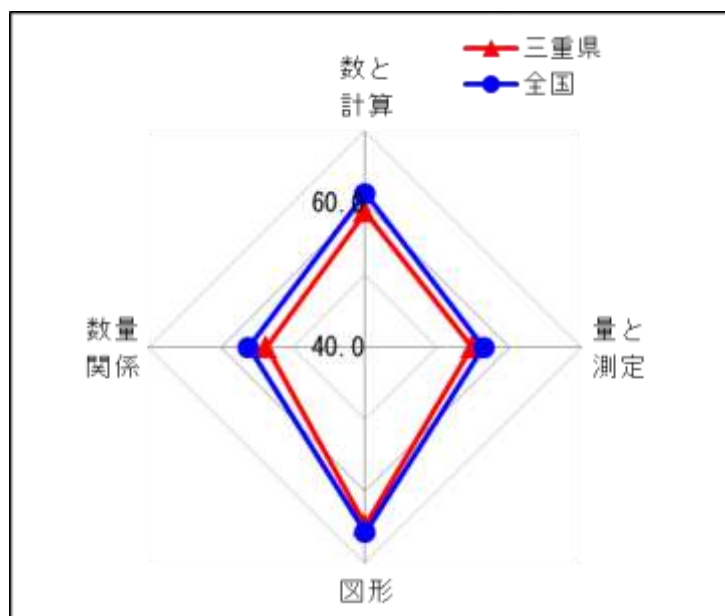
平均正答率	三重県	全国
全体	76.2	78.1
数と計算	80.6	81.8
量と測定	72.2	74.8
図形	68.7	71.8
数量関係	80.0	81.3

すべての領域で全国の状態より低く、特に、「図形」の領域で低い状況にあります。

【考察】

数量や図形の意味や性質を正しく理解することに課題があるため、様々な具体物を用いた作業的・体験的な活動を通して学習することが大切です。

[小学校・算数B]



平均正答率	三重県	全国
全体	56.0	58.2
数と計算	58.7	61.3
量と測定	54.9	56.5
図形	64.7	65.7
数量関係	53.7	56.2

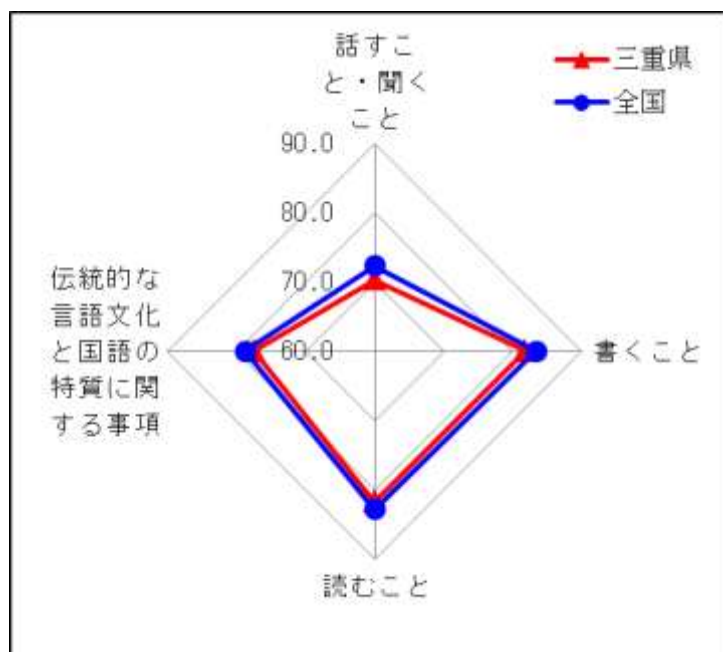
すべての領域で全国より低い状況にあります。

【考察】

筋道を立てて考え表現することに課題があるため、自分の考えを言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、説明したりする活動を取り入れることが大切です。

<中学校>

[中学校・国語A]



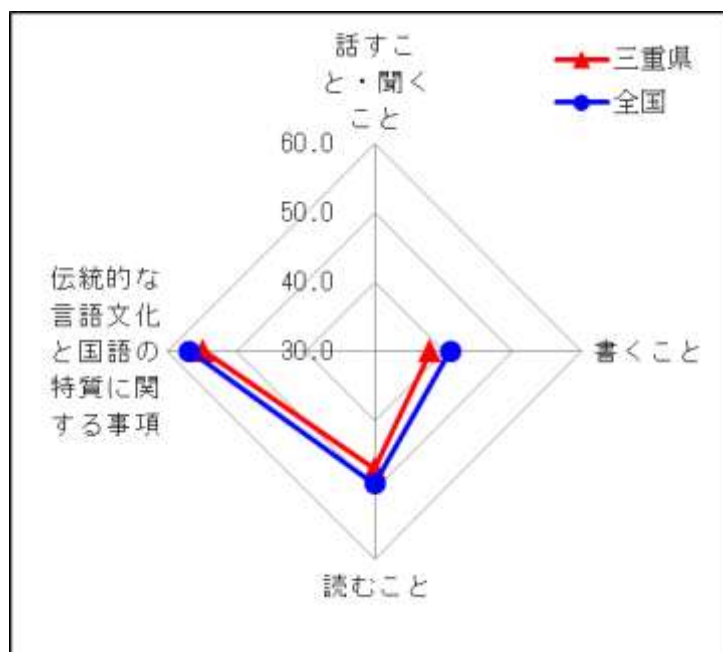
平均正答率	三重県	全国
全体	78.0	79.4
話すこと・聞くこと	70.3	72.3
書くこと	81.8	83.4
読むこと	81.8	82.9
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.4	78.7

すべての領域で全国より低い状況にあるものの、ほぼ同程度となっています。

【考察】

漢字やことわざの意味を正しく理解し、適切に用いることに課題があるため、実生活の中で意図的に使用する機会を設けるなどして、計画的に指導することが大切です。

[中学校・国語B]



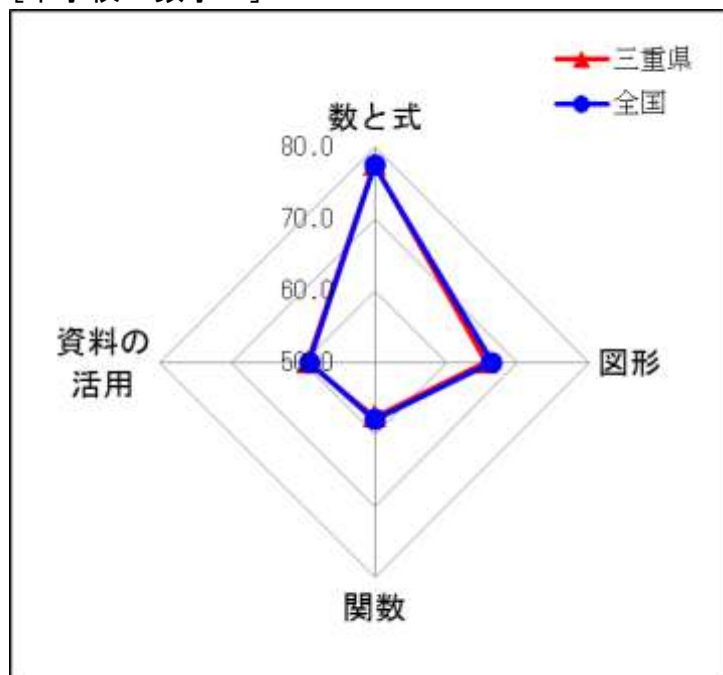
平均正答率	三重県	全国
全体	49.0	51.0
話すこと・聞くこと	—	—
書くこと	38.1	41.0
読むこと	47.0	49.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	54.7	56.8

すべての領域で全国の場合より低く、特に、「書くこと」の領域で低い状況にあります。

【考察】

根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があるため、書かれた考えの根拠の妥当性について意見を述べ合うなどの活動を取り入れることが大切です。

[中学校・数学A]



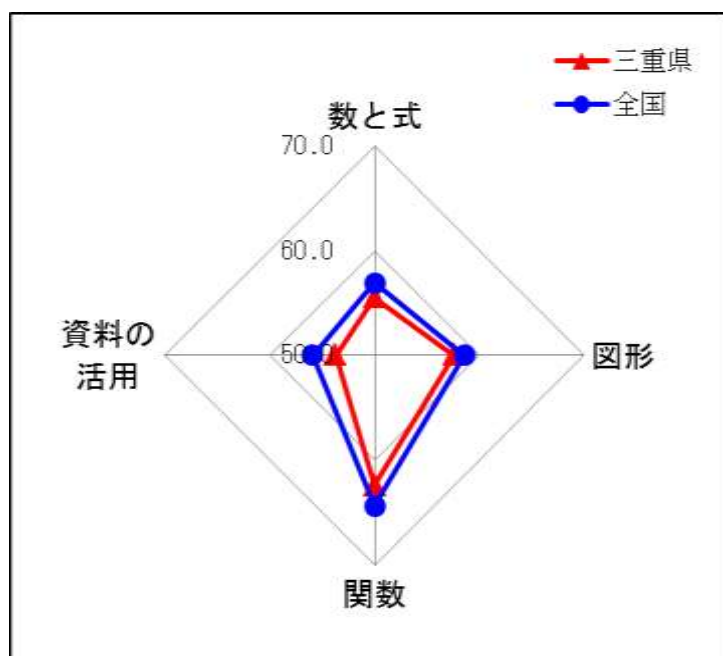
平均正答率	三重県	全国
全体	67.1	67.4
数と式	77.5	77.4
図形	65.6	66.4
関数	57.6	58.0
資料の活用	59.3	59.1

すべての領域で全国の状態とほぼ同程度となっていますが、「数と式」「資料の活用」は全国より若干高い状況にあります。

【考察】

数量や図形に関する基礎的な概念や性質の理解に課題があるため、日常生活と数学とを結び付けて考える学習活動を取り入れることが大切です。

[中学校・数学B]



平均正答率	三重県	全国
全体	58.3	59.8
数と式	55.5	56.9
図形	57.6	58.6
関数	62.4	64.4
資料の活用	53.7	55.9

すべての領域で全国より低い状況にあるものの、ほぼ同程度になっています。

【考察】

理由を説明したり、数学的に説明したりすることに課題があるため、既習の数学的表現を使って考えを説明する場面を多く設定することが大切です。

(5) 三重県における特徴的な傾向

全国と三重県の平均正答率を比較して、その差が±3ポイント以上の主な項目について、以下に示します。

＜小学校・国語A＞における傾向

- ① 習得した漢字を、日常的に文や文章の中で適切に使うことや、漢字を文脈に合わせて正しく書くことに課題があります。(なお、問題12(3)は平成20年度【小学校】国語A¹設問2(2)と同一の問題です。)

・問題12(2)：漢字を正しく書く(勝利をいわう)

平均正答率 56.3% (全国 59.3%)

・問題12(3)：漢字を正しく書く(かぜをよぼうする)

平均正答率 72.4% (全国 77.4%)

- ② 故事成語の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で起こる出来事や、その様子を故事成語を用いて表すことに課題があります。

・問題2一：故事成語の意味と使い方を理解する(五十歩百歩)

平均正答率 45.4% (全国 55.8%)

※小学校・国語Aの中で、全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

・問題2二：故事成語の意味と使い方を理解する(百聞は一見にしかず)

平均正答率 44.1% (全国 49.9%)

- ③ 物語などの文学的な文章を読むことにおいて、描写の工夫(行動や表情、会話、風景など)の効果を理解することに課題があります。

・問題3：情景描写の効果を捉える 平均正答率 53.5% (全国 58.7%)

- ④ 投書の特徴を理解し、根拠となる事実や資料の使い方など、書き手の工夫を捉えながら投書等の意見文を読むことに課題があります。

・問題4：新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える

平均正答率 66.9% (全国 71.7%)

- ⑤ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、複数の事柄を並列の関係で書くことに課題があります。

・問題6一：複数の事柄を並列の関係で書く(「～たり、・・・たり」という表現)

平均正答率 71.2% (全国 74.9%)

＜小学校・国語B＞における傾向

- ① 質問の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題があります。

・問題1二：質問の意図を捉える 平均正答率 56.4% (全国 60.2%)

- ② 目的に応じて必要な情報を取り出し、内容を分類したり関係付けたりして整理して読むことに課題があります。

・問題2一：付箋に書かれた内容を関係付けながら最初にもった疑問を捉える
平均正答率 67.6% （全国 71.9%）

・問題2三：課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む
平均正答率 62.3% (全国 66.0%)

- ③ 課題を解決するために、課題に対する解答や結果の予想を立て、どのような方法で必要な情報を収集するとよいかなど、解決のための見通しをもって本や文章を活用することに課題があります。

・問題３三：二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く
平均正答率 43.1% （全国 48.1%）

※小学校・国語Bの中で、全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

＜小学校・算数A＞における傾向

- ① 日常の場面から、基準量と比較量を捉え、数量の関係（基準量、比較量、割合）を図に表したり、図から読み取ったりすることに課題があります。また、整数の乗法についての理解を基に、小数の乗法の場合も同じように考え、小数倍について理解することに課題があります。

- ・問題2 (1): 割合が1より大きい場合、比較量の求め方が(基準量) × (割合) になることを理解している

平均正答率 68.5% (全国 71.9%)

- ・問題 2 (2): 割合が 1 より小さい場合でも、比較量の求め方が (基準量) $\times$ (割合) になることを理解している

平均正答率 69.2% (全国 72.5%)

・問題 4 (2): 単位量当たりの大きさの求め方を理解している

平均正答率 55.8% (全国 60.8%)

- ② 作図の操作とその意味を考え、作図は図形の約束や性質に基づいていることを理解することに課題があります。

・問題5（1）：円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる
平均正答率 78.9% （全国 83.9%）

・問題6：作図に用いられている図形の約束や性質を理解している
平均正答率 46.1% （全国 52.0%）

※小学校・算数Aの中で、全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

＜小学校・算数Ｂ＞における傾向

- ① 「数量や図形、数量関係を考察して見いだした事実を確認したり説明したりすること」「問題を解決するために見通しをもち、筋道を立てて考え、その考え方や解決方法を説明すること」「論理的に考えを進めてそれを説明したり、判断や考えの正しさを説明したりすること」に課題があります。

・問題１（２）：示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる 平均正答率 51.0% （全国 55.2%）

※小学校・算数Ｂの中で、全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

・問題２（２）：最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる 平均正答率 65.2% （全国 69.1%）

・問題４（１）：繰り返されるリズムの規則性（周期）を見だし、それを基に小節数を求めることができる 平均正答率 58.7% （全国 62.2%）

・問題４（２）：二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる 平均正答率 56.6% （全国 60.5%）

・問題５（２）：示された情報を解釈し、基準量の１．５倍の長さを表している図を選択することができる 平均正答率 43.1% （全国 46.1%）

・問題５（３）：示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる 平均正答率 29.9% （全国 33.0%）

＜中学校・国語Ａ＞における傾向

- ① ２つの資料をもとに、何が足りない情報なのかをつかむことができないという課題があります。

・問題１二：必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す 平均正答率 77.1% （全国 80.3%）

- ② 字形の似ている漢字の意味が理解できず、比較的身近な言葉の漢字を正しく書くことができないという課題があります。

・問題８一（２）：文脈に即して漢字を正しく書く 平均正答率 54.5% （全国 59.5%）

- ③ 文脈に即して漢字を正しく読む力に課題があります。

・問題８二（１）：文脈に即して漢字を正しく読む 平均正答率 71.7% （全国 77.0%）

※中学校・国語Ａの中で、全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

・問題８二（２）：文脈に即して漢字を正しく読む 平均正答率 85.0% （全国 88.6%）

＜中学校・国語Ｂ＞における傾向

- ① 作者の意図、表現の工夫やその効果などについて考えたことを、根拠を明確にして書くことに課題があります。このことは、ここ数年の全国的な課題でもあります。

・問題１三：文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く
平均正答率 43.7% （全国 48.2%）

※中学校・国語Ｂの中で、全国の平均正答率との差が最も大きい問題です。

＜中学校・数学Ａ＞における傾向

中学校・数学Ａにおいては、全国の平均正答率と比較して±３ポイント以上の差がある問題はありません。

- ① 関数の意味を理解しているかを問う問題では、平均正答率は34.1%で、全国と比較すると－1.7で、特に、関数の概念を問う問題において十分な理解がなされていない状況にあり、課題があります。

- ② 図形領域については、全国の平均正答率と比較すると低い傾向にあり、特に、問題５（４）の底面が合同で高さが等しい円柱と円すいの体積の関係を問う問題では、38.7%、全国と比較しても－2.6で、授業での観察や実験などの活動を通して理解を深める取組に課題があります。

＜中学校・数学Ｂ＞における傾向

中学校・数学Ｂにおいては、全国の平均正答率と比較して±３ポイント以上の差がある問題はありません。

- ① 数学Ａと比べると無解答率が高く、全国と比較してもその差が数学Ａより開いている状況にあり、知識・技能を活用することに課題があります。

- ② 図形領域の証明については比較的全国との差がないものの、数と式などの説明をする問題では、全国との差が開いている状況にあり、適切な表現を用いて説明することに課題があります。

2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）の結果・分析

質問紙の結果から、全国の割合と比較して±3ポイント以上の差がある主な項目について以下に示します。

（１）小学校

【児童質問紙】

《授業等について》

学習状況について〔①、②（関連するグラフの項目）〕

（分析）

- ・授業の中で分からないことがあった場合に、「先生に尋ねる」と回答した児童が全国に比べて多い状況にあります。また、「自分で調べる」と回答した児童は、概ね平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動を行った」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

（改善ポイント）

「先生に尋ねる」等、他者に尋ねると回答した児童の疑問点をそのままにせず解決しようとする態度を大切にするとともに、自らの力で探究する力を育成するため、新たな課題につながるような投げかけを行い、学習意欲ややる気を育む観点からの指導を進めていく必要があります。

例えば、児童が、分からないことを尋ねてきた時は、課題を解決していこうという児童の意欲や態度をまずは大いに褒めることが大切です。その上で、先生が教えることで全てを解決させるのではなく、自分で問題を解決していくための方法（本やインターネットで調べる等）を児童に示すことも大切です。

授業の進め方について〔③〕

（分析）

- ・授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていた」と回答した児童や、「授業の最後に学習内容を振り返る活動がよく行われていたりした」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

（改善ポイント）

児童が目標（めあて・ねらい）の提示や授業の最後に学習内容を振り返る活動の実施を意識できるよう工夫し、授業の見通しを立てて主体的に取り組むことができるような授業づくりを行う必要があります。全国の先進事例も参考にしながら充実を図ることが望まれます。

例えば、「四角形の面積の求め方を使って三角形の面積を求められるだろうか」のように、児童が授業の見通しを持てるような目標（めあて・ねらい）を提示することが大切です。振り返る活動では書き出しやキーワードを与えて、分かったことを児童が自分の言葉で書く時間を設定するなど、目標に沿ったものとなるよう学習内容を工夫することが大切です。また、授業のねらいについては、振り返らせるべき内容を踏まえて課題をつくる必要があります。

国語科の学習について〔④〕

(分析)

- ・「国語の授業が好き」と回答した児童や、「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことに難しさを感じていない」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

国語の授業において、引き続き普段から目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりして表現する活動を取り入れる授業の工夫が必要です。児童の実態に応じて書く量を徐々に増やすなど、定期的、継続的な「書く」場面の設定が必要です。

例えば、目的に応じた本や資料を児童が自ら選ぶ機会を設けたり、必要な情報を付箋などを用いて取り出し、内容を分類したり関係付けたりして文章にまとめる機会を設定することも大切です。

総合的な学習の時間について〔⑤〕

(分析)

- ・「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

児童の主体的な活動を位置付けた授業を行うことが必要です。例えば、【課題の設定】→【情報の収集】→【整理・分析】→【まとめ・表現】の探究のプロセスを意識した問題解決的な授業になるよう工夫が必要です。

① 授業での質問について

○授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。〔質問番号(49)〕

(「その場で先生に尋ねる」「授業が終わってから先生に尋ねに行く」と回答した割合)

三重県：28.4% (全国：24.5%) +3.9



② 授業でのグループ活動について

○5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(41)〕

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：72.4% (全国：77.3%) -4.9



③ 授業の進め方について

○5年生までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。〔質問番号(44)〕

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：75.7% (全国：82.0%) -6.3



○5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(45)〕

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：67.1% (全国：71.9%) -4.8



④ 国語科の学習について

○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。〔質問番号(46)〕
 「（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

三重県：69.6%（全国：63.4%） +6.2



○国語の勉強は好きですか。〔質問番号(50)〕

「（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：55.8%（全国：59.2%） -3.4



○国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。〔質問番号(55)〕

「（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：56.6%（全国：61.4%） -4.8



⑤ 「総合的な学習の時間」について

○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。〔質問番号(40)〕

「（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：53.3%（全国：63.8%） -10.5



《家庭学習について》

（分析）

・「家での復習を行っている」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

（改善ポイント）

本県では、家で復習に取り組む割合が全国に比べて低く、5割未満となっています。

児童が主体的に学校の授業の復習をするための手立てについて、学校全体で話し合い、共通認識を持って、組織的・計画的に取り組むことが必要です。

例えば、家庭学習に使える課題のプリントを学校全体で共有し、全教員が活用できるようにしたり、家庭学習の進め方や解き方の例を示すなど、具体的な課題の与え方について研修し話し合ったりするなど組織的に取り組むことが大切です。

○家で、学校の授業の復習をしていますか。

〔質問番号(24)〕 「（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

三重県：48.7%（全国：54.0%） -5.3



《地域との関わりについて》

（分析）

・「地域の行事に参加している」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

（改善ポイント）

本県が展開している「みえの学力向上県民運動」の一環として、学校・家庭・地域が一体となり、児童が主体的に参加できる地域行事を積極的に活用することが重要です。

例えば、教材「三重の文化」などを活用し、児童が自分の住んでいる地域に興味・関心が持てるような学習を設定していくことも大切です。

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。
 [質問番号(29)] 「当てはまる」「どちらか
 といえば、当てはまる」と回答した割合
 三重県：73.2%（全国：68.0%） +5.2



【学校質問紙】

《授業等について》

授業の進め方について【①】

（分析）

- ・授業のはじめに目標（めあて・ねらい）を示したり、授業の最後に学習内容を振り返る活動を計画的に取り入れたりした学校は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

（改善ポイント）

授業において、児童が見通しを持って学び、自らの学びを振り返り、わかる喜びと学ぶ楽しさを感じられることが児童の主体的な学びにつながります。

各学校において、統一した授業の展開等について職員間で共通認識を図り、身に付けさせたい力を明確にして、適切に評価し授業改善につなげる必要があります。

例えば、「めあて」「振り返り」のプレートを作成し、全学級の授業で黒板に貼るといった取組等を、全校体制で実施することも大切です。

全国学力・学習状況調査等の学校全体での活用について【③】

（分析）

- ・本県では、全国学力・学習状況調査の結果を独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている学校の割合は、全国を大きく下回っている状況です。

（改善ポイント）

全国的に平均正答率が高い学校では、調査結果を教育指導の改善に生かしている割合が大きく、本県においても、全国学力・学習状況調査等の活用が必要です。

少人数指導について【④】

（分析）

- ・本県の調査結果では、算数の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数指導を行った学校は、1割にも達していない少ない状況であることから平均正答率との明らかな関連は見られませんが、少人数指導の充実に向け、グループの編成の工夫、グループに応じた指導内容の精選、教員の連携等の工夫改善に取り組む必要があります。

（改善ポイント）

わかりたい、できるようになりたいという児童の思いを実現するためにも、単に学級をいくつかのグループに分けるのではなく、指導内容や児童の習熟の程度に応じ、目的を明らかにした少人数指導を行う必要があります。また、【一斉指導】→【習熟の程度に応じた指導】→【一斉指導】などの指導の形態の工夫も必要です。

国語・算数・総合的な学習の時間の指導及び言語活動の充実について〔⑤～⑧〕

（分析）

- ・国語の指導において、発展的な学習の指導や様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った学校は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・本県では、算数の指導について、補充的な学習の指導の実施状況、実生活における事象との関連を図った指導の実施状況と、平均正答率との明らかな関連は見られませんが、全国的な分析では、実生活における事象との関連を図った学校は、算数Aで平均正答率が高い傾向が見られることから、今後、指導内容の改善・充実が必要です。
- ・総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした学校は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・言語活動に重点を置いた指導計画を作成したり、国語だけでなく各教科等においても学校全体として言語活動の充実に取り組んだりした学校は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

（改善ポイント）

実生活を送るうえで不可欠であり、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を確実に身に付けることができるよう、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の全てにおいて、それぞれの教科等で児童が身に付けるべき力を明確にするなど、言語活動の充実を学校全体で系統的、組織的に図ることが必要です。また、教科書を通じた学習に留まらず、学んだことを生かし、活用する発展的な学習を工夫して取り入れることも必要です。

例えば、国語科の授業においては、年間の見通しの中で取り上げる指導事項を確定したマトリックスを作成することが大切です。また、目的に応じた本を児童が自ら選び、内容を友達に説明するなどの活動を取り入れた授業を積極的に行うことも有効です。

算数においては、生活の中にある事象を授業で取り上げるなどして、教科の目標である実生活の事象について見通しを立てて考え表現する力を育てることが必要です。

授業研究を伴う校内研修の実施回数について〔⑨〕

（分析）

- ・授業研究を伴う校内研修を、前年度11回以上実施した学校は全国を上回っており、本県では、国語Bで実施回数が多いほど平均正答率が高い傾向が見られます。なお、小学校では、回数による効果が明確でない状況にあり、研修内容を充実することが必要です。

（改善ポイント）

教科の授業研究を校内研修の重点課題の1つとして位置付け、教員が相互に授業を参観し合う機会を増やすとともに、校内研修の進め方の改善を図る必要があります。

例えば、年間を通して全ての教員が教科の研究授業を実施し、教員全員が参観する場合、学年担当や教科担当の教員が参観するなど、参観方法や授業後の校内研修会の持ち方を柔軟に計画し、教科の授業研究の活性化を図ることが考えられます。また、教科の授業研究のテーマについて、「言語活動の充実」「指導過程や発問・板書等の指導方法の工夫・改善」「学習評価の在り方」など、学年や教科の枠を越えて設定することも考えられます。

校長の見回りについて〔10〕

(分析)

- ・校長が週に2回以上授業を見回った学校は、平均正答率が高い傾向にあります。

(改善ポイント)

組織的な授業改善や、教員の指導力の向上を図るため、日々の授業を校長が参観し指導・助言することが必要です。

例えば、児童の授業の様子について日常的に教員全体で対話し、組織的な授業改善の取組の促進や教員の指導力の向上につなげることが大切です。そのためにも校長が授業を参観し、教員の指導の状況や児童の様子を知り、児童の状況について日常的に対話できる学校の風土を作っていくことが大切です。

① 授業の進め方について

- 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童に示す活動を計画的に取り入れ了吗か。〔質問番号(28)〕
（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：91.3%（全国：96.9%）－5.6



- 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れ了吗か。〔質問番号(29)〕
（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：76.3%（全国：91.6%）－15.3



② 将来就きたい仕事や夢を考えさせる指導について

- 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。〔質問番号(33)〕
（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：65.3%（全国：72.0%）－6.7



③ 全国学力・学習状況調査等の学校全体での活用について

- 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。〔質問番号(51)〕

（「よく行っている」「どちらかといえば、行っている」と回答した割合）

三重県：75.5%（全国：88.9%）－13.4



④ 少人数指導について

- 調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか。〔質問番号(53)〕
（「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合）

三重県：8.4%（全国：29.0%）－20.6



- 調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか。〔質問番号(54)〕

（「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合）

三重県：5.2%（全国：21.4%）－16.2



⑤ 国語の指導について

○調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。〔質問番号(59)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）
三重県：65.9%（全国：70.9%）－5.0



○調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。〔質問番号(60)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）
三重県：31.3%（全国：40.7%）－9.4



○調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。〔質問番号(63)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）
三重県：76.6%（全国：83.2%）－6.6



⑥ 算数の指導について

○調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。〔質問番号(66)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）
三重県：82.4%（全国：89.5%）－7.1



○調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。〔質問番号(68)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）
三重県：55.1%（全国：66.2%）－11.1



⑦ 「総合的な学習の時間」の指導について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。〔質問番号(42)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）
三重県：64.1%（全国：79.7%）－15.6



⑧ 言語活動の充実の取組について

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか。〔質問番号(30)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）
三重県：81.9%（全国：90.2%）－8.3



○言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか。〔質問番号(95)〕（「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合）
三重県：82.6%（全国：88.2%）－5.6



○言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。〔質問番号(97)〕（「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合）
三重県：83.5%（全国：90.3%）－6.8



⑨ 授業研究を伴う校内研修の実施回数について

○授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか。〔質問番号(91)〕（「11回以上」と回答した割合）
三重県：44.1%（全国：38.3%）＋5.8

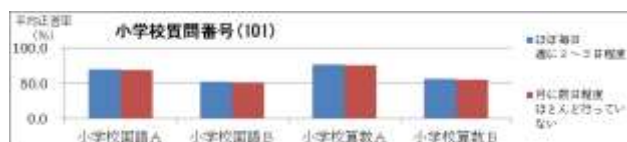


⑩ 校長による授業の見回りについて

○校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。〔質問番号(101)〕

(「ほぼ毎日」「週に2～3日」と回答した割合)

三重県：84.5% (全国：91.6%) -7.1



《家庭学習について》

(分析)

- ・家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った学校の割合が、全国に比べて低く、効果が表れにくい傾向が見られます。

(改善ポイント)

児童の学習意欲につながるよう家庭学習と授業の関係を見直し、年度初めの校内研修等で、学校としての家庭学習の課題の与え方について共通認識を図ることが必要です。

例えば、漢字や計算などのドリル学習、教科書の音読などに加えて、県や市町の教育委員会作成のワークシートの活用や、自分で課題を考えて行う自主学習ノートの活用なども有効です。その際には、自分で主体的に進められるよう、具体的に例を挙げて事例指導を行うことが大切です。また、児童が行ってきた家庭学習については必ず点検するなどの見届けと励ましが必要です。

家庭へは学校などで作成した「家庭学習のてびき(各学年版)」を配付して連携を図り、学期末に取組の成果と課題を検証するなど、定期的に家庭への啓発を行っていくことが大切です。

さらに、「みえの学力向上県民運動」で作成した「読書習慣・生活習慣チェックシート」等を活用した取組を行うことも有効です。

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。(国語／算数共通)〔質問番号(85)〕(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：81.4% (全国：85.4%) -4.0



《読書について》

(分析)

- ・「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けた」と回答した学校は、全国に比べ多くなっていますが、教科の学びにつながる読書までには至っていない状況があります。

(改善ポイント)

一斉読書の回数は多いものの必ずしも学力の向上にはつながっていないことから、読むテーマの設定や本の選び方の指導を行うなど、取組方法の充実を図ることが必要です。

また、全国的には、小中学校とともに学校図書館・室や地域の図書館を活用した回数が多い児童生徒は、平均正答率が高い状況にあることから、朝読が学校図書館等の活用へとつながっていくような指導が大切です。

例えば、読書カードを作り、定期的に児童の読書内容を教員が確認して、アドバイスをしたり、児童の興味・関心を高めるために、各教科の教材に関連する本を児童に紹介し、皆に読んでほしい本を置く、「おすすめコーナー」を設置したりすることで、主体的な読書につながる環境を整えていくことが大切です。

○調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。
 [質問番号(23)]
 (「毎日」「週に複数回」と回答した割合)
 三重県：76.6% (全国：61.1%) +15.5



《地域の人材の招聘や施設の活用について》

(分析)

- ・地域の人材を外部講師として招聘した授業を行っている学校は全国に比べて多くなっていますが、地域人材をどの授業にどのような目的（学力の育成、豊かな心の育成、体力の育成 等）や計画（連続講座、単独講座）で招聘するかについては、学校によって多様であり、行っている学校と行っていない学校とでは平均正答率の差が見られない状況です。

(改善ポイント)

地域の人材の効果的な活用については、全国では学力との一定の相関が見られることから、招聘する講師に「ねらい」を伝えるとともに、児童にも目的を明示し、学習への関心・意欲を高めることが必要です。さらに、招聘後は、人のつながりを大切にして、以後のよりよい活動につなげていくことが必要です。

例えば、お礼の手紙を書くことで言語活動を位置付けたり、学んだことをきっかけに、さらに調べ、まとめて発表する活動に発展させたりすることが有効です。

また、本県では、4月に三重県総合博物館「MieMu」が開館しました。新しい博物館をはじめ、地域にある施設を積極的に活用することが望まれます。活用に当たっては、事前に教員が博物館等を見学に行き、自分の目で確かめ、学習する上で活用していくことの良さを実感し、それを児童に伝えていく姿勢も大切です。施設が遠隔地にしかない学校や小規模の学校は、負担軽減のため、近隣の学校と合同で見学に行くなど、工夫することも大切です。

○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか。 [質問番号(73)]
 (「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)
 三重県：81.9% (全国：76.3%) +5.6



○調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか。 [質問番号(75)]
 (「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)
 三重県：24.2% (全国：37.4%) -13.2



(2) 中学校

【生徒質問紙】

《授業等について》

(分析)

- ・「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意」と回答した生徒は、全国に比べて多い状況にあり、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・「生徒の間で話し合い活動をよく行っている」と回答した生徒は、全国に比べて多い状

況にあり、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

- ・全国では、「授業のはじめに、授業の目標（めあて・ねらい）が示されていた」と回答した生徒は、平均正答率が高い傾向にありますが、本県では、示されていたと回答した生徒が全国と比べて少なく、全ての教科で平均正答率との関連も見られません。
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだ」と回答した生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

（改善ポイント）

授業において、話し合う活動や自分の意見を発表する活動、課題解決のための自主的な調べる活動等を計画的に設定することが、生徒の学習意欲を育み、主体的な学習につながると考えられます。これらの活動を授業展開に適切に位置づける工夫が必要です。

例えば、「めあて提示」と「振り返る活動」では、それぞれ黒板に提示できるプレートを作り、授業の中でいつでも確認できるようにしておくことが大切です。

また、授業の中に、グループ別の話し合い活動を設定し、自らの考えを整理して、主体的に学び合う授業にすることが大切です。その際、リーダーを決めて、話し合いを進めさせたり、グループ相互に内容を交流させたりして、話し合い活動を効果的にする工夫も必要です。

① 授業での考えの発表や話し合い活動について

○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。〔質問番号(7)〕

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：53.5%（全国：48.6%） +4.9



○1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(43)〕

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：80.1%（全国：75.3%） +4.8



② 授業の進め方について

○1、2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。〔質問番号(44)〕

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：62.1%（全国：71.5%） -9.4



③ 「総合的な学習の時間」について

○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。〔質問番号(40)〕

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：46.2%（全国：54.8%） -8.6



《基本的な生活習慣及び家庭学習について》

（分析）

- ・普段（月～金曜日）、1日当たりのテレビ、ビデオ・DVD、テレビゲームの視聴等や、携帯電話やスマートフォンでの通話やメールの時間が短い生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・学校の授業時間以外の普段（月～金曜日）、1日当たりの勉強時間が長い生徒、土曜日

や日曜日など学校が休みの日の1日当たりの勉強時間が長い生徒、家で学校の授業の復習をしている生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

テレビ等の視聴やスマートフォン等については、家庭で約束を決めるなどの計画性が必要です。また、学校においても、生徒会活動で自らの生活について見直す機会としてルールを決めるなどの取組も有効です。

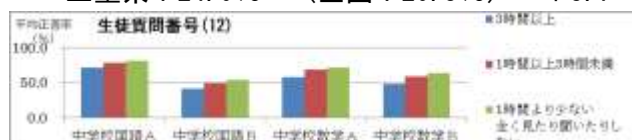
例えば、テレビ等の視聴やスマートフォン等の使用については、学校通信・学級通信等で各家庭に啓発し、課題を共有したり、PTA等と連携してルールを作成したりすることが大切です。また、PTAと連携し、「みえの学力向上県民運動」でキャンペーン期間を設定して取り組んだ、「読書習慣・生活習慣チェックシート」等を活用した取組を継続して行うことが大切です。

① 基本的な生活習慣について

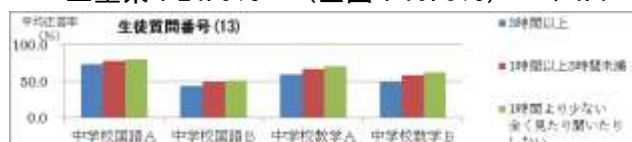
○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。（テレビゲーム除く） [質問番号(11)]
（「3時間以上」と回答した割合）
三重県：35.2% （全国：31.5%） +3.7



○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。 [質問番号(12)]
（「3時間以上」と回答した割合）
三重県：24.0% （全国：20.3%） +3.7



○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）。 [質問番号(13)]
（「3時間以上」と回答した割合）
三重県：24.5% （全国：19.8%） +4.7



② 家庭学習について

○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） [質問番号(14)]
（「2時間以上」と回答した割合）
三重県：31.3% （全国：35.1%） -3.8



○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師含む） [質問番号(15)]
（「3時間以上」と回答した割合）
三重県：12.6% （全国：16.9%） -4.3



○家で、学校の授業の復習をしていますか。 [質問番号(24)] （「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）
三重県：45.5% （全国：50.4%） -4.9



《家庭・地域について》

(分析)

- ・「家の人とは授業参観や運動会などの学校行事に来る」と回答した生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒は、全ての教科で平均正答

率が高い傾向が見られます。

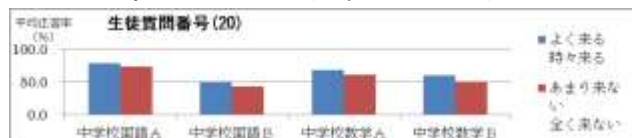
(改善ポイント)

保護者や関係者が学校行事に積極的に参加したり、生徒が地域の行事に参加し活動したりする機会が充実しているなど、家庭や地域が学校教育に関心を持ち、学校・家庭・地域が連携・協働する体制の充実は、学力向上につながると考えられます。

なお、行事を行うに当たっては、様々な事情で参加できない家庭への配慮と工夫が必要です。

例えば、地域の清掃活動や、福祉施設を訪問した活動、地域での職場体験活動など、学校・家庭・地域が連携・協働し、生徒の主体性を重視した教育活動を実施していくことが大切です。

- ①家の人（兄弟姉妹除く）は、授業参観や運動会などの学校行事に来ますか。〔質問番号(20)〕
（「よく来る」「時々来る」と回答した割合）
三重県：78.8% （全国：83.1%） -4.3



- ②今住んでいる地域の行事に参加していますか。〔質問番号(29)〕 （「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」といえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：50.4% （全国：43.5%） +6.9



【学校質問紙】

《授業等について》

授業の進め方について〔①〕

(分析)

- ・「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動や授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた学校は全国と比べて少ない状況です。

(改善ポイント)

各学校において、統一した授業の流れについて職員間で共通認識を図り、生徒に付けさせたい力を明確にし、適切に評価する必要があります。また、授業の冒頭での目標の提示や授業の最後での学習内容を振り返る活動を効果的に活用するための工夫について、全国の先進事例も参考にしながら全教員で検討し、充実を図る必要があります。

例えば、【めあての確認】→【学習課題について自分で考える】→【グループで交流する】……というように、1時間の基本的な授業の流れを明確にして、学校全体で共有することが大切です。また、めあてと振り返りの時間を確保するとともに、話し合い活動を取り入れ、その目的を黒板に掲示するなど具体的な手立ても必要です。

また、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）を提示し、授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れた1時間の授業の板書を写真にとりファイリングして共有するなどし、教員間で統一した授業の流れの共通認識を図ることも有効です。

言語活動の充実について〔②〕

(分析)

- ・各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けている学校、言語活動に重点を置いた指導計画を作成している学校、及び言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる学校は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしている学校は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

実生活を送るうえで不可欠であり、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を確実に身に付けることができるよう、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の全てにおいて、それぞれの教科等で生徒が身に付けるべき力を明確にするなど、言語活動の充実を学校全体で組織的に図ることが必要です。また、教科書を通した学習に留まらず、学んだことを生かし、活用する発展的な学習を工夫して取り入れることも必要です。

例えば、校内研修等において、学校全体で組織的によりよい言語活動を設定し授業の展開をテーマとした授業研究を行い、授業改善に結びつけることが必要です。

国語の指導について〔③〕

(分析)

- ・本県では、補充的な学習の指導を行っている学校の割合は、全国と比べて低く、平均正答率においても、成果に結びついていない状況が見られ、内容や方法等について工夫する必要があります。
- ・発展的な学習の指導を行っている学校は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行っている学校は、国語Bで平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

補充的な学習の指導については、生徒の実態を踏まえて、より効果的な授業形態であったか等の視点から検討し、改めて指導方法の充実を図る必要があります。その際には、全国での先進事例も参考にしながら、各学校の状況に合わせて、ボランティアを活用したり、ワークシートを活用した習熟度別活動を用いたりするなどの工夫とともに、効果についての検証を行う必要があります。

また、発展的な学習を取り入れていくことは、生徒の学習意欲を生み出し、主体的な学習につながる効果が期待できます。

その他の指導について〔④〕

(分析)

- ・数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数指導を行い、習得できるようにした学校や、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱っている学校は、全国より少なく1割程度に留まっています。また、全国的に

は、数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行った学校は、数学A・Bともに平均正答率が高い傾向が見られますが、本県では平均正答率との関連が見られず、工夫が必要です。

- ・総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導を行っている学校は、概ね平均正答率が高い傾向にあります。
- ・教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。
- ・「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けた学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。

(改善ポイント)

数学の授業での習熟の程度に応じた指導の実施については、生徒のわかりたいという気持ちを大切に、グループ編成の工夫、グループに応じた指導内容の精選、指導に当たる教員の連携等の工夫改善を行い、少人数指導の充実に取り組む必要があります。

また、地域や社会で起こっている問題や出来事をタイムリーに題材として学習を行うことは、これからの時代を生きていく生徒にとって大切です。例えば、総合的な学習の時間等に自ら「気づき・考え・実行する」という視点での学習活動を展開することも大切です。

組織的な研修や取組等について〔⑤〕

(分析)

- ・授業研究を伴う校内研修を行っている学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行ったと回答した学校は全国に比べて少ない状況です。
- ・教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行った学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。
- ・校長が週に2回以上授業を見回っている学校ほど、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。
- ・長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施した学校は、数学A・Bで平均正答率が高い傾向にあります。

(改善ポイント)

本県は、授業研究を伴う校内研修会を実施する回数が全国に比べて多くなっていますが、回数の多さによる効果はあまり見られない状況があります。教科の授業研究の強化を図り、年間を通して、めざす生徒像に迫る継続的な話し合いが必要です。また、小中学校が連携し、授業参観等の交流の機会を増やしたり、教科を絞って定期的に合同研修会を持ったりするなど、小中学校の9年間を見通した児童生徒の学力や学習状況等を共有する取組も大切です。

全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対する働きかけの方法について、学校全体で検証し、具体的で実効性のあるものとする中で、家庭・地域の協力を得ながら、生徒の学力の育成が図られるよう改善する必要があります。

組織的な授業改善や、教員の指導力の向上を図るため、日々の授業を校長が参観し指導・助言することが必要です。

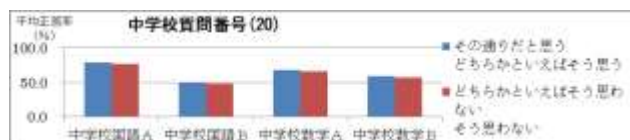
また、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）を提示し、授業の最後に学習内容を振り返る活動を取り入れた1時間の授業の板書を写真にとりファイリングして共有するなどし、教員間で統一した授業の流れの共通認識を図ることも有効です。

① 授業の進め方について

○調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

〔質問番号(20)〕（「そのとおりだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

三重県：54.3%（全国：63.8%）－9.5



○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか。〔質問番号(28)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：88.3%（全国：94.0%）－5.7



○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。〔質問番号(29)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：84.5%（全国：89.2%）－4.7



② 言語活動の充実について

○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、

各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか。〔質問番号(30)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：77.2%（全国：84.9%）－7.7



○言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか。〔質問番号(93)〕（「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

三重県：73.4%（全国：80.5%）－7.1



○言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。

〔質問番号(95)〕（「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

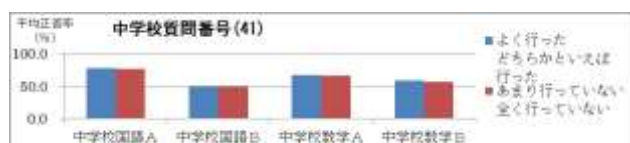
三重県：77.1%（全国：85.4%）－8.3



○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか。〔質問番号(41)〕（「よく行った」「どちらかといえば、

行った」と回答した割合)

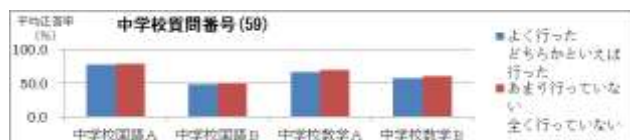
三重県：80.8% (全国：86.5%) -5.7



③ 国語の指導について

○調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。 [質問番号(59)] (「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：66.1% (全国：74.9%) -8.8



○調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。 [質問番号(60)] (「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：51.2% (全国：56.0%) -4.8



○調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。 [質問番号(61)] (「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：77.2% (全国：81.5%) -4.3



④ その他の指導について

○調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数指導を行い、習得できるようにしました

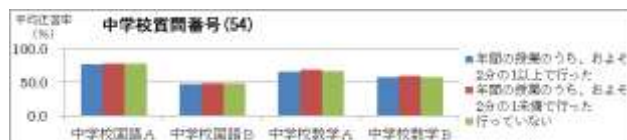
か。 [質問番号(53)] (「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

三重県：13.6% (全国：22.7%) -9.1



○調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか。 [質問番号(54)] (「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

三重県：11.2% (全国：18.2%) -7.0



○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。 [質問番号(42)] (「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

三重県：73.5% (全国：79.6%) -6.1



○調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか。 [質問番号(43)] (「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

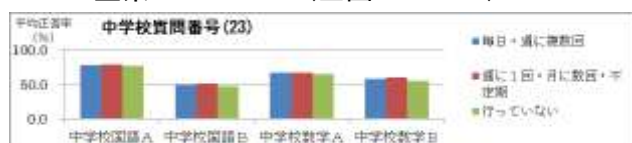
三重県：56.1% (全国：63.4%) -7.3



○調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。 [質問番号(23)] (「基本的に毎日行った」「週

に複数回、定期的に行った」と回答した割合)

三重県：85.9% (全国：79.8%) +6.1



⑤ 組織的な研修や取組等について

○授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか。〔質問番号(89)〕 (「1 1回以上」と回答した割合)

三重県：27.2% (全国：21.5%) +5.7



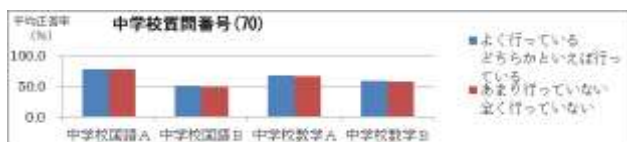
○平成25年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。〔質問番号(50)〕 (「よく行った」「行った」と回答した割合)

三重県：71.0% (全国：77.2%) -6.2



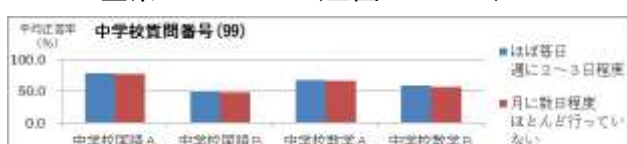
○教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携(教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など)を行っていますか。〔質問番号(70)〕 (「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：64.8% (全国：72.1%) -7.3



○校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。〔質問番号(99)〕 (「ほぼ毎日」「週に2～3日程」と回答した割合)

三重県：69.2% (全国：79.3%) -10.1



○調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか。(実施した日数の累計)〔質問番号(27)〕 (「延べ5日以上」と回答した割合)

三重県：69.1% (全国：60.4%) +8.7



《家庭学習について》

(分析)

- ・保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っている学校、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている学校、及び家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を与えている学校は、全国より少ない状況であり、平均正答率との関連も見られません。

(改善ポイント)

全国では、数学の指導として家庭学習の課題を与えた学校の方が、数学A・Bで平均正答率が高い傾向にあります。また、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた学校の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。このことから、課題を与えることやその内容について、生徒の実態を踏まえた各学校の工夫が必要です。

例えば、すべての生徒が意欲を持って家庭学習に取り組めるようにするため、必修問題とチャレンジ問題を併せた家庭学習、新聞記事やテレビのニュースを要約し感想をまとめて保護者等からコメントを聞き取る家庭学習など、各学校の工夫により生徒の学習

意欲を引き出す様々な取組が可能です。また、生徒が行ってきた家庭学習については、必ず点検するなどの見届けと励ましが必要です。

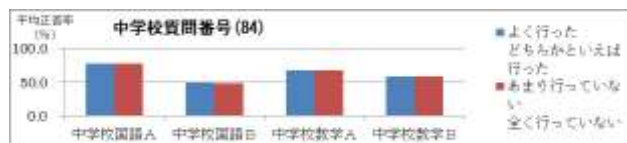
○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／数学共通）。〔質問番号(82)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：81.5%（全国：85.4%）－3.9



○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／数学共通）。〔質問番号(84)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：55.6%（全国：64.2%）－8.6



○調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／数学共通）。〔質問番号(83)〕（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

三重県：71.6%（全国：76.9%）－5.3



3 学力向上に向けた施策取組結果等の状況

(1)「みえの学力向上県民運動」における成果指標及び取組指標に関連する項目の分析

(質問紙調査項目 p. 66～p. 68 参照)

【児童生徒質問紙】

《自尊感情について》

小学校・中学校

(分析)

- ・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」、「将来の夢や目標を持っている」と回答している児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・「自分には、よいところがある」と回答している児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

小学校 (改善ポイント)

学ぶことや働くことの意義について理解させたり、自分の将来について具体的な目標を立てさせたりする機会を設定することが必要です。例えば、身近な人から仕事に対する思いや生きがいについて話を聞くことも有効です。

また、できたことをほめ自分の良さに気付く経験を増やすことにより自尊感情を育むことが大切です。例えば、ありがとうの気持ちを伝え合うメッセージカードを友達と交換し合ったり、図画工作の作品などをクラスで評価し合ったりする取組が考えられます。

中学校 (改善ポイント)

キャリア教育に関わる体験活動等を通して、職業への意識や学習と日常生活を関連付けたり、自己の生き方や進路を真剣に考えさせたりすることが大切です。

例えば、様々な職種で活躍する卒業生や地元の方などをゲストティーチャーとして招いての講演会や、道德の時間に学問や科学技術等の発展に寄与した人物を取り上げることが考えられます。また、自尊感情の向上のためには、日頃の授業等において発言や本人が書いた感想・コメント等を丁寧に取り上げることが大切です。

①ー1 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。[質問番号(5)]

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合)

三重県：75.4% (全国：75.1%) +0.3

三重県：69.5% (全国：68.0%) +1.5

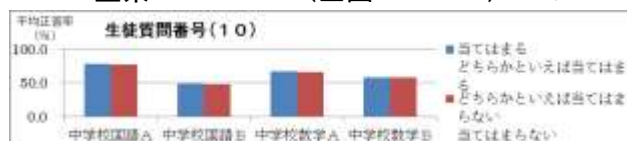
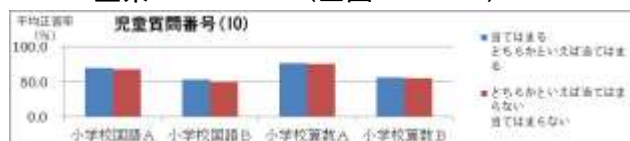


①ー2 将来の夢や目標を持っていますか。[質問番号(10)]

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合)

三重県：85.8% (全国：86.7%) -0.9

三重県：71.6% (全国：71.4%) +0.2

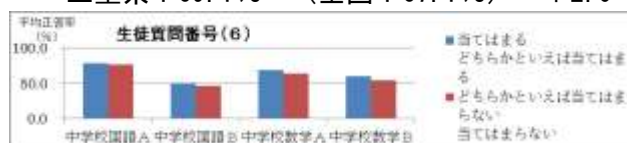


②自分には、よいところがあると思いますか。〔質問番号(6)〕

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：75.7% (全国：76.1%) -0.4

三重県：69.1% (全国：67.1%) +2.0



《基本的な生活習慣について》

小学校・中学校

(分析)

- ・「朝食を毎日食べている」、「毎日同じくらいの時刻に寝ている、起きている」と回答している児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

基本的な生活習慣については、学校が家庭と連携して定期的に子どもたちの実態を確認し、必要な改善を図ることが必要です。

例えば、「みえの学力向上県民運動」でキャンペーン期間を設定し取り組んだ、「読書習慣・生活習慣チェックシート」等を活用した取組を継続して行うなどして、習慣化を図ることが大切です。

③ー1 朝食を毎日食べていますか。〔質問番号(1)〕

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：95.7% (全国：96.0%) -0.3

三重県：93.3% (全国：93.5%) -0.2



③ー2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。〔質問番号(2)〕

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：78.3% (全国：79.2%) -0.9

三重県：75.0% (全国：74.1%) -0.9



③ー3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。〔質問番号(3)〕

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：90.9% (全国：90.9%) ±0

三重県：92.3% (全国：92.1%) +0.2



《学習状況について》

小学校・中学校

(分析)

・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「宿題、予習・復習をしている」と回答している児童生徒はそれぞれ、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

宿題を与えるだけでなく、学校で家庭学習の手引きを作成するとともに、一人ひとりの取組を確認するなど、児童生徒が主体的に復習するための手立てを学校全体で検討し、共通認識を持って指導を進めることが必要です。また、児童生徒が行ってきた家庭学習については、必ず点検するなどの見届けと励ましが必要です。さらに、家庭との連携も重要です。

④家で、自分で計画を立てて勉強していますか。[質問番号(21)]

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：59.4% (全国：61.0%) -1.6

三重県：47.3% (全国：46.6%) +0.7



⑤家で、学校の宿題をしていますか。[質問番号(22)]

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：97.3% (全国：96.5%) +0.8

三重県：87.7% (全国：88.2%) -0.5



⑥家で、学校の授業の予習をしていますか。[質問番号(23)]

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：42.0% (全国：43.2%) -1.2

三重県：34.6% (全国：34.2%) +0.4



⑦家で、学校の授業の復習をしていますか。[質問番号(24)]

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

三重県：48.7% (全国：54.0%) -5.3

三重県：45.5% (全国：50.4%) -4.9



《読書について》

小学校・中学校

(分析)

- ・「学校図書館・室や地域の図書館へ行く頻度が多い」と回答している児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

各学校において、計画的に学校図書館等を活用した授業づくりを推進したり、各学校の図書委員会等の活動で、「図書館まつり」等の活動を定期的に行ったりするなどして、目的に応じた読書の方法を学ばせるなど、児童生徒に生涯にわたる読書習慣の育成を図ることが必要です。

また、「みえの学力向上県民運動」においてキャンペーン期間を設定して取り組んだ、「読書習慣・生活習慣チェックシート」等を活用して、家庭と連携した読書習慣の形成に取り組むことも大切です。

- ⑧本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌除く) [質問番号(18)] 「だいたい週に4回以上行く」「週に1～3回程度行く」「月に1～3回程度行く」と回答した割合)

三重県：42.1% (全国：42.9%) -0.8



三重県：18.4% (全国：18.9%) -0.5



《家庭・地域について》

小学校・中学校

(分析)

- ・「家の人は授業参観や運動会などの学校の行事に来る」と回答した児童生徒の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」と回答した児童生徒の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・家の人が学校行事に積極的に参加することは、家庭が学校教育に関心を持って、連携・協働することにより学力向上に結び付いたと考えられます。

(改善ポイント)

家庭や地域においては、家の人の学校行事等への積極的な参加や、児童生徒の主体的な地域行事への参加が活発になるよう、学校、家庭、地域が連動協力して児童生徒の教育環境の一層の充実に取り組むことが大切です。

- ⑨家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。 [質問番号(20)]

(「よく来る」「時々来る」と回答した割合)

三重県：97.4% (全国：96.5%) +0.9



三重県：78.8% (全国：83.1%) -4.3



⑩今住んでいる地域の行事に参加していますか。[質問番号(29)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：73.2% (全国：68.0%) +5.2

三重県：50.4% (全国：43.5%) +6.9



【学校質問紙】

《全国学力・学習状況調査等の活用について》

小学校・中学校

(分析)

- ・本県において、平成25年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために、90%以上の学校が活用したと回答したとしています。全国的には、平均正答率が高い学校では結果を活用した取組が行われていることから、今後、より効果的に活用していくことが必要です。

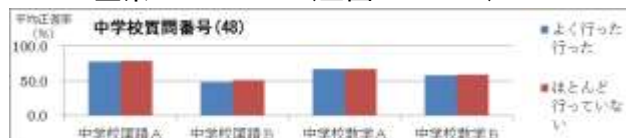
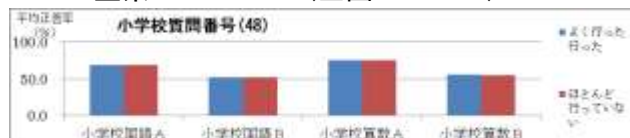
(改善ポイント)

全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、全教員で共有する必要があります。また、学年や教科の枠を越えて学校全体で問題を解くことが必要です。さらに、解答用紙をコピーして自ら採点し、解答類型と併せて分析する中で、児童生徒に身に付けさせるべき力を学校全体で共有し、早期に授業改善に生かす取組が大切です。

⑪平成25年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。[質問番号(48)] (「よく行った」「行った」と回答した割合)

三重県：92.9% (全国：93.6%) -0.7

三重県：91.4% (全国：90.4%) +1.0



《学校図書館の活用について》

小学校・中学校

(分析)

- ・小学校では、授業での学校図書館の計画的な活用状況と教科の平均正答率との間に明らかな関係は見られませんが、中学校では、学校図書館を活用した授業を計画的に行った学校の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・全国では、小中学校ともにB問題と一定の相関が見られます。

(改善ポイント)

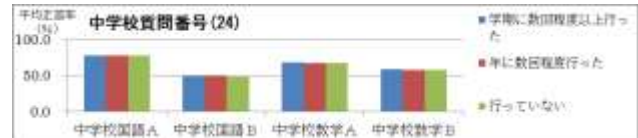
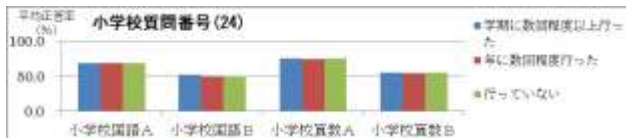
学校図書館を活用した授業づくりの内容を検証し、各教科で積極的に推進する必要があります。各学校において、学校図書館を計画的に活用した授業づくりを各教科でさらに工夫し推進する必要があります。

例えば、各教科の学校図書館の利用については、国語科における本の読み比べや社会科における調べ学習、総合的な学習の時間におけるプレゼンテーションのための資料づくりなど、学校図書館司書と連携し、アドバイスをもらうなど、各教科の年間計画に学校図書館の利用を位置付けていくことも大切です。

- ⑫小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。〔質問番号(24)〕（「週に1回程度、またはそれ以上行った」「月に1回程度行った」「学期に数回程度行った」と回答した割合）

三重県：77.2% （全国：80.5%） －3.3

三重県：39.5% （全国：42.2%） －2.7



(2) その他の特徴的な項目等の分析 (質問紙調査項目 p. 69～p. 71 参照)

【児童生徒質問紙】

《基本的な生活習慣について》

小学校・中学校

(分析)

- ・ 普段 (月～金曜日)、1日当たりのテレビ、ビデオ・DVD、テレビゲームの視聴等や、携帯電話やスマートフォンの通話やメールの時間が短い児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・ 学校の授業時間以外の普段 (月～金曜日) の1日当たりの勉強時間が長い児童生徒、土曜日や日曜日など学校が休みの日の1日当たりの勉強時間が長い児童生徒、家で学校の授業の復習をしている児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

テレビ等の視聴やスマートフォン等の使用について計画的に行うことと併せて、家庭での学習時間に移行できるような取組を推進するため、学校の宿題や課題の与え方の工夫とともに家庭での生活習慣の確立に向けた取組が必要です。

例えば、県で展開している「みえの学力向上県民運動」では、家庭で読書習慣・生活習慣を身に付けるための「チェックシート」の取組を行っています。本シートを定期的に活用し、家庭での対話の大切さを啓発することができます。より効果的に活用するために、学校で回収して、児童生徒の状況を把握し個別面談等で活用することも考えられます。

- ① 普段 (月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。 [質問番号(11)] (テレビゲームをする時間は除く) (「3時間以上」と回答した割合)

三重県 : 38.4% (全国 : 38.0%) +0.4

三重県 : 35.2% (全国 : 31.5%) +3.7



- ② 普段 (月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム (コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む) をしますか。 [質問番号(12)]

(「3時間以上」と回答した割合)

三重県 : 18.8% (全国 : 17.0%) +1.8

三重県 : 24.0% (全国 : 20.3%) +3.7



- ③ 普段 (月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。 [質問番号(13)]

(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く) (「3時間以上」と回答した割合)

三重県 : 5.6% (全国 : 5.0%) +0.6

三重県 : 24.5% (全国 : 19.8%) +4.7



《規範意識について》

小学校・中学校

(分析)

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

(改善ポイント)

学校生活上の諸問題を話し合っ解決していく中で、自らの生活習慣を向上させようとしたり、ルールを遵守しようとしたりすることは、自ら学習に取り組む意欲を高め、より学習した内容が身に付いていくことにつながると考えられます。

例えば、道徳の時間を充実させ、児童生徒に「いじめ」を許さない態度とともに実生活で実践する力を養っていくことも大切です。また、定期的の実施しているいじめの実態を把握するためのアンケート等を活用して、必要な手立てを講じることにより、児童生徒が安心して学習できる環境を作ることが大切です。

⑥いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。[質問番号(37)]

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

三重県：96.3% (全国：96.4%) -0.1

三重県：92.8% (全国：93.4%) -0.6



《学習状況等について》

小学校・中学校

(分析)

- ・ 普段の日及び学校が休みの日に関わらず、1日当たりの勉強時間が長いと回答している児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・ 「総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・ 小学校では、「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたり、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と回答した児童は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・ 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・ 全国と比べ、本県では、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した児童生徒が少なく、児童生徒の主体的な活動を位置付けた授業への改善が必要です。

(改善ポイント)

「課題の設定」→「情報の収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」の探究のプロセスを意識した問題解決的な授業とする工夫が必要です。

児童生徒が目標（めあて・ねらい）の提示や授業の最後に振り返る活動の実施を意識

できるよう工夫し、児童生徒が見通しを立てて主体的に学習に取り組むことができるような授業づくりが必要です。

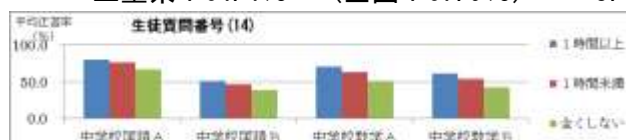
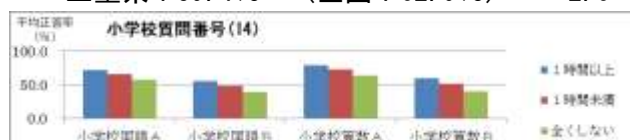
国語の授業において、普段から目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりして表現する活動を取り入れる授業の工夫が必要です。

総合的な学習の時間を中心に各教科において、児童生徒の興味・関心にそった課題を設定し、「課題の設定」→「情報の収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」の探究のプロセスを意識した問題解決的な授業とするよう工夫が必要です。

- ④学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾や家庭教師を含む）〔質問番号(14)〕（「1時間以上」と回答した割合）

三重県：59.4%（全国：62.0%）－2.6

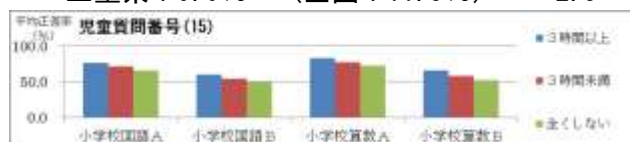
三重県：64.4%（全国：67.9%）－3.5



- ⑤土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。〔質問番号(15)〕（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（「3時間以上」と回答した割合）

三重県：9.0%（全国：11.5%）－2.5

三重県：12.6%（全国：16.9%）－4.3



- ⑦「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。〔質問番号(40)〕

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：53.3%（全国：63.8%）－10.5

三重県：46.2%（全国：54.8%）－8.6



- ⑧授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。〔質問番号(44)〕

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：75.7%（全国：82.0%）－6.3

三重県：62.1%（全国：71.5%）－9.4



- ⑨授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。〔質問番号(45)〕

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

三重県：67.1%（全国：71.9%）－4.8

三重県：51.4%（全国：53.3%）－1.9



⑩国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。

〔質問番号(55)〕 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

三重県：56.6% (全国：61.4%) -4.8

三重県：53.2% (全国：56.1%) -2.9



【学校質問紙】

《補充的な学習サポートについて》

小学校・中学校

(分析)

- ・放課後を利用した、補充的な学習サポートを週2回以上行っていると回答した学校が少なく、教科の平均正答率にも成果として表れていない状況が見られます。
- ・放課後を利用した補充的な学習サポートを実施している学校は、学力に課題が見られることも推測されるため、平均正答率に反映されていないと考えられます。

(改善ポイント)

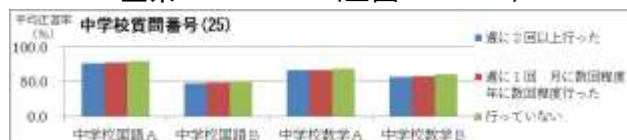
個に応じた補充的な学習サポートを継続的、系統的に実施していくことは、児童生徒の学力の定着・向上を図るために必要であり、学校全体の共通認識のもとその方法を工夫し、充実を図ることが大切です。

⑪小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。〔質問番号(25)〕

〔週に4回以上行った〕〔週に2～3回行った〕と回答した割合

三重県：18.9% (全国：17.5%) +1.4

三重県：11.8% (全国：14.1%) -2.3



《校長の見回りにについて》

小学校・中学校

(分析)

- ・校長が週に2回以上授業を見回っている学校は、平均正答率が高い傾向にあります。

(改善ポイント)

組織的な授業改善の取組を促進し、校内の指導力の向上につなげるためには、授業改善に伴う校内研修会等のほか、日々の授業を校長が参観し指導・助言することは重要なことです。このことにより、教員の指導力の向上とともに組織力の向上にもつながると考えられます。

⑫校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。〔質問番号小学校(101)・中学校(99)〕

〔ほぼ毎日〕〔週に2～3日程度〕と回答した割合

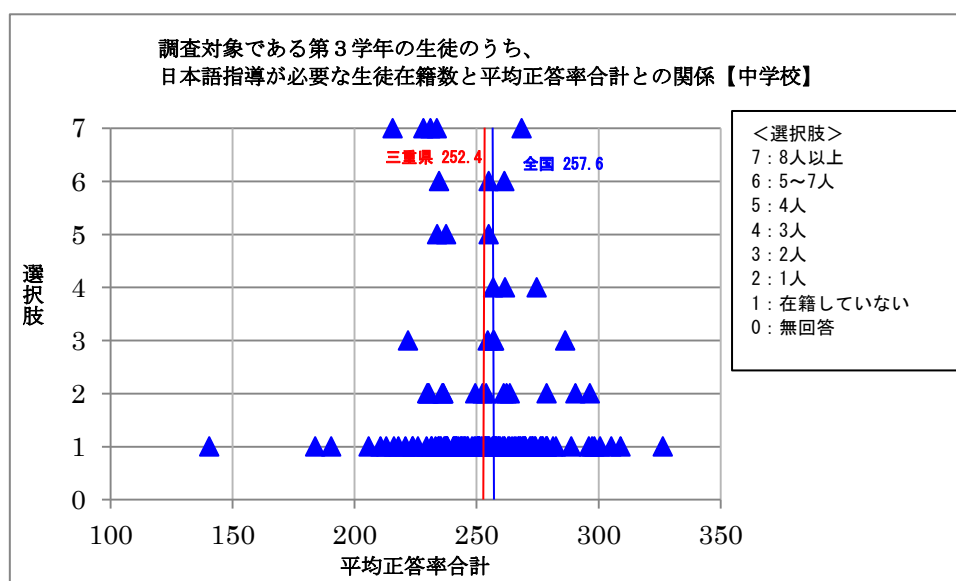
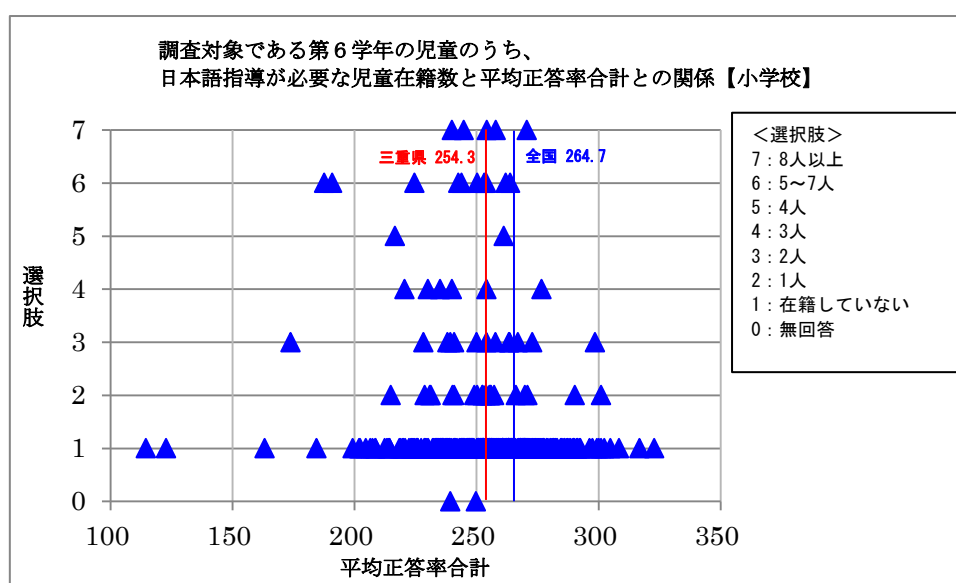
三重県：84.5% (全国：91.6%) -7.1

三重県：69.2% (全国：79.3%) -10.1



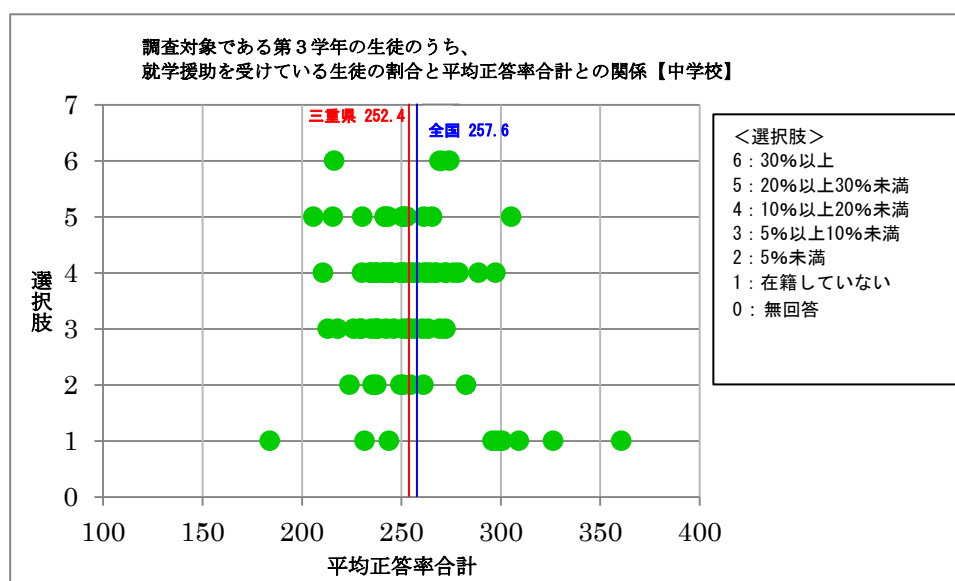
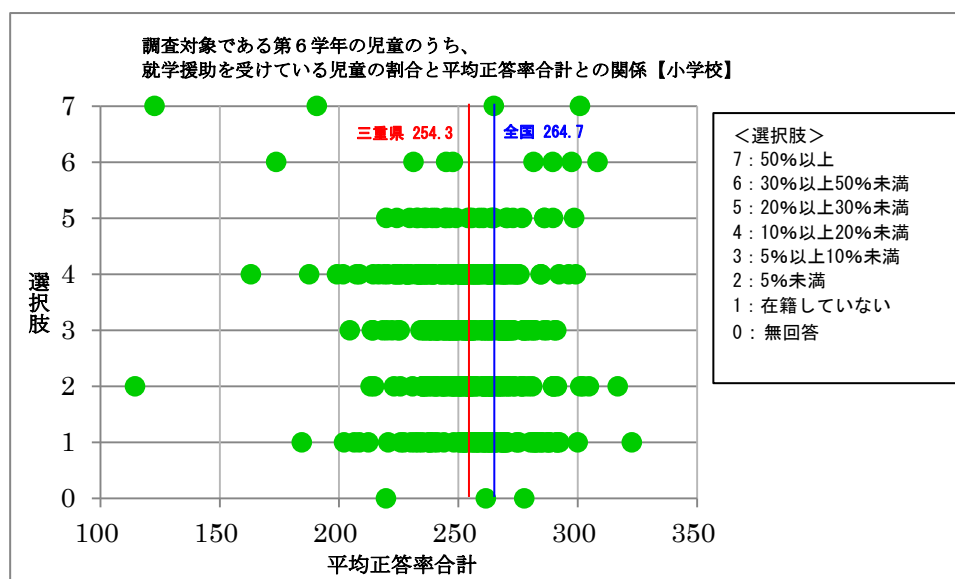
《日本語指導が必要な児童生徒について》

- ・日本語指導が必要な児童生徒在籍数と平均正答率の合計との間には、明確な関係性は見られません。
- ・外国人児童生徒が在籍する学校では、在籍学級において日本語で学習する力の習得を支援する授業改善に取り組む学校が増えています。外国人児童生徒を含めた、すべての児童生徒の学力の向上につながる、わかりやすい指導に向けた教員の意識が高まっていると考えられます。
- ・なお、本県に比べて在籍率が高い県外の自治体においても、本年度、小学校では、国語A以外は全国の平均正答率を上回る結果となっており、在籍率が高いといった理由で平均正答率が低くなるとは一概には言えません。



《就学援助を受けている児童生徒について》

- ・就学援助を受けている児童生徒の在籍割合と平均正答率の合計との間には、明確な関係性は見られません。
- ・就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校では、平均正答率との関連が見られる、「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導」「朝の読書などの一斉読書の時間の設定」「地域の人材を外部講師として招聘した授業」「博物館や科学館、図書館を利用した授業」「学校の教育目標やその達成に向けた方策について、教員の間での共有と取組」「国語の指導として、書く習慣を付ける授業」「算数の指導として、補充的な学習の指導」「家庭学習の課題の与え方について、教員で共通理解を図る」「学校の教育活動の情報についてホームページを更新し、情報提供を行う」などの取組が、学校全体で行われています。



(3) 全国学力・学習状況調査結果から見られる事業の取組状況

全国学力・学習状況調査は4月に実施されることから、教科に関する調査では前年度までの学習状況を、質問紙調査では前年度の取組状況をまとめています。このことから、平成26年度調査では平成25年度の取組を、平成25年度調査では平成24年度の取組を検証することになります。

① 平成25年度学力向上に向けた指導体制確立支援事業について

取組概要

児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査の活用に係る市町の取組への支援を行うとともに、県教育委員会の指導主事や学力向上アドバイザー（5名）を学力の定着に課題を抱え、主体的に課題改善に取り組む実践推進校（100校）へ派遣するなどし、取組を支援してきました。

ア 平均正答率について

平成25年度の実践推進校（小学校68校、中学校32校）の結果を分析しました。

《小学校》

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
実践推進校	62.0	70.4	48.8	53.5	77.2	76.8	57.4	57.1
全国との差	-0.7	-2.5	-0.6	-2.0	0	-1.3	-1.0	-1.1
実践推進校以外	59.6	69.0	45.8	52.0	75.3	75.8	54.5	55.4
全国との差	-3.1	-3.9	-3.6	-3.5	-1.9	-2.3	-3.9	-2.8
三重県	60.3	69.6	46.7	52.5	75.8	76.2	55.3	56.0
全 国	62.7	72.9	49.4	55.5	77.2	78.1	58.4	58.2

《中学校》

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
実践推進校	74.7	77.0	65.7	47.6	62.9	66.3	39.5	57.1
全国との差	-1.7	-2.4	-1.7	-3.4	-0.8	-1.1	-2.0	-2.7
実践推進校以外	75.0	78.3	65.7	49.5	63.3	67.2	39.2	58.6
全国との差	-1.4	-1.1	-1.7	-1.5	-0.4	-0.2	-2.3	-1.2
三重県	75.0	78.0	65.8	49.0	63.2	67.1	39.3	58.3
全 国	76.4	79.4	67.4	51.0	63.7	67.4	41.5	59.8

- ・平成25年度実践推進校の小学校の平均正答率は、実践推進校以外の学校を全ての教科で上回っています。一方、中学校においては、十分に効果が表れていない状況があります。
- ・平成25年度実践推進校の小学校、中学校の平均正答率は、ともに全国平均を下回っており、課題は大きい状況にあります。
- ・中学校においては、教科担任制のため、該当教科の指導に関わる教員に限られるということもあり、習熟度に応じた指導やチームティーチングの実施率も低い傾向と相まって、成果に結びついていないことが考えられます。
- ・平成15年度から「みえ少人数教育推進事業」を推進し、基本的な生活習慣や基礎・基本の学力の定着と、確かな学力の定着と生きる力の育成を図ってきているところですが、学力向上に特化した非常勤講師の活用が不十分なため、成果に結びついていないことが考えられます。
- ・その学校の課題解決に適した非常勤講師の配置が不十分または困難な状況も考えられます。
- ・なお、平成26年度の実践推進校の選定基準は、平成24年度～25年度における指定基準から変更し、過去の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて決定しています。

イ 質問紙から見られる取組の分析と改善ポイント

(分析)

- ・算数・数学の授業において、「習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした」「習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った」とする学校や、国語において、「チームティーチングによる指導を行った」とする学校の割合は、小学校、中学校ともに減少しています。
- ・全国学力・学習状況調査の自校の結果の活用率は、高くなってきています。また、小学校において、自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、「保護者や地域の人たちに対して働きかけを行った」とする学校の割合、及び中学校において、「学校全体で教育活動を改善するために活用した」とする学校の割合は、昨年に比べ高くなってきています。
- ・小学校、中学校ともに、少人数による指導やチームティーチングの授業形態が減少傾向にあります。

(改善ポイント)

学校の実態や児童生徒の状況に合わせ、個に応じた授業の工夫が大切です。

各実践推進校において、国語、算数・数学での少人数指導等が実践されていますが（下記参考）、全国学力・学習状況調査の成果に十分結びついていない状況です。学校質問紙にもあるように、習熟の遅いグループや習熟の早いグループに対して少人数による指導を行ったりするなど、子どもたちの学習状況に合わせ、目的を明らかにした少人数による指導を行う必要があります。

また、実践推進校に対しては、授業改善の指導・助言を行う学力向上アドバイザーの派遣によって、一定の授業改善が図られています。今後は、習熟度に応じた効果的な少人数指導の推進や言語活動の充実など、効果的な取組を支援する視点から、派遣目的を一層明確にした学校訪問を行っていく必要があります。さらに、学力向上アドバイザーからのアドバイスを校内研修等において学校全体で情報共有し、さらなる指導の充実を図っていく必要があります。

(参考)

※H25年度の学力向上アドバイザーの派遣回数（延べ数）

小学校：590回

中学校：243回

※少人数指導等が行われた教科の状況（小学校68校、中学校32校）

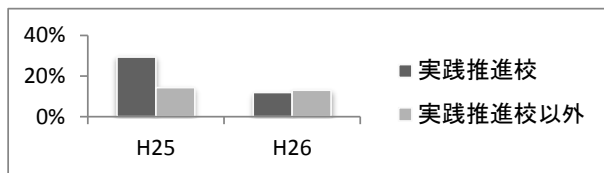
小学校：国語25.0% 算数82.4%

中学校：国語15.6% 数学78.1%

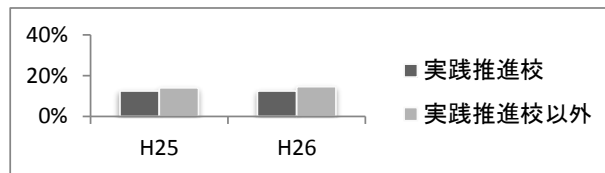
(ア) 少人数指導について

【学校質問番号(53)】 調査対象学年の児童生徒に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか。(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

《小学校》

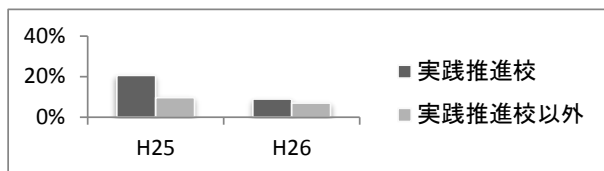


《中学校》

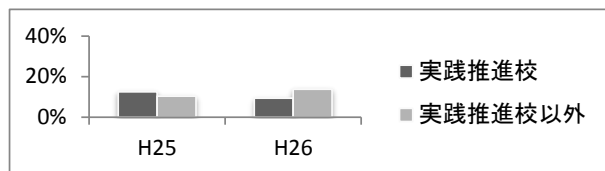


【学校質問番号(54)】 調査対象学年の児童生徒に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか。(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

《小学校》

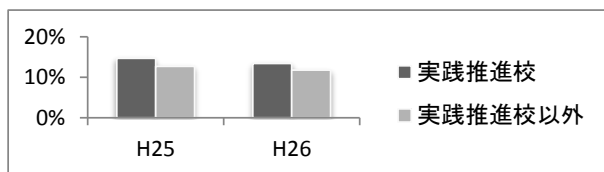


《中学校》

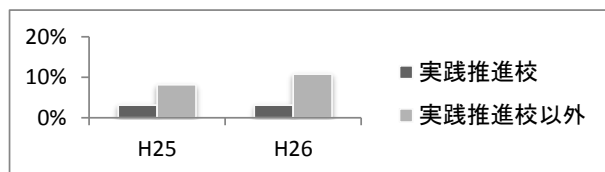


【学校質問番号(55)】 調査対象学年の児童生徒に対して、算数・数学の授業において、小学校第4学年・中学校第1学年のときに、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか。(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

《小学校》

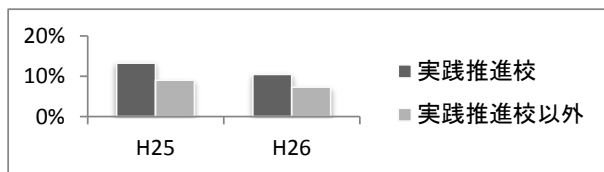


《中学校》

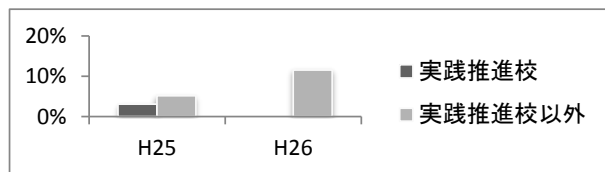


【学校質問番号(56)】 調査対象学年の児童生徒に対して、算数・数学の授業において、第4学年・第1学年のときに、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか。(「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合)

《小学校》



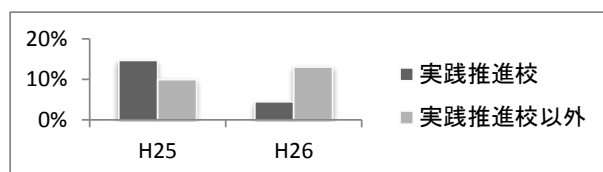
《中学校》



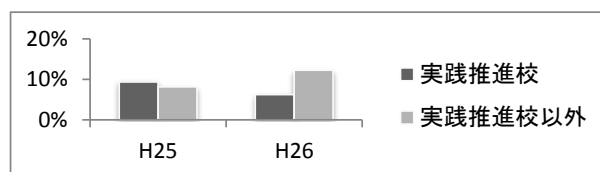
※H25は、質問紙調査が3分冊になっており、モデル校の質問紙には該当項目がなかったため、グラフはありません。

【学校質問番号(57)】 調査対象学年の児童生徒に対して、国語の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか。（「年間の授業のうち、およそ2分の1以上で行った」と回答した割合）

《小学校》



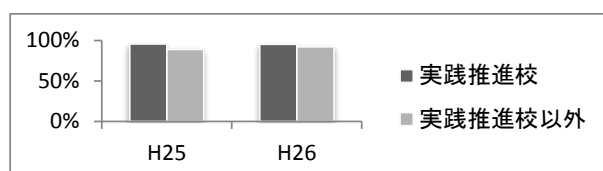
《中学校》



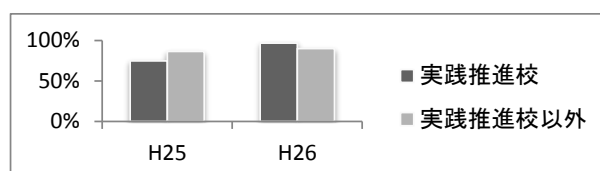
(イ) 全国学力・学習状況調査の活用について

【学校質問番号(48)】 平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。（「よく行った」「行った」と回答した割合）

《小学校》

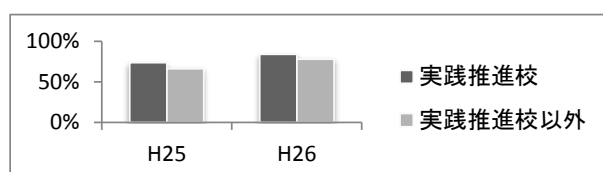


《中学校》

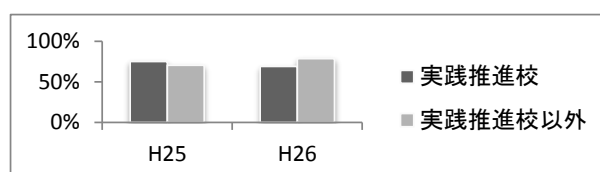


【学校質問番号(49)】 平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）（「よく行った」「行った」と回答した割合）

《小学校》

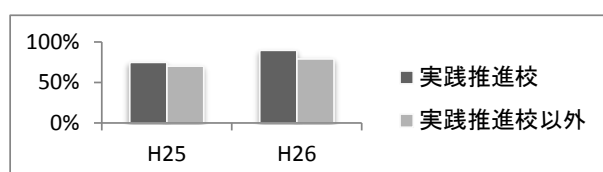


《中学校》

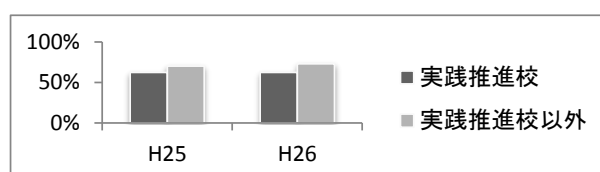


【学校質問番号(50)】 平成25年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。（「よく行った」「行った」と回答した割合）

《小学校》

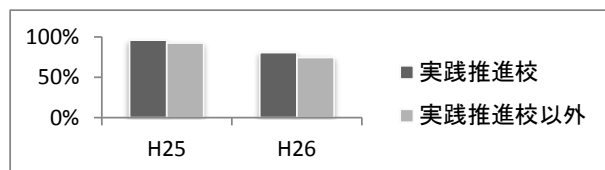


《中学校》

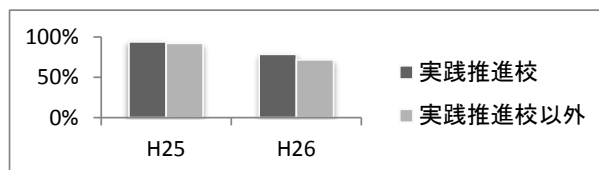


【学校質問番号(51)】全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。(「よく行っている」「どちらかといえば、行っている」と回答した割合)

《小学校》



《中学校》



② 平成25年度地域と協働する学校運営支援事業について

取組概要

社会全体で子どもを育てるという視点を重視し、学校・家庭・地域が一体となって課題を共有し、保護者や地域住民等による学校運営や教育活動への積極的な参画を進めるため、市町教育委員会と連携し、公立小中学校へのコミュニティ・スクール等の導入を進めるなど、地域に開かれた学校づくりを推進します。

ア 平均正答率について

平成25年度までに、コミュニティ・スクールに指定されている学校（小学校38校、中学校15校）の結果を分析しました。

《小学校》

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
指定校	59.4	70.2	46.8	54.3	75.1	76.2	55.2	56.7
全国との差	-3.3	-2.7	-2.6	-1.2	-2.1	-1.9	-3.2	-1.5
指定校以外	60.4	69.3	46.6	52.1	75.9	76.1	55.3	55.8
全国との差	-2.3	-3.6	-2.8	-3.4	-1.3	-2.0	-3.1	-2.4
三重県	60.3	69.6	46.7	52.5	75.8	76.2	55.3	56.0
全 国	62.7	72.9	49.4	55.5	77.2	78.1	58.4	58.2

《中学校》

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
指定校	73.6	77.1	65.5	49.2	61.8	66.5	37.3	58.3
全国との差	-2.8	-2.3	-1.9	-1.8	-1.9	-0.9	-4.2	-1.5
指定校以外	75.2	78.1	65.8	48.9	63.4	67.1	39.6	58.1
全国との差	-1.2	-1.3	-1.6	-2.1	-0.3	-0.3	-1.9	-1.7
三重県	75.0	78.0	65.8	49.0	63.2	67.1	39.3	58.3
全 国	76.4	79.4	67.4	51.0	63.7	67.4	41.5	59.8

コミュニティ・スクールに指定されている学校では、小中学校ともに全ての教科において、全国の平均正答率との差が縮まっています。

イ 質問紙から見られる取組の分析と改善ポイント

(分析)

- ・コミュニティ・スクールでは、保護者や地域住民などが、学校運営や教育活動に主体的に参画する取組が継続的に進められており、子どもたちの学力向上に効果が見られます。
- ・PTAや地域の人々が学校の諸活動にボランティアとして参加したり、学校運営

に参画できる仕組みを構築し地域と密着した取組を進めることは、学力向上に効果があります。

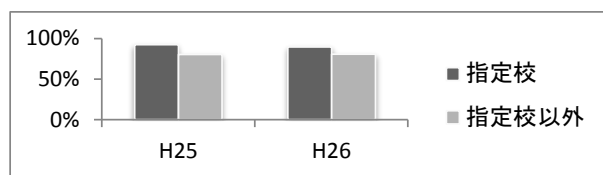
(改善ポイント)

コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、学校・地域が協力して学校教育をつくりあげていく仕組みの一つです。この取組は、「みえの学力向上県民運動」で進めている「学校・家庭・地域が役割を認識し、県民一人ひとりが当事者意識を持ち、子どもたちの学力を一層育んでいく」という趣旨を具現化するものです。

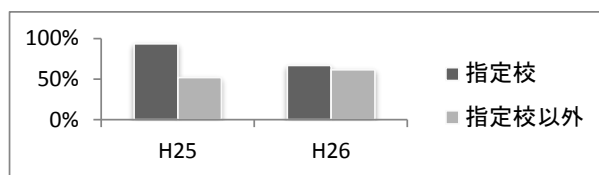
まずは、学校支援地域本部などを導入して、学校への協力体制を築き、段階的にコミュニティ・スクール等、学校・家庭・地域が一体となって組織的に課題を解決する仕組みへと発展させていくなどの推進を図っていくことが大切です。

【学校質問番号・小学校(73)中学校(71)】調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか。(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

《小学校》

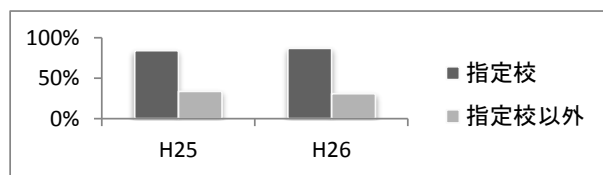


《中学校》

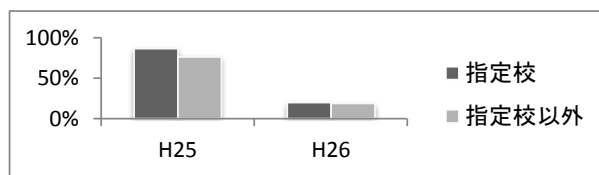


【学校質問番号・小学校(74)中学校(72)】調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか。(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

《小学校》

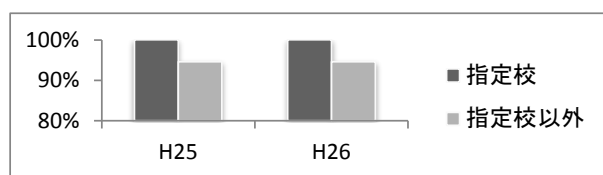


《中学校》

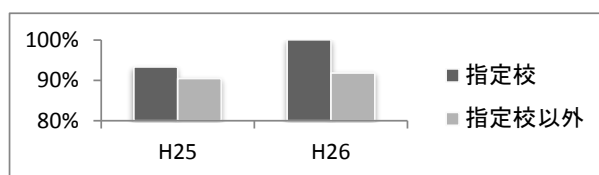


【学校質問番号・小学校(77)中学校(75)】PTAや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか。(「よく参加してくれる」「参加してくれる」と回答した割合)

《小学校》

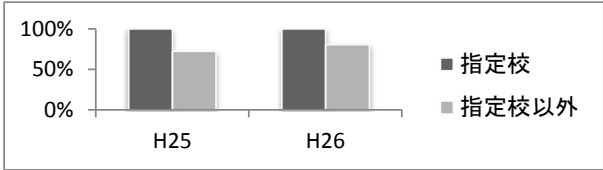


《中学校》

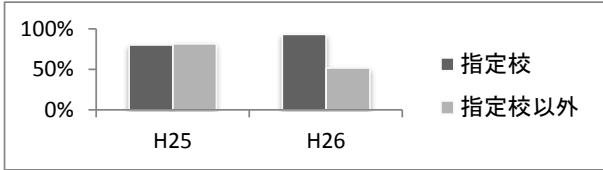


【学校質問番号・小学校(78)中学校(76)】学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか。(「よく参加してくれる」「参加してくれる」と回答した割合)

《小学校》

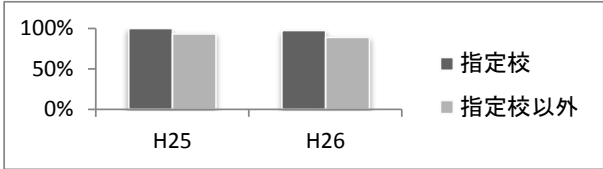


《中学校》

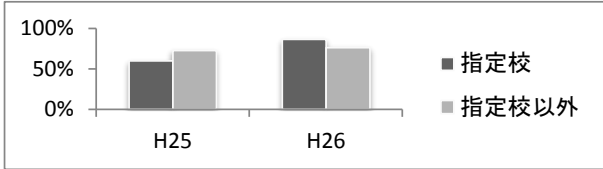


【学校質問番号・小学校(79)中学校(77)】保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか。(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

《小学校》



《中学校》



③ 平成25年度地域による学力向上支援事業について

取組概要

大学生や教員OB等地域住民がその知識・技能を活用し、教科指導の補助を行う等、学校支援地域本部の仕組みを導入した地域による学力向上の支援体制を構築します。
本事業は平成25年度に事業を受託し、学校支援地域本部を設置している学校の調査結果を分析したものととなっています。

ア 平均正答率について

平成25年に学校支援地域本部を設置している学校（小学校134校、中学校41校）の結果を分析しました。

《小学校》

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
設置校	60.2	69.6	46.7	52.8	75.5	75.8	55.4	56.0
全国との差	-2.5	-3.3	-2.7	-2.7	-1.7	-2.3	-3.0	-2.2
設置校以外	60.3	69.3	46.6	52.1	76.0	76.1	55.2	55.7
全国との差	-2.4	-3.6	-2.8	-3.4	-1.2	-2.0	-3.2	-2.5
三重県	60.3	69.6	46.7	52.5	75.8	76.2	55.3	56.0
全 国	62.7	72.9	49.4	55.5	77.2	78.1	58.4	58.2

《中学校》

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
設置校	74.3	77.3	65.3	48.4	62.4	66.7	38.4	57.9
全国との差	-2.1	-2.1	-2.1	-2.6	-1.3	-0.7	-3.1	-1.9
設置校以外	75.3	78.2	65.9	49.2	63.5	67.2	39.7	58.3
全国との差	-1.1	-1.2	-1.5	-1.8	-0.2	-0.2	-1.8	-1.5
三重県	75.0	78.0	65.8	49.0	63.2	67.1	39.3	58.3
全 国	76.4	79.4	67.4	51.0	63.7	67.4	41.5	59.8

・学校支援地域本部を設置している小学校の平均正答率は、算数Aを除いて、設置校以外の学校を上回っています。

- ・学校支援地域本部を設置している中学校の平均正答率は、設置校以外の学校を全ての教科で下回っていますが、設置校以外の学校との差は、国語Bを除いて昨年より縮まっています。

イ 質問紙から見られる取組の分析と改善ポイント

(分析)

- ・学校支援地域本部の仕組みを導入している小中学校では、算数B、数学A・Bで、全国の平均正答率との差が縮まっています。算数、数学は、授業サポートとして支援に入りやすい教科であるため、学習支援の取組が充実していると考えられます。地域人材を活用し、学校支援の取組を組織的・継続的に行うことは、学力向上に効果があります。
- ・本事業では、放課後の補足的な学習や読み聞かせ、学習補助の他、学習環境づくりへの支援を行っています。

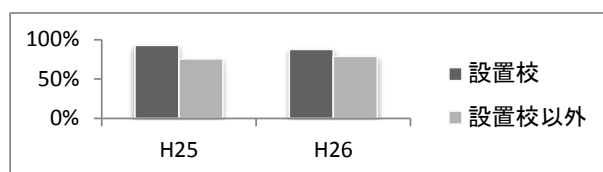
(改善ポイント)

現状において必ずしも効果が見えにくい他の教科等についても、PTAや地域の人々が学校の諸活動にボランティアとして参加したり、保護者や地域の人々が学校の教育活動等に参加する取組を継続的に進めることが必要です。

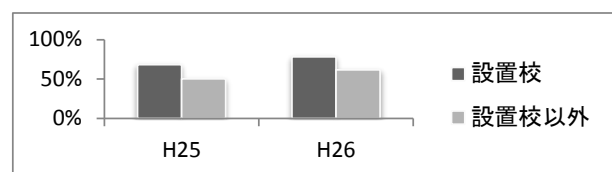
学校支援地域本部の仕組みを導入している学校では学習環境の向上に向けて、保護者や地域の人材を活用した取組を一層推進することが大切です。また、コミュニティ・スクールへの移行も期待されます。

【学校質問番号・小学校(73)中学校(71)】調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか。(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

《小学校》

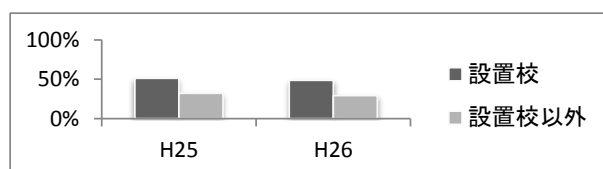


《中学校》

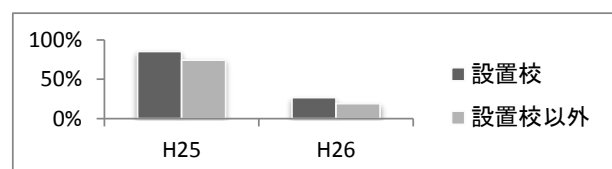


【学校質問番号・小学校(74)中学校(72)】調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか。(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

《小学校》

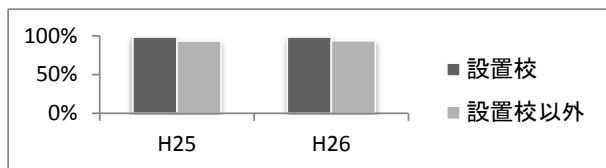


《中学校》

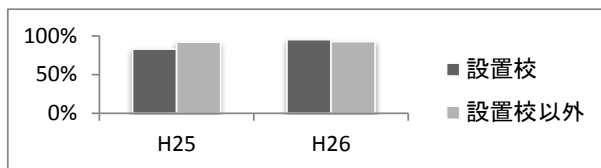


【学校質問番号・小学校(77) 中学校(75)】PTAや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか。（「よく参加してくれる」「参加してくれる」と回答した割合）

《小学校》

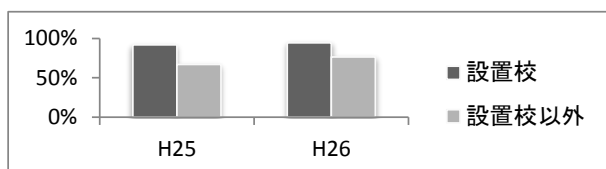


《中学校》

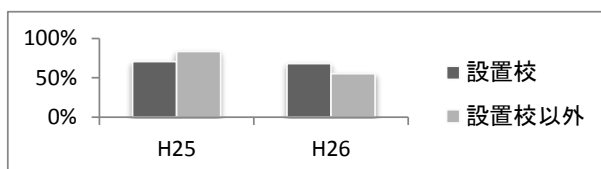


【学校質問番号・小学校(78) 中学校(76)】学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか。（「よく参加してくれる」「参加してくれる」と回答した割合）

《小学校》

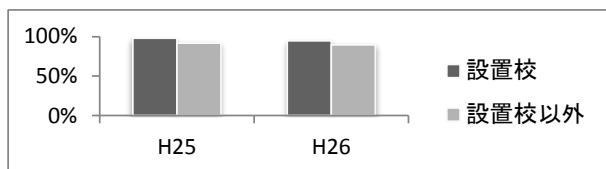


《中学校》

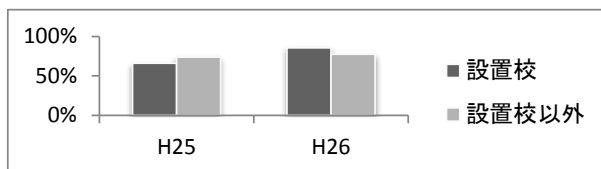


【学校質問番号・小学校(79) 中学校(77)】保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか。（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

《小学校》



《中学校》



④ 平成25年度学びを保障するネットワークづくり事業について

取組概要

平成24年度から毎年10中学校区程度を指定し、教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊感情や学習意欲が高まるよう、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの学びを支援する「子ども支援ネットワーク」の構築に取り組んでいます。

ア 質問紙から見られる取組の分析と改善ポイント

平成25年度の11指定中学校区（小学校28校、中学校11校）の結果を分析しました。

（分析）

- ・子どもたちの自尊感情や学習意欲に向上の傾向が見られます。また、計画的に学習する習慣の改善にも効果がありました。

(改善ポイント)

本事業では、指定中学校区において、学校・家庭・地域が連携する仕組みを構築し、子どもたちの学習支援活動の創出・充実に取り組んでいます。引き続き、以下のような取組を通して、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりを進めていきます。

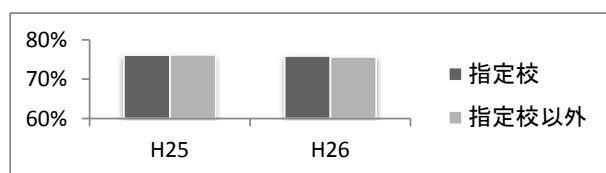
〈効果的な取組〉

- ・地域住民による公民館などを活用した学習会を実施します。
- ・地域住民による学校内での学習ボランティアを活用した取組を推進します。
- ・地域住民と子どもが一緒に取り組む地域行事を開催します。
- ・子どもが将来の夢や目標を持つことを目指した、地域にある高校の授業を体験する取組を実施します。

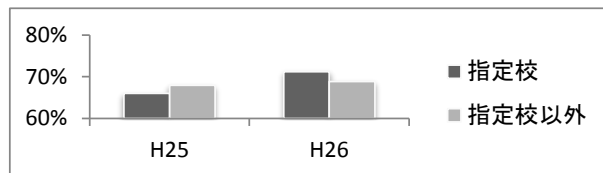
(ア) 自尊感情について

【児童生徒質問番号(6)】自分には、よいところがあると思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

《小学校》

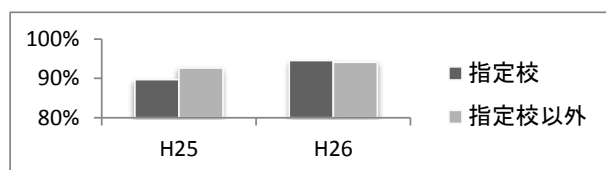


《中学校》

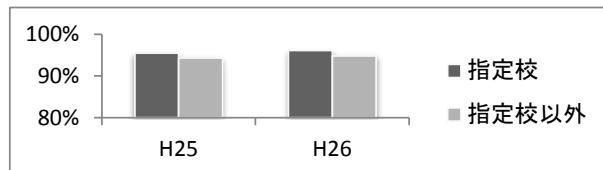


【児童生徒質問番号(36)】人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

《小学校》



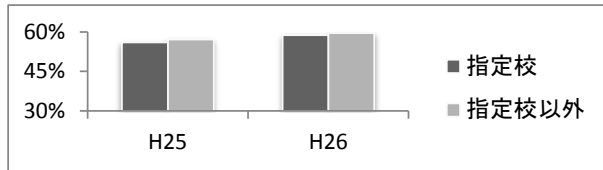
《中学校》



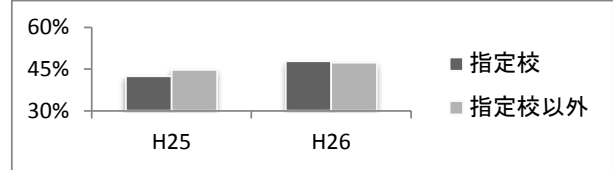
(イ) 学習意欲

【児童生徒質問番号(21)】家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

《小学校》

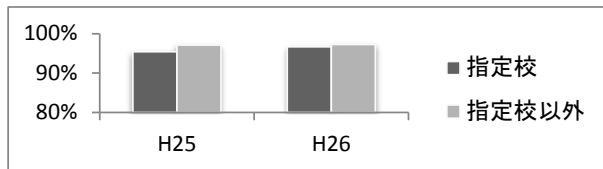


《中学校》

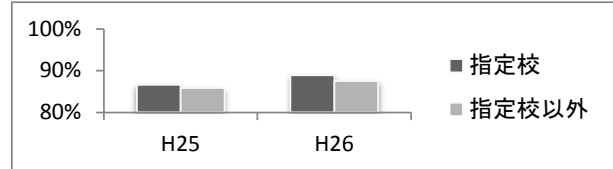


【児童生徒質問番号(22)】家で、学校の宿題をしていますか。(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

《小学校》



《中学校》



⑤ 平成25年度いじめを許さない「絆」プロジェクト事業

取組概要

県内29市町の課題克服のモデルになりうる29中学校区の小中学校を指定校として、子どもたちが自らつながり合い、問題を解決していく力を育成し、いじめや暴力のない安全・安心な学校づくりに取り組んできました。

ア 質問紙から見られる取組の分析と改善ポイント

平成25年度の29中学校区(小学校78校、中学校29校)の結果を分析しました。

(分析)

- ・中学校におけるマナーに関する項目「友達との約束を守っている」では、昨年度より低くなっていますが、その他の項目において、小中学校ともに昨年度より高い状況が見られ、指定校における児童生徒の規範意識等が向上しています。特に、「いじめはいけない」という意識の醸成に効果がありました。

(改善ポイント)

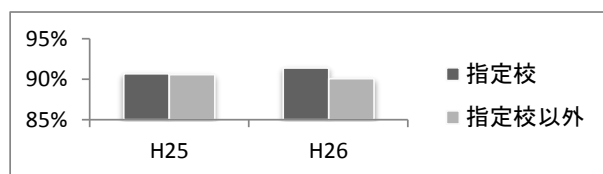
本事業では、指定校における①学習や生活ルールの定着、②リレーション（親和的な関係づくり）の構築による、安心できる学習環境の向上を目指しています。児童生徒の意識は改善の方向にあるものの、引き続き、落ち着いて授業ができる学校環境をつくっていく必要があります。

〈効果的な取組〉

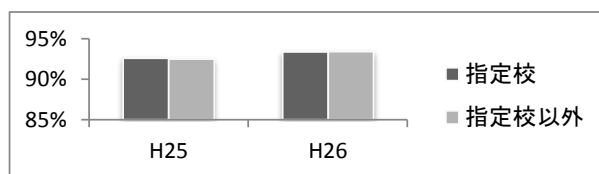
- ・学級満足度調査等により分析を行うことで、個別に応じた対応を行います。
- ・小学校における全学年によるルールづくりの取組と、定期的な振り返りを行います。（ルールに学級間の差をなくします。授業の中で定着を図ります。児童自身に考えさせます。）
- ・教科の授業の中でグループ活動を取り入れ、児童生徒相互の交流を促すなど授業の工夫改善を行います。
- ・授業の中にエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポート等の要素を計画的に取り入れます。
- ・学級のめあてを設け、それに向けた取組を学級で進めます。
- ・自己肯定感や承認感を高めるために、さまざまな活動（授業・行事等）で相互評価する場面を設定します。
- ・振り返り日記や作文を書かせる機会を多く取り、学級通信で紹介したり、道徳の題材として取り上げたりして、子ども同士の思いの共有化を図ります。
- ・クラス会議の定例化、班活動の活性化により、一人ひとりの悩みや今思っていることなどについて、みんなで相談して、その解決策や意見を言い合う機会を多く持ちます。

【児童生徒質問番号(34)】学校のきまりを守っていますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

《小学校》

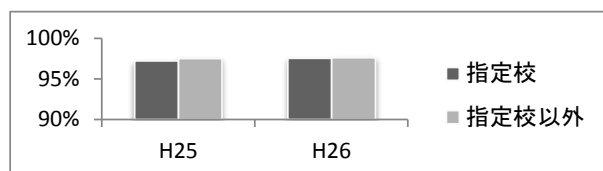


《中学校》

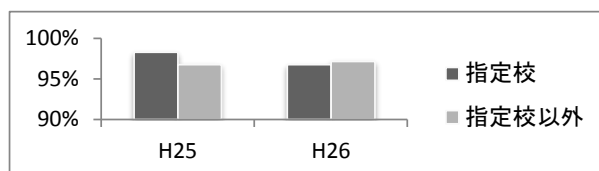


【児童生徒質問番号(35)】友達との約束を守っていますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

《小学校》

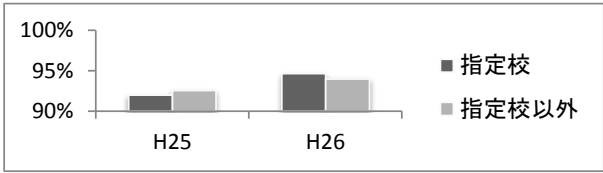


《中学校》

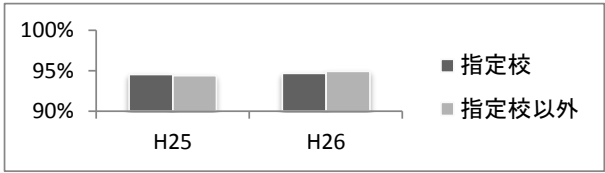


【児童生徒質問番号(36)】人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

《小学校》

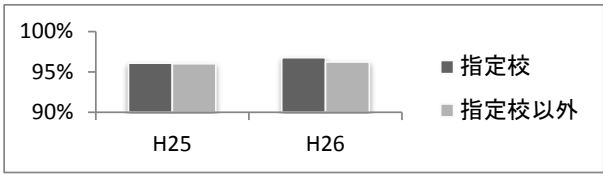


《中学校》

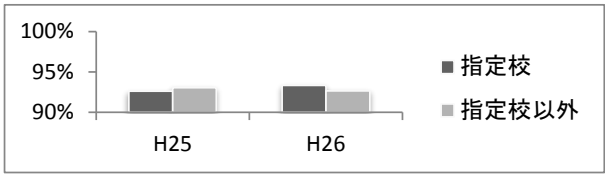


【児童生徒質問番号(37)】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

《小学校》



《中学校》



⑥ 平成25年度学力向上のための読書活動推進事業について

取組概要

子どもの学力向上を目的に、図書館司書が配置されておらず読書環境の整備に課題のある学校（6市町10校）をモデル校に指定し、民間事業者への委託により図書館司書を配置し、司書教諭をはじめとした教員に対して学校図書館を活用した授業支援等の読書活動を推進します。

ア 平均正答率について

平成25年度のモデル校(小学校6校、中学校4校)の結果を分析しました。

《小学校》

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
モデル校	60.2	67.1	45.5	47.3	74.5	73.3	51.8	52.8
全国との差	-2.5	-5.8	-3.9	-8.2	-2.7	-4.8	-6.6	-5.4
モデル校 外	60.3	69.5	46.6	52.5	75.8	76.2	55.3	56.0
全国との差	-2.4	-3.4	-2.8	-3.0	-1.4	-1.9	-3.1	-2.2
三重県	60.3	69.6	46.7	52.5	75.8	76.2	55.3	56.0
全 国	62.7	72.9	49.4	55.5	77.2	78.1	58.4	58.2

《中学校》

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26
モデル校	72.3	75.4	61.0	45.6	58.5	64.3	33.7	55.2
全国との差	-4.1	-4.0	-6.4	-5.4	-5.2	-3.1	-7.8	-4.6
モデル校 外	75.0	78.0	65.8	49.0	63.2	67.0	39.4	58.2
全国との差	-1.4	-1.4	-1.6	-2.0	-0.5	-0.4	-2.1	-1.6
三重県	75.0	78.0	65.8	49.0	63.2	67.1	39.3	58.3
全 国	76.4	79.4	67.4	51.0	63.7	67.4	41.5	59.8

・モデル校の平均正答率は、全ての教科において三重県平均及び全国平均を未だに下回っているものの、1年間の学校図書館への司書配置により国語Aにおいて改

善の傾向があります。(モデル校で最も平均正答率が改善した小学校では、平成25年度46.2%から平成26年度66.7%に上昇しました。)

- ・全国的に、学校司書が配置されている学校は未配置の学校と比較して各教科の平均正答率が高い傾向にあることから、引き続き読書環境に課題のある学校において、本事業を効果的に活用し学力向上に努める必要があります。

イ 質問紙から見られる取組の分析と改善のポイント

(分析)

- ・小学校のモデル校では、学校図書館を活用した授業の回数に大きな変化はなかったものの、図書館の機能を効果的に活用した授業を実施しました。
- ・中学校のモデル校では、計画的に学校図書館を活用した授業が実施されるようになりました。
- ・モデル校における読書活動推進事業は、特に国語Aの平均正答率の向上に効果的であると考えられます。

(改善のポイント)

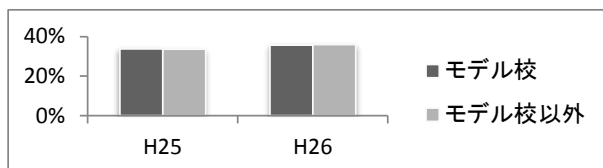
- ・学校図書館への司書配置により、校内の読書活動が進展する傾向にあります。特に、学校図書館法の改正により学校司書の配置に努めなければならないと規定されたことも踏まえ、引き続き学校司書の配置を働きかける必要があります。
- ・司書教諭をはじめとした教員と学校司書が連携した授業づくりのノウハウの普及に努める必要があります。

〈効果的な取組〉

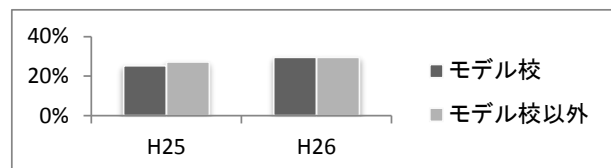
- ・授業の進捗状況に合わせたテーマコーナーやブックトークの実施により、授業内容への興味・関心を高めます。
- ・学校図書館の機能を活用したオリエンテーリング(クイズ形式の調べもの)の実施により、情報活用能力を高めます。

【児童生徒質問番号(17)】学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) (「1時間以上」と回答した割合)

《小学校》

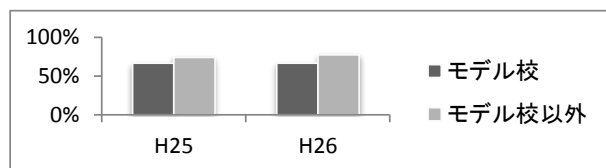


《中学校》

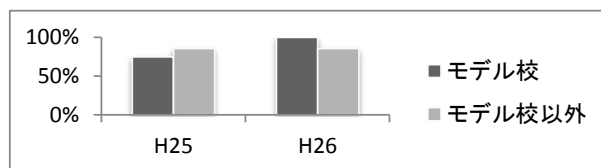


【学校質問番号(23)】調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。(「基本的に毎日行った」「週に複数回、定期的に行った」と回答した割合)

《小学校》

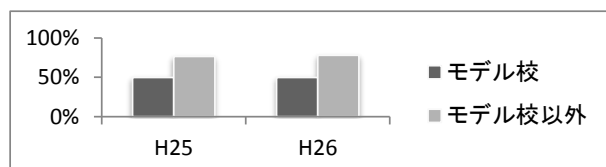


《中学校》

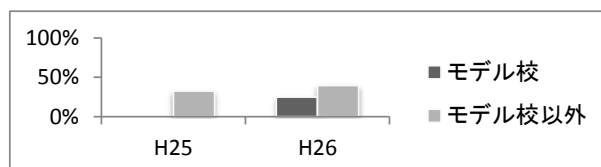


【学校質問番号(24)】 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。（「週に１回程度、または、それ以上行った」「月に数回程度行った」「学期に数回程度行った」と回答した割合）

《小学校》



《中学校》



※ H25 は、質問紙調査が３分冊になっており、モデル校の質問紙には該当項目がなかったため、グラフはありません。

4 児童生徒の学びの充実を図るための県教育委員会による今後の取組

(1) 重点取組について

①意識改革

児童生徒質問紙・学校質問紙では、昨年度から取り組んでいる「授業における目標（めあて・ねらい）の提示」「授業における学習内容を振り返る活動」が全国平均を下回っている状況で、さらに小学校では昨年度より低下傾向にあります。教員等の学力向上に対する危機意識が低い傾向にあります。

ア 小中学校の訪問

平成26年度全国学力・学習状況調査結果から、小学校に課題が大きいことを踏まえ、まずは年度内に250校を訪問します。小学校から県教育委員会の指導主事等が直接学校を訪問し、市町等教育委員会とともに、危機意識の共有と県が示す重点取組等の徹底を図ります。

イ モデル様式の提示や市町の分析等への支援

県教育委員会が、市町等教育委員会の全国学力・学習状況調査結果分析を支援することで、県内全市町による結果公表の実施につなげます。

②指導力の向上

校内研修の実施率が高いにもかかわらず、学習指導要領の趣旨等の浸透が浅く、全国学力・学習状況調査結果に表れていないなど、これまでの授業改善の取組等が不十分又は成果に結びついていない状況があります。

「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、全国と比較すると、小学校で約5ポイント、中学校で約3ポイント下回っている状況にあります。

ア 学力向上に特化した校内研修の実施

全ての小中学校が、全国学力・学習状況調査を活用して、学力向上に特化した校内研修の実施につなげられるよう、学校支援を行います。

イ 全国学力・学習状況調査等の活用

全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、ワークシートの活用について、指導主事・研修主事の学校訪問をはじめ、あらゆる機会を通じて、学力向上に向けた取組の周知、啓発を行います。

ウ 国の調査官を招いての研修会等の開催

各小学校で国語科における「実生活で生きてはたらき、各教科の学習の基本となる国語の能力」の育成の充実を図るため、国の調査官を招き、言語活動を位置付けた国語科の授業づくりについての研修会を開催します。

エ 学力向上通信（仮称）による情報発信

子どもたちの学力向上に向けて、最新の教育情報や先進的な事例を共有することで、教員の授業改善をはじめとした教育実践の充実につなげます。

オ 第三次三重県子ども読書活動推進計画（案）の説明・周知

第二次計画における成果と課題の検証、国の第三次計画における基本的方針を踏まえながら、三重県独自の取組方向を設定し、平成26年度中の策定を目指して、「第三次三重県子ども読書活動推進計画（案）」に対する検討を深めていきます。

③体制づくり

調査結果から、支援が必要な市町に対し、地域差に対応した細やかな支援を進める必要があります。また、学校・家庭・地域が一体となった学習環境づくりが不十分と考えられます。

ア 指導主事の常駐（尾鷲庁舎）

東紀州地域の尾鷲庁舎に県の指導主事 3 名を常駐させ、現行体制の規模や地理的な状況を踏まえ、地域支援の体制を整備し、各市町や学校への効果的な指導・支援を行います。

イ 県PTA連合会と連携した「チェックシート」集中取組期間の設定

子どもの生活習慣、読書習慣を確立するために、7 月や 11 月などに集中取組期間を設け、小中学生を対象に基本的な生活習慣や読書習慣について点検できるチェックシートを配付し、子どもが各家庭で保護者とともに取り組みます。

ウ 「学びを保障するネットワークづくり事業」モデル中学校区支援

各中学校区の子ども支援ネットワーク委員会や同事務局会などに参加し、教育的に不利な環境のもとにある児童生徒の自尊感情や学習意欲の向上をめざした学校・家庭・地域の連携した取組について、教員や保護者、地域住民などと協議し、共有します。

(2) 教育環境の改善を目指して

学校関係者の皆様へ

県教育委員会では、「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」が実感できる授業改善を進めています。そのため、次の 2 点を推進していきます。

①「目標（めあて・ねらい）」の提示と「振り返る活動」の設定

授業のはじめに「目標（めあて・ねらい）」の提示と、最後に「振り返る活動」を計画的に設定した授業改善に取り組みます。

②言語活動の充実

各学校で言語活動の充実により、実生活を送るうえで不可欠であり、各教科の学習の基本ともなる国語の能力の育成を図ります。

また、各学校においては、調査問題とともに、調査結果を分析し、それぞれの児童生徒の実態を把握していただき、日々の授業や個別のきめ細かな指導に役立てていただきますようお願いします。

さらに、学校質問紙調査の結果を公表している学校は少ない状況であるとともに、校長による授業の見回りも全国を下回っています。

家庭、地域と連携し、学力向上に向け、校長が一層のリーダーシップを発揮し、学校全体で取組を進める必要があります。

保護者の皆様へ

学校教育とともに家庭教育の大切さは言うまでもありません。

子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、バランスのとれた食事、十分な休養・睡眠など、規則正しい生活習慣を身に付けることが必要です。

さらに、子どもたちの学力を育むためには、主体的に学習する習慣や読書の習慣を身に付けられるようにご家庭で支えていただくとともに、大きな課題であるテレビ等の視聴やスマートフォン等の使用について改善していくことが大切です。ご家庭でのご理解・ご協力をお願いします。

地域住民の皆様へ

県では、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの学力を一層育むため、県民総参加による「みえの学力向上県民運動」を展開しています。

地域住民の皆様には、子どもたちが自己肯定感・自尊感情を持ち、安心して学び、生活できる環境づくりや、地域における子どもたちの居場所づくりなどへのご協力をお願いします。

5 各市町等別の質問紙調査（児童生徒用・学校用）の結果等

（１）「みえの学力向上県民運動」における成果指標及び取組指標に関連する項目について

※平成２６年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査（児童生徒用・学校用）の中から、「みえの学力向上県民運動」における成果指標及び取組指標に関連する項目を掲載しています。

※市町等における各欄の（ ）内の数値は全国の割合との差を、＜ ＞内の数値は三重県の割合との差を示します。

【児童生徒質問紙】

項目①：成果指標 「将来の夢や目標を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合」

質問番号(5) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

質問番号(10) 将来の夢や目標を持っていますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

上記２項目の三重県における割合の平均としている。

項目②：自分には、よいところがあると思いますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合） [質問番号(6)]

項目③：成果指標 「基本的な生活習慣を身に付けた子どもたちの割合」

質問番号(1) 朝食を毎日食べていますか。（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

質問番号(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

質問番号(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

上記３項目の三重県における割合の平均としている。

項目④：家で、自分で計画を立てて勉強していますか。（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合） [質問番号(21)]

項目⑤：家で、学校の宿題をしていますか。（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合） [質問番号(22)]

項目⑥：家で、学校の授業の予習をしていますか。（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合） [質問番号(23)]

項目⑦：家で、学校の授業の復習をしていますか。（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合） [質問番号(24)]

■成果指標 「学習習慣を身に付けた子どもたちの割合」については、上記項目④から⑦の三重県における割合の平均としている。

項目⑧：本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）（「だいたい週に４回以上行く」「週に１～３回程度行く」「月に１～３回程度行く」と回答した割合） [質問番号(18)]

■取組指標 取組の視点③「読書を通した学び」における「学校図書館や地域の図書館を月１回以上利用する子どもたちの割合」として、上記項目⑧の三重県における割合を示す。

項目⑨：家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。（「よく来る」「時々来る」と回答した割合） [質問番号(20)]

項目⑩：今住んでいる地域の行事に参加していますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合） [質問番号(29)]

【学校質問紙】

項目⑪：平成２５年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。（「よく行った」「行った」と回答した割合） [質問番号(48)]

■取組指標 取組の視点①「主体的に学び行動する意欲」における「全国学力・学習状況調査の問題冊子等を、学校全体で教育活動を改善するために活用した割合」として、上記項目⑪の三重県における割合を示す。

項目⑫：小学校第６学年の児童・中学校第３学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。（「週に１回程度、またはそれ以上行った」「月に１回程度行った」「学期に数回程度行った」と回答した割合） [質問番号(24)]

■取組指標 取組の視点③「読書を通した学び」における「学校図書館を活用した授業を計画的に行っている学校の割合」として、上記項目⑫の三重県における割合を示す。

<小学校>

	児童質問紙										学校質問紙	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
全 国	80.9	76.1	88.7	61.0	96.5	43.2	54.0	42.9	96.5	68.0	93.6	80.5
三重県	80.6 (-0.3) <-0.3>	75.7 (-0.4) <-0.4>	88.3 (-0.4) <-0.4>	59.4 (-1.6) <-1.6>	97.3 (+0.8) <+0.8>	42.0 (-1.2) <-1.2>	48.7 (-5.3) <-5.3>	42.1 (-0.8) <-0.8>	97.4 (+0.9) <+0.9>	73.2 (+5.2) <+5.2>	92.9 (-0.7) <-0.7>	77.2 (-3.3) <-3.3>
桑名市	79.9 (-1.1) <-0.8>	79.2 (+3.1) <+3.5>	88.7 (+0.0) <+0.4>	54.9 (-6.1) <-4.5>	97.2 (+0.7) <-0.1>	38.9 (-4.3) <-3.1>	42.7 (-11.3) <-6.0>	37.2 (-5.7) <-4.9>	97.9 (+1.4) <+0.5>	67.8 (-0.2) <-5.4>	92.9 (-0.7) <+0.0>	53.6 (-26.9) <-23.6>
木曽岬町	81.1 (+0.2) <+0.5>	68.9 (-7.2) <-6.8>	91.8 (+3.1) <+3.5>	46.6 (-14.4) <-12.8>	100.0 (+3.5) <+2.7>	26.7 (-16.5) <-15.3>	42.2 (-11.8) <-6.5>	35.6 (-7.3) <-6.5>	100.0 (+3.5) <+2.6>	64.5 (-3.5) <-8.7>	100.0 (+6.4) <+7.1>	100.0 (+19.5) <+22.8>
いなべ市	82.9 (+2.0) <+2.3>	75.7 (-0.4) <+0.0>	88.6 (-0.1) <+0.3>	61.1 (+0.1) <+1.7>	98.5 (+2.0) <+1.2>	44.8 (+1.6) <+2.8>	53.7 (-0.3) <+5.0>	37.8 (-5.1) <-4.3>	99.0 (+2.5) <+1.6>	87.9 (+19.9) <+14.7>	93.3 (-0.3) <+0.4>	86.7 (+6.2) <+9.5>
東員町	81.6 (+0.7) <+1.0>	72.9 (-3.2) <-2.8>	89.5 (+0.8) <+1.2>	70.9 (+9.9) <+11.5>	98.0 (+1.5) <+0.7>	40.9 (-2.3) <-1.1>	40.2 (-13.8) <-8.5>	55.7 (+12.8) <+13.6>	98.3 (+1.8) <+0.9>	83.2 (+15.2) <+10.0>	100.0 (+6.4) <+7.1>	83.4 (+2.9) <+6.2>
四日市市	80.6 (-0.3) <-0.0>	75.2 (-0.9) <-0.5>	89.3 (+0.6) <+1.0>	60.9 (-0.1) <+1.5>	97.5 (+1.0) <+0.2>	44.1 (+0.9) <+2.1>	53.3 (-0.7) <+4.6>	45.8 (+2.9) <+3.7>	97.2 (+0.7) <-0.2>	73.9 (+5.9) <+0.7>	100.0 (+6.4) <+7.1>	94.7 (+14.2) <+17.5>
菰野町	81.1 (+0.2) <+0.5>	78.4 (+2.3) <+2.7>	89.3 (+0.6) <+1.0>	61.9 (+0.9) <+2.5>	98.3 (+1.8) <+1.0>	38.3 (-4.9) <-3.7>	47.2 (-6.8) <-1.5>	45.8 (+2.9) <+3.7>	99.0 (+2.5) <+1.6>	79.5 (+11.5) <+6.3>	100.0 (+6.4) <+7.1>	40.0 (-40.5) <-37.2>
朝日町	77.0 (-4.0) <-3.7>	72.1 (-4.0) <-3.6>	86.5 (-2.2) <-1.8>	50.0 (-11.0) <-9.4>	94.9 (-1.6) <-2.4>	50.0 (+6.8) <+8.0>	55.1 (+1.1) <+6.4>	31.1 (-11.8) <-11.0>	95.6 (-0.9) <-1.8>	70.8 (+2.8) <-2.4>	100.0 (+6.4) <+7.1>	100.0 (+19.5) <+22.8>
川越町	78.5 (-2.5) <-2.1>	70.2 (-5.9) <-5.5>	88.5 (-0.2) <+0.2>	52.3 (-8.7) <-7.1>	98.7 (+2.2) <+1.4>	35.8 (-7.4) <-6.2>	44.4 (-9.6) <-4.3>	35.2 (-7.7) <-6.9>	98.1 (+1.6) <+0.7>	73.6 (+5.6) <+0.4>	100.0 (+6.4) <+7.1>	50.0 (-30.5) <-27.2>
鈴鹿市	82.2 (+1.3) <+1.6>	77.5 (+1.4) <+1.8>	90.6 (+1.9) <+2.3>	61.2 (+0.2) <+1.8>	97.1 (+0.6) <-0.2>	45.9 (+2.7) <+3.9>	52.8 (-1.2) <+4.1>	38.0 (-4.9) <-4.1>	97.5 (+1.0) <+0.1>	75.1 (+7.1) <+1.9>	96.7 (+3.1) <+3.8>	80.0 (-0.5) <+2.8>
亀山市	79.0 (-2.0) <-1.6>	71.7 (-4.4) <-4.0>	84.9 (-3.8) <-3.4>	56.7 (-4.3) <-2.7>	96.5 (+0.0) <-0.8>	37.0 (-6.2) <-5.0>	35.4 (-18.6) <-13.3>	49.7 (+6.8) <+7.6>	96.1 (-0.4) <-1.3>	80.3 (+12.3) <+7.1>	100.0 (+6.4) <+7.1>	100.0 (+19.5) <+22.8>
津市	81.7 (+0.8) <+1.1>	74.9 (-1.2) <-0.8>	87.8 (-0.9) <-0.5>	60.6 (-0.4) <+1.2>	97.4 (+0.9) <+0.1>	42.6 (-0.6) <+0.6>	47.8 (-6.2) <-0.9>	47.6 (+4.7) <+5.5>	96.5 (+0.0) <-0.9>	68.2 (+0.2) <-5.0>	96.3 (+2.7) <+3.4>	73.5 (-7.0) <-3.7>
松阪市	79.1 (-1.8) <-1.5>	74.2 (-1.9) <-1.5>	84.7 (-4.0) <-3.6>	58.3 (-2.7) <-1.1>	96.7 (+0.2) <-0.6>	39.2 (-4.0) <-2.8>	45.3 (-8.7) <-3.4>	34.3 (-8.6) <-7.8>	97.6 (+1.1) <+0.2>	72.3 (+4.3) <-0.9>	94.4 (+0.8) <+1.5>	86.1 (+5.6) <+8.9>
多気町	83.8 (+2.8) <+3.2>	81.0 (+4.9) <+5.3>	89.7 (+1.0) <+1.4>	64.3 (+3.3) <+4.9>	99.2 (+2.7) <+1.9>	42.9 (-0.3) <+0.9>	56.4 (+2.4) <+7.7>	62.7 (+19.8) <+20.6>	99.2 (+2.7) <+1.8>	84.1 (+16.1) <+10.9>	80.0 (-13.6) <-12.9>	100.0 (+19.5) <+22.8>
明和町	82.0 (+1.1) <+1.4>	72.5 (-3.6) <-3.2>	88.2 (-0.5) <-0.1>	56.9 (-4.1) <-2.5>	97.2 (+0.7) <-0.1>	35.3 (-7.9) <-6.7>	42.4 (-11.6) <-6.3>	36.9 (-6.0) <-5.2>	98.1 (+1.6) <+0.7>	75.7 (+7.7) <+2.5>	83.4 (-10.2) <-9.5>	83.3 (+2.8) <+6.1>
大台町	76.2 (-4.8) <-4.4>	82.9 (+6.8) <+7.2>	93.2 (+4.5) <+4.9>	59.1 (-1.9) <-0.3>	100.0 (+3.5) <+2.7>	38.7 (-4.5) <-3.3>	46.6 (-7.4) <-2.1>	31.8 (-11.1) <-10.3>	96.6 (+0.1) <-0.8>	82.9 (+14.9) <+9.7>	50.0 (-43.6) <-42.9>	100.0 (+19.5) <+22.8>
伊勢市	81.0 (+0.1) <+0.4>	75.3 (-0.8) <-0.4>	89.0 (+0.3) <+0.7>	58.2 (-2.8) <-1.2>	97.5 (+1.0) <+0.2>	43.0 (-0.2) <+1.0>	48.8 (-5.2) <+0.1>	39.4 (-3.5) <-2.7>	97.9 (+1.4) <+0.5>	73.6 (+5.6) <+0.4>	95.9 (+2.3) <+3.0>	66.7 (-13.8) <-10.5>
玉城町	72.8 (-8.1) <-7.8>	77.2 (+1.1) <+1.5>	91.8 (+3.1) <+3.5>	57.5 (-3.5) <-1.9>	98.2 (+1.7) <+0.9>	38.4 (-4.8) <-3.6>	47.9 (-6.1) <-0.8>	43.2 (+0.3) <+1.1>	99.4 (+2.9) <+2.0>	75.4 (+7.4) <+2.2>	75.0 (-18.6) <-17.9>	50.0 (-30.5) <-27.2>
大紀町	73.8 (-7.2) <-6.8>	68.8 (-7.3) <-6.9>	85.8 (-2.9) <-2.5>	44.2 (-16.8) <-15.2>	95.1 (-1.4) <-2.2>	44.3 (+1.1) <+2.3>	52.4 (-1.6) <+3.7>	54.1 (+11.2) <+12.0>	98.3 (+1.8) <+0.9>	77.0 (+9.0) <+3.8>	100.0 (+6.4) <+7.1>	75.0 (-5.5) <-2.2>
南伊勢町	76.3 (-4.7) <-4.3>	73.1 (-3.0) <-2.6>	84.2 (-4.5) <-4.1>	66.7 (+5.7) <+7.3>	100.0 (+3.5) <+2.7>	46.2 (+3.0) <+4.2>	59.0 (+5.0) <+10.3>	42.3 (-0.6) <+0.2>	97.4 (+0.9) <+0.0>	88.4 (+20.4) <+15.2>	100.0 (+6.4) <+7.1>	100.0 (+19.5) <+22.8>
度会町	85.8 (+4.9) <+5.2>	81.5 (+5.4) <+5.8>	87.2 (-1.5) <-1.1>	53.1 (-7.9) <-6.3>	98.8 (+2.3) <+1.5>	43.2 (+0.0) <+1.2>	56.8 (+2.8) <+8.1>	61.7 (+18.8) <+19.6>	100.0 (+3.5) <+2.6>	69.1 (+1.1) <-4.1>	100.0 (+6.4) <+7.1>	0.0 (-80.5) <-77.2>
鳥羽市	80.1 (-0.9) <-0.5>	74.1 (-2.0) <-1.6>	87.9 (-0.8) <-0.4>	63.3 (+2.3) <+3.9>	96.2 (-0.3) <-1.1>	48.2 (+5.0) <+6.2>	58.3 (+4.3) <+9.6>	54.6 (+11.7) <+12.5>	98.4 (+1.9) <+1.0>	82.2 (+14.2) <+9.0>	100.0 (+6.4) <+7.1>	100.0 (+19.5) <+22.8>
志摩市	76.3 (-4.7) <-4.3>	68.4 (-7.7) <-7.3>	87.6 (-1.1) <-0.7>	58.7 (-2.3) <-0.7>	96.0 (-0.5) <-1.3>	36.1 (-7.1) <-5.9>	42.9 (-11.1) <-5.8>	38.2 (-4.7) <-3.9>	97.8 (+1.3) <+0.4>	69.8 (+1.8) <-3.4>	88.2 (-5.4) <-4.7>	76.5 (-4.0) <-0.7>
伊賀市	83.3 (+2.3) <+2.7>	81.4 (+5.3) <+5.7>	88.7 (+0.0) <+0.4>	63.2 (+2.2) <+3.8>	96.3 (-0.2) <-1.0>	43.6 (+0.4) <+1.6>	51.4 (-2.6) <+2.7>	41.1 (-1.8) <-1.0>	97.8 (+1.3) <+0.4>	81.3 (+13.3) <+8.1>	96.0 (+2.4) <+3.1>	84.0 (+3.5) <+6.8>
名張市	80.6 (-0.3) <+0.0>	78.6 (+2.5) <+2.9>	87.4 (-1.3) <-0.9>	58.3 (-2.7) <-1.1>	97.5 (+1.0) <+0.2>	42.2 (-1.0) <+0.2>	46.7 (-7.3) <-2.0>	38.2 (-4.7) <-3.9>	96.5 (+0.0) <-0.9>	66.2 (-1.8) <-7.0>	100.0 (+6.4) <+7.1>	85.7 (+5.2) <+8.5>
尾鷲市	83.3 (+2.4) <+2.7>	72.5 (-3.6) <-3.2>	86.7 (-2.0) <-1.6>	57.5 (-3.5) <-1.9>	95.0 (-1.5) <-2.3>	36.6 (-6.6) <-5.4>	53.4 (-0.6) <+4.7>	40.8 (-2.1) <-1.3>	97.5 (+1.0) <+0.1>	44.1 (-23.9) <-29.1>	85.7 (-7.9) <-7.2>	57.2 (-23.3) <-20.0>
紀北町	75.8 (-5.1) <-4.8>	79.2 (+3.1) <+3.5>	88.4 (-0.3) <+0.1>	61.1 (+0.1) <+1.7>	98.0 (+1.5) <+0.7>	38.3 (-4.9) <-3.7>	57.1 (+3.1) <+8.4>	42.4 (-0.5) <-0.3>	97.3 (+0.8) <-0.1>	72.5 (+4.5) <-0.7>	81.8 (-11.8) <-11.1>	63.7 (-16.8) <-13.5>
熊野市	81.2 (+0.3) <+0.6>	74.5 (-1.6) <-1.2>	86.6 (-2.1) <-1.7>	51.0 (-10.0) <-8.4>	94.6 (-1.9) <-2.7>	38.3 (-4.9) <-3.7>	42.3 (-11.7) <-6.4>	41.7 (-1.2) <-0.4>	97.4 (+0.9) <+0.0>	69.1 (+1.1) <-4.1>	66.7 (-26.9) <-26.2>	77.7 (-2.8) <+0.5>
御浜町	76.9 (-4.1) <-3.8>	63.4 (-12.7) <-12.3>	84.5 (-4.2) <-3.8>	56.1 (-4.9) <-3.3>	97.6 (+1.1) <+0.3>	44.0 (+0.8) <+2.0>	46.3 (-7.7) <-2.4>	52.4 (+9.5) <+10.3>	97.6 (+1.1) <+0.2>	69.5 (+1.5) <-3.7>	100.0 (+6.4) <+7.1>	25.0 (-55.5) <-52.2>
紀宝町	75.9 (-5.0) <-4.7>	62.0 (-14.1) <-13.7>	83.6 (-5.1) <-4.7>	42.6 (-18.4) <-16.8>	97.2 (+0.7) <-0.1>	32.4 (-10.8) <-9.6>	33.3 (-20.7) <-15.4>	50.0 (+7.1) <+7.9>	95.4 (-1.1) <-2.0>	71.3 (+3.3) <-1.9>	100.0 (+6.4) <+7.1>	60.0 (-20.5) <-17.2>

＜中学校＞

	生徒質問紙										学校質問紙	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
全 国	69.7	67.1	86.6	46.6	88.2	34.2	50.4	18.9	83.1	43.5	90.4	42.2
三重県	70.6 (+0.8) <-4.7>	69.1 (+2.0) <-4.7>	86.9 (+0.3) <-4.7>	47.3 (+0.7) <-7.6>	87.7 (-0.5) <-6.8>	34.6 (+0.4) <-14.0>	45.5 (-4.9) <-15.4>	18.4 (-0.5) <-2.5>	78.8 (-4.3) <-1.0>	50.4 (+6.9) <+17.9>	91.4 (+1.0) <+8.6>	39.5 (-2.7) <-60.5>
桑名市	69.7 (-0.0) <-0.9>	69.4 (+2.3) <+0.3>	86.0 (-0.5) <-0.8>	43.9 (-2.7) <-3.4>	84.0 (-4.2) <-3.7>	37.7 (+3.5) <+3.1>	44.2 (-6.2) <-1.3>	14.4 (-4.5) <-4.0>	71.5 (-11.6) <-7.3>	44.1 (+0.6) <-6.3>	70.0 (-20.4) <-21.4>	30.0 (-12.2) <-9.5>
木曽岬町	65.9 (-3.9) <-4.7>	71.4 (+4.3) <+2.3>	91.5 (+5.0) <+4.7>	39.7 (-6.9) <-7.6>	80.9 (-7.3) <-6.8>	20.6 (-13.6) <-14.0>	30.1 (-20.3) <-15.4>	15.9 (-3.0) <-2.5>	77.8 (-5.3) <-1.0>	68.3 (+24.8) <+17.9>	100.0 (+9.6) <+8.6>	100.0 (+57.8) <-39.5>
いなべ市	75.1 (+5.3) <+4.5>	73.1 (+6.0) <+4.0>	88.9 (+2.4) <+2.1>	56.3 (+9.7) <+9.0>	91.5 (+3.3) <+3.8>	29.5 (-4.7) <-5.1>	53.2 (+2.8) <+7.7>	15.2 (-3.7) <-3.2>	96.9 (+13.8) <+18.1>	54.9 (+11.4) <+4.5>	100.0 (+9.6) <+8.6>	50.0 (+7.8) <+10.5>
東員町	71.8 (+2.1) <+1.3>	73.0 (+5.9) <+3.9>	85.7 (-0.8) <-1.1>	53.7 (+7.1) <+6.4>	91.6 (+3.4) <+3.9>	30.7 (-3.5) <-3.9>	64.9 (+14.5) <+19.4>	21.3 (+2.4) <+2.9>	94.8 (+11.7) <+16.0>	66.5 (+23.0) <+16.1>	50.0 (-40.4) <-41.4>	0.0 (-42.2) <-39.5>
四日市市	70.9 (+1.1) <+0.3>	70.3 (+3.2) <+1.2>	86.8 (+0.2) <-0.1>	46.2 (-0.4) <-1.1>	89.8 (+1.6) <+2.1>	39.6 (+5.4) <+5.0>	50.3 (-0.1) <+4.8>	18.1 (-0.8) <-0.3>	81.4 (-1.7) <-5.4>	45.0 (+1.5) <+2.6>	100.0 (+9.6) <+8.6>	36.4 (-5.8) <-3.1>
菰野町	73.1 (+3.3) <+2.5>	68.4 (+1.3) <-0.7>	87.6 (+1.1) <+0.8>	47.8 (+1.2) <+0.8>	86.5 (-1.7) <-1.2>	50.7 (+16.5) <+16.1>	42.4 (-8.0) <-3.1>	18.4 (-0.5) <+0.0>	79.2 (-3.9) <+0.4>	53.2 (+9.7) <+2.8>	100.0 (+9.6) <+8.6>	0.0 (-42.2) <-39.5>
朝日町	71.9 (+2.1) <+1.3>	76.6 (+9.5) <+7.5>	87.9 (+1.4) <+1.1>	55.3 (+8.7) <+8.0>	94.7 (+6.5) <+7.0>	42.5 (+8.3) <+7.9>	51.1 (+0.7) <+5.6>	14.9 (-4.0) <-3.5>	87.3 (+4.2) <+8.5>	46.8 (+3.3) <-3.6>	100.0 (+9.6) <+8.6>	0.0 (-42.2) <-39.5>
川越町	77.9 (+8.2) <+7.4>	72.1 (+5.0) <+3.0>	90.4 (+3.8) <+3.5>	53.3 (+6.7) <+6.0>	94.3 (+6.1) <+6.6>	35.3 (+1.1) <+0.7>	65.6 (+15.2) <+20.1>	21.4 (+2.5) <+3.0>	73.8 (-9.3) <-5.0>	50.9 (+7.4) <+0.5>	100.0 (+9.6) <+8.6>	100.0 (+57.8) <+60.5>
鈴鹿市	72.6 (+2.9) <+2.0>	74.4 (+7.3) <+5.3>	88.7 (+2.1) <+1.8>	48.9 (+2.3) <+1.6>	87.7 (-0.5) <+0.0>	31.9 (-2.3) <-2.7>	44.9 (-5.5) <-0.6>	13.3 (-5.6) <-5.1>	74.8 (-8.3) <-4.0>	48.0 (+4.5) <-2.4>	100.0 (+9.6) <+8.6>	40.0 (-2.2) <+0.5>
亀山市	69.0 (-0.7) <-1.6>	64.4 (-2.7) <-4.7>	83.5 (-3.0) <-3.3>	43.7 (-2.9) <-3.6>	84.2 (-4.0) <-3.5>	31.6 (-2.6) <-3.0>	39.7 (-10.7) <-5.8>	10.7 (-8.2) <-7.7>	80.1 (-3.0) <+1.3>	69.5 (+26.0) <+19.1>	100.0 (+9.6) <+8.6>	66.7 (+24.5) <+27.2>
津市	69.2 (-0.5) <-1.4>	66.0 (-1.1) <-3.1>	86.1 (-0.5) <-0.8>	51.1 (+4.5) <+3.8>	90.6 (+2.4) <+2.9>	40.8 (+6.6) <+6.2>	44.8 (-5.6) <-0.7>	20.1 (+1.2) <+1.7>	74.9 (-8.2) <-3.9>	44.2 (+0.7) <-6.2>	90.9 (+0.5) <-0.5>	36.4 (-5.8) <-3.1>
松阪市	68.5 (-1.2) <-2.1>	67.1 (+0.0) <-2.0>	86.0 (-0.5) <-0.8>	46.9 (+0.3) <-0.4>	83.7 (-4.5) <-4.0>	26.3 (-7.9) <-8.3>	43.4 (-7.0) <-2.1>	21.7 (+2.8) <+3.3>	76.7 (-6.4) <-2.1>	52.0 (+8.5) <+1.6>	100.0 (+9.6) <+8.6>	66.7 (+24.5) <+27.2>
多気町	57.0 (-12.7) <-13.6>	65.2 (-1.9) <-3.9>	86.8 (+0.2) <-0.1>	25.6 (-21.0) <-21.7>	79.1 (-9.1) <-8.6>	13.9 (-20.3) <-20.7>	27.9 (-22.5) <-17.6>	44.2 (+25.3) <+25.8>	86.0 (+2.9) <+7.2>	74.4 (+30.9) <+24.0>	100.0 (+9.6) <+8.6>	100.0 (+57.8) <+60.5>
多気町松阪市学校組合	74.4 (+4.6) <+3.8>	77.8 (+10.7) <+8.7>	84.0 (-2.5) <-2.8>	51.3 (+4.7) <+4.0>	93.1 (+4.9) <+5.4>	18.8 (-15.4) <-15.8>	50.4 (+0.0) <+4.9>	41.8 (+22.9) <+23.4>	88.0 (+4.9) <+9.2>	64.1 (+20.6) <+13.7>	100.0 (+9.6) <+8.6>	100.0 (+57.8) <+60.5>
明和町	70.2 (+0.5) <-0.4>	56.2 (-10.9) <-12.9>	86.3 (-0.3) <-0.6>	46.9 (+0.3) <-0.4>	89.4 (+1.2) <+1.7>	35.3 (+1.1) <+0.7>	46.0 (-4.4) <+0.5>	34.9 (+16.0) <+16.5>	84.5 (+1.4) <+5.7>	58.0 (+14.5) <+7.6>	100.0 (+9.6) <+8.6>	0.0 (-42.2) <-39.5>
大台町	70.0 (+0.3) <-0.6>	81.5 (+14.4) <+12.4>	93.3 (+6.8) <+6.5>	56.9 (+10.3) <+9.6>	93.9 (+5.7) <+6.2>	30.8 (-3.4) <-3.8>	50.8 (+0.4) <+5.3>	33.9 (+15.0) <+15.5>	97.0 (+13.9) <+18.2>	67.7 (+24.2) <+17.3>	100.0 (+9.6) <+8.6>	33.3 (-8.9) <-6.2>
伊勢市	68.1 (-1.7) <-2.5>	66.4 (-0.7) <-2.7>	86.9 (+0.3) <+0.0>	41.0 (-5.6) <-6.3>	85.2 (-3.0) <-2.5>	28.5 (-5.7) <-6.1>	40.0 (-10.4) <-5.5>	19.8 (+0.9) <+1.4>	82.9 (-0.2) <+4.1>	52.7 (+9.2) <+2.3>	83.3 (-7.1) <-8.1>	16.6 (-25.6) <-22.9>
玉城町	73.3 (+3.6) <+2.8>	67.1 (+0.0) <-2.0>	90.0 (+3.4) <+3.1>	54.1 (+7.5) <+6.8>	80.2 (-8.0) <-7.5>	39.1 (+4.9) <+4.5>	43.8 (-6.6) <-1.7>	15.7 (-3.2) <-2.7>	83.5 (+0.4) <+4.7>	51.3 (+7.8) <+0.9>	0.0 (-90.4) <-91.4>	0.0 (-42.2) <-39.5>
大紀町	52.7 (-17.1) <-17.9>	66.1 (-1.0) <-3.0>	78.0 (-8.6) <-8.9>	46.8 (-16.2) <-16.9>	78.5 (-9.7) <-9.2>	23.2 (-11.0) <-11.4>	26.8 (-23.6) <-18.7>	19.6 (+0.7) <+1.2>	87.5 (+4.4) <+8.7>	64.3 (+20.8) <+13.9>	100.0 (+9.6) <+8.6>	100.0 (+57.8) <+60.5>
南伊勢町	75.6 (+5.8) <+5.0>	83.3 (+16.2) <+14.2>	87.0 (+0.4) <+0.1>	51.0 (+4.4) <+3.7>	93.2 (+5.0) <+5.5>	36.3 (+2.1) <+1.7>	49.0 (-1.4) <+3.5>	34.2 (+15.3) <+15.8>	94.1 (+11.0) <+15.3>	71.6 (+28.1) <+21.2>	100.0 (+9.6) <+8.6>	0.0 (-42.2) <-39.5>
度会町	70.3 (+0.6) <-0.2>	52.1 (-15.0) <-17.0>	86.8 (+0.2) <-0.1>	40.6 (-6.0) <-6.7>	75.0 (-13.2) <-12.7>	30.2 (-4.0) <-4.4>	34.3 (-16.1) <-11.2>	23.9 (+5.0) <+5.5>	82.3 (-0.8) <+3.5>	51.1 (+7.6) <+0.7>	0.0 (-90.4) <-91.4>	0.0 (-42.2) <-39.5>
鳥羽市	68.9 (-0.9) <-1.7>	67.7 (+0.6) <-1.4>	85.2 (-1.4) <-1.7>	46.7 (+0.1) <-0.6>	92.8 (+4.6) <+5.1>	30.6 (-3.6) <-4.0>	43.8 (-6.6) <-1.7>	22.8 (+3.9) <+4.4>	82.8 (-0.3) <+4.0>	64.4 (+20.9) <+14.0>	100.0 (+9.6) <+8.6>	100.0 (+57.8) <+60.5>
志摩市	68.5 (-1.3) <-2.1>	64.8 (-2.3) <-4.3>	87.1 (+0.5) <+0.2>	39.6 (-7.0) <-7.7>	89.0 (+0.8) <+1.3>	27.4 (-6.8) <-7.2>	40.8 (-9.6) <-4.7>	22.3 (+3.4) <+3.9>	87.6 (-4.5) <+8.8>	72.3 (+28.8) <+21.9>	85.7 (-4.7) <-5.7>	0.0 (-42.2) <-39.5>
伊賀市	72.7 (+3.0) <+2.1>	75.0 (+7.9) <+5.9>	86.3 (-0.3) <-0.6>	50.2 (+3.6) <+2.9>	88.4 (+0.2) <+0.7>	39.6 (+5.4) <+5.0>	49.6 (-0.8) <+4.1>	15.4 (-3.5) <-3.0>	72.1 (-11.0) <-6.7>	57.3 (+13.8) <+6.9>	100.0 (+9.6) <+8.6>	50.0 (+7.8) <+10.5>
名張市	73.3 (+3.6) <+2.7>	70.5 (+3.4) <+1.4>	88.8 (+2.3) <+2.0>	50.3 (+3.7) <+3.0>	92.1 (+3.9) <+4.4>	36.2 (+2.0) <+1.6>	48.9 (-1.5) <+3.4>	12.7 (-6.2) <-5.7>	69.9 (-13.2) <-8.9>	45.1 (+1.6) <-5.3>	100.0 (+9.6) <+8.6>	80.0 (+37.8) <+40.5>
尾鷲市	69.3 (-0.4) <-1.3>	60.1 (-7.0) <-9.0>	87.2 (+0.6) <+0.3>	52.9 (+6.3) <+5.6>	87.6 (-0.6) <-0.1>	35.9 (+1.7) <+1.3>	59.4 (+9.0) <+13.9>	17.6 (-1.3) <-0.8>	85.0 (+1.9) <+6.2>	45.8 (+2.3) <-4.6>	50.0 (-40.4) <-41.4>	0.0 (-42.2) <-39.5>
紀北町	68.2 (-1.6) <-2.4>	68.8 (+1.7) <-0.3>	85.0 (-1.5) <-1.8>	48.8 (+2.2) <-1.5>	80.0 (-8.2) <-7.7>	16.3 (-17.9) <-18.3>	31.9 (-18.5) <-13.6>	22.6 (+3.7) <+4.2>	90.7 (+7.6) <+11.9>	52.5 (+9.0) <+2.1>	100.0 (+9.6) <+8.6>	75.0 (+32.8) <+35.5>
熊野市	69.9 (+0.1) <-0.7>	65.3 (-1.8) <-3.8>	88.4 (+1.8) <+1.5>	47.5 (+0.9) <+0.2>	83.0 (-5.2) <-4.7>	21.3 (-12.9) <-13.3>	34.7 (-15.7) <-10.8>	21.3 (+2.4) <+2.9>	85.8 (+2.7) <+7.0>	50.3 (+6.8) <-0.1>	71.4 (-19.0) <-20.0>	0.0 (-42.2) <-39.5>
御浜町	60.5 (-9.3) <-10.1>	57.2 (-9.9) <-11.9>	86.2 (-0.4) <-0.7>	18.2 (-28.4) <-29.1>	76.6 (-11.6) <-11.1>	6.5 (-27.7) <-28.1>	22.1 (-28.3) <-23.4>	15.6 (-3.3) <-2.8>	85.8 (+2.7) <+7.0>	39.0 (-4.5) <-11.4>	100.0 (+9.6) <+8.6>	33.3 (-8.9) <-6.2>
紀宝町	74.1 (+4.4) <+3.6>	56.1 (-11.0) <-13.0>	82.8 (-3.8) <-4.1>	37.7 (-8.9) <-9.6>	72.8 (-15.4) <-14.9>	20.2 (-14.0) <-14.4>	20.1 (-30.3) <-25.4>	31.6 (-12.7) <+13.2>	76.3 (-6.8) <-2.5>	49.1 (+5.6) <-1.3>	100.0 (+9.6) <+8.6>	100.0 (+57.8) <+60.5>

(2) その他の特徴的な項目について

※各欄の()内の数値は全国の割合との差を、< >内の数値は三重県の割合との差を示します。

【児童生徒質問紙】

- 項目①：普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。（テレビゲームをする時間は除く）（「3時間以上」と回答した割合）
[質問番号(11)]
- 項目②：普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。（「3時間以上」と回答した割合） [質問番号(12)]
- 項目③：普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）（「3時間以上」と回答した割合） [質問番号(13)]
- 項目④：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾や家庭教師を含む）（「1時間以上」と回答した割合） [質問番号(14)]
- 項目⑤：土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（「3時間以上」と回答した割合） [質問番号(15)]
- 項目⑥：いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合） [質問番号(37)]
- 項目⑦：「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合） [質問番号(40)]
- 項目⑧：授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合） [質問番号(44)]
- 項目⑨：授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合） [質問番号(45)]
- 項目⑩：国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合） [質問番号(55)]

【学校質問紙】

- 項目⑪：小学校第6学年の児童・中学校第3学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。（「週に4回以上行った」「週に2～3回行った」と回答した割合） [質問番号(25)]
- 項目⑫：校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか。（「ほぼ毎日」「週に2～3日程度」と回答した割合） [質問番号小学校(101)・中学校(99)]

＜小学校＞

	児童質問紙										学校質問紙	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
全 国	38.0	17.0	5.0	62.0	11.5	96.4	63.8	82.0	71.9	61.4	17.5	91.6
三重県	38.4 (+0.4) <-1.5>	18.8 (+1.8) <-5.2>	5.6 (+0.6) <-2.3>	59.4 (-2.6) <-7.8>	9.0 (-2.5) <-1.6>	96.3 (-0.1) <-1.6>	53.3 (-10.5) <-2.9>	75.7 (-6.3) <-1.1>	67.1 (-4.8) <-5.4>	56.6 (-4.8) <-5.3>	18.9 (+1.4) <-14.4>	84.5 (-7.1) <-1.2>
桑名市	39.8 (+1.8) <-1.4>	18.0 (+1.0) <-0.8>	3.5 (-1.5) <-2.1>	59.0 (-3.0) <-0.4>	7.2 (-4.3) <-1.8>	96.1 (-0.3) <-0.2>	50.8 (-13.0) <-2.5>	75.6 (-6.4) <-0.1>	65.6 (-6.3) <-1.5>	52.8 (-8.6) <-3.8>	10.7 (-6.8) <-8.2>	85.8 (-5.8) <-1.3>
木曽岬町	40.0 (+2.0) <-1.6>	8.9 (-8.1) <-9.9>	4.4 (-0.6) <-1.2>	48.8 (-13.2) <-10.6>	2.2 (-9.3) <-6.8>	100.0 (+3.6) <-3.7>	53.3 (-10.5) <-0.0>	77.8 (-4.2) <-2.1>	64.4 (-7.5) <-2.7>	48.9 (-12.5) <-7.7>	0.0 (-17.5) <-18.9>	100.0 (+8.4) <-15.5>
いなべ市	33.0 (-5.0) <-5.4>	17.0 (+0.0) <-1.8>	6.1 (+1.1) <-0.5>	65.3 (+3.3) <-10.6>	4.6 (-6.9) <-4.4>	96.8 (+0.4) <-0.5>	55.5 (-8.3) <-2.2>	82.7 (+0.7) <-7.0>	69.7 (-2.2) <-2.6>	60.1 (-1.3) <-3.5>	33.3 (+15.8) <-14.4>	100.0 (+8.4) <-15.5>
東員町	36.9 (-1.1) <-1.5>	13.6 (-3.4) <-5.2>	3.3 (-1.7) <-2.3>	67.2 (+5.2) <-7.8>	7.4 (-4.1) <-1.6>	94.7 (-1.7) <-1.6>	56.2 (-7.6) <-2.9>	74.6 (-7.4) <-1.1>	72.5 (+0.6) <-5.4>	61.9 (+0.5) <-5.3>	33.3 (+15.8) <-14.4>	83.3 (-8.3) <-1.2>
四日市市	33.5 (-4.5) <-4.9>	16.5 (-0.5) <-2.3>	5.0 (+0.0) <-0.6>	61.8 (-0.2) <-2.4>	8.1 (-3.4) <-0.9>	96.9 (+0.5) <-0.6>	53.0 (-10.8) <-0.3>	77.1 (-4.9) <-1.4>	67.7 (-4.2) <-0.6>	55.5 (-5.9) <-1.1>	0.0 (-17.5) <-18.9>	97.4 (+5.8) <-12.9>
菰野町	42.8 (+4.8) <-4.4>	18.8 (+1.8) <-0.0>	7.0 (+2.0) <-1.4>	60.9 (-1.1) <-1.5>	4.7 (-6.8) <-4.3>	97.8 (+1.4) <-1.5>	52.0 (-11.8) <-1.3>	77.4 (-4.6) <-1.7>	64.7 (-7.2) <-2.4>	55.5 (-5.9) <-1.1>	0.0 (-17.5) <-18.9>	80.0 (-11.6) <-4.5>
朝日町	37.3 (-0.7) <-1.1>	25.3 (+8.3) <-6.5>	7.6 (+2.6) <-2.0>	54.5 (-7.5) <-4.9>	5.7 (-5.8) <-3.3>	89.3 (-7.1) <-7.0>	51.9 (-11.9) <-1.4>	64.0 (-18.0) <-11.7>	48.7 (-23.2) <-18.4>	48.1 (-13.3) <-8.5>	0.0 (-17.5) <-18.9>	100.0 (+8.4) <-15.5>
川越町	41.1 (+3.1) <-2.7>	25.2 (+8.2) <-6.4>	7.3 (+2.3) <-1.7>	53.0 (-9.0) <-6.4>	7.9 (-3.6) <-1.1>	92.8 (-3.6) <-3.5>	35.7 (-28.1) <-17.6>	74.2 (-7.8) <-1.5>	59.6 (-12.3) <-7.5>	49.6 (-11.8) <-7.0>	0.0 (-17.5) <-18.9>	100.0 (+8.4) <-15.5>
鈴鹿市	32.0 (-6.0) <-6.4>	14.7 (-2.3) <-4.1>	4.3 (-0.7) <-1.3>	60.9 (-1.1) <-1.5>	9.9 (-1.6) <-0.9>	97.4 (+1.0) <-1.1>	52.8 (-11.0) <-0.5>	77.0 (-5.0) <-1.3>	69.4 (-2.5) <-2.3>	56.9 (-4.5) <-0.3>	10.0 (-7.5) <-8.9>	96.6 (+5.0) <-12.1>
亀山市	42.7 (+4.7) <-4.3>	20.5 (+3.5) <-1.7>	7.2 (+2.2) <-1.6>	53.3 (-8.7) <-6.1>	10.0 (-1.5) <-1.0>	96.5 (+0.1) <-0.2>	49.8 (-14.0) <-3.5>	72.8 (-9.2) <-2.9>	64.6 (-7.3) <-2.5>	52.5 (-8.9) <-4.1>	9.1 (-8.4) <-9.8>	72.7 (-18.9) <-11.8>
津市	40.7 (+2.7) <-2.3>	19.4 (+2.4) <-0.6>	5.8 (+0.8) <-0.2>	60.4 (-1.6) <-1.0>	13.9 (+2.4) <-4.9>	96.3 (-0.1) <-0.0>	54.2 (-9.6) <-0.9>	75.0 (-7.0) <-0.7>	66.3 (-5.6) <-0.8>	58.9 (-2.5) <-2.3>	22.7 (+5.2) <-3.8>	90.5 (-1.1) <-6.0>
松阪市	40.5 (+2.5) <-2.1>	22.1 (+5.1) <-3.3>	6.3 (+1.3) <-0.7>	57.6 (-4.4) <-1.8>	11.4 (-0.1) <-2.4>	96.0 (-0.4) <-0.3>	49.9 (-13.9) <-3.4>	72.4 (-9.6) <-3.3>	65.2 (-6.7) <-1.9>	55.6 (-5.8) <-1.0>	25.0 (+7.5) <-6.1>	94.4 (+2.8) <-9.9>
多気町	33.4 (-4.6) <-5.0>	14.3 (-2.7) <-4.5>	4.0 (-1.0) <-1.6>	64.2 (+2.2) <-4.8>	6.4 (-5.1) <-2.6>	98.4 (+2.0) <-2.1>	63.5 (-0.3) <-10.2>	67.5 (-14.5) <-8.2>	75.4 (+3.5) <-8.3>	58.7 (-2.7) <-2.1>	20.0 (+2.5) <-1.1>	80.0 (-11.6) <-4.5>
明和町	45.9 (+7.9) <-7.5>	22.0 (+5.0) <-3.2>	4.0 (-1.0) <-1.6>	52.8 (-9.2) <-6.6>	6.7 (-4.8) <-2.3>	97.3 (+0.9) <-1.0>	51.0 (-12.8) <-2.3>	73.3 (-8.7) <-2.4>	63.1 (-8.8) <-4.0>	57.6 (-3.8) <-1.0>	16.7 (-0.8) <-2.2>	50.0 (-41.6) <-34.5>
大台町	47.7 (+9.7) <-9.3>	15.9 (-1.1) <-2.9>	3.4 (-1.6) <-2.2>	56.9 (-5.1) <-2.5>	9.1 (-2.4) <-0.1>	95.5 (-0.9) <-0.8>	59.1 (-4.7) <-5.8>	86.4 (+4.4) <-10.7>	78.4 (+6.5) <-11.3>	60.2 (-1.2) <-3.6>	25.0 (+7.5) <-6.1>	25.0 (-66.6) <-59.5>
伊勢市	42.2 (+4.2) <-3.8>	21.3 (+4.3) <-2.5>	7.0 (+2.0) <-1.4>	56.1 (-5.9) <-3.3>	7.3 (-4.2) <-1.7>	94.9 (-1.5) <-1.4>	61.4 (-2.4) <-8.1>	75.3 (-6.7) <-0.4>	67.7 (-4.2) <-0.6>	60.0 (-1.4) <-3.4>	16.7 (-0.8) <-2.2>	91.7 (+0.1) <-7.2>
玉城町	36.6 (-1.4) <-1.8>	16.8 (-0.2) <-2.0>	4.2 (-0.8) <-1.4>	57.5 (-4.5) <-1.9>	4.8 (-6.7) <-4.2>	98.8 (+2.4) <-2.5>	62.3 (-1.5) <-9.0>	77.8 (-4.2) <-2.1>	71.2 (-0.7) <-4.1>	58.1 (-3.3) <-1.5>	0.0 (-17.5) <-18.9>	75.0 (-16.6) <-9.5>
大紀町	39.4 (+1.4) <-1.0>	32.8 (+15.8) <-14.0>	19.6 (+14.6) <-14.0>	49.2 (-12.8) <-10.2>	6.6 (-4.9) <-2.4>	95.1 (-1.3) <-1.2>	41.0 (-22.8) <-12.3>	80.3 (-1.7) <-4.6>	50.8 (-21.1) <-16.3>	49.1 (-12.3) <-7.5>	0.0 (-17.5) <-18.9>	75.0 (-16.6) <-9.5>
南伊勢町	44.9 (+6.9) <-6.5>	25.7 (+8.7) <-6.9>	8.9 (+3.9) <-3.3>	66.6 (+4.6) <-7.2>	11.5 (+0.0) <-2.5>	98.8 (+2.4) <-2.5>	70.5 (+6.7) <-17.2>	84.6 (+2.6) <-8.9>	79.5 (+7.6) <-12.4>	71.8 (+10.4) <-15.2>	33.3 (+15.8) <-14.4>	100.0 (+8.4) <-15.5>
度会町	35.8 (-2.2) <-2.6>	19.7 (+2.7) <-0.9>	2.5 (-2.5) <-3.1>	77.8 (+15.8) <-18.4>	8.6 (-2.9) <-0.4>	97.5 (+1.1) <-1.2>	74.1 (+10.3) <-20.8>	77.8 (-4.2) <-2.1>	64.2 (-7.7) <-2.9>	70.4 (-9.0) <-13.8>	0.0 (-17.5) <-18.9>	100.0 (+8.4) <-15.5>
鳥羽市	42.2 (+4.2) <-3.8>	18.4 (+1.4) <-0.4>	4.9 (-0.1) <-0.7>	52.9 (-9.1) <-6.5>	6.5 (-5.0) <-2.5>	95.7 (-0.7) <-0.6>	58.9 (-4.9) <-5.6>	76.2 (-5.8) <-0.5>	75.2 (+3.3) <-8.1>	64.3 (+2.9) <-7.7>	50.0 (+32.5) <-31.1>	62.5 (-29.1) <-22.0>
志摩市	45.3 (+7.3) <-6.9>	19.5 (+2.5) <-0.7>	5.6 (+0.6) <-0.0>	54.5 (-7.5) <-4.9>	4.1 (-7.4) <-4.9>	96.9 (+0.5) <-0.6>	47.2 (-16.6) <-6.1>	71.3 (-10.7) <-4.4>	63.9 (-8.0) <-3.2>	50.0 (-11.4) <-6.6>	41.2 (+23.7) <-22.3>	82.3 (-9.3) <-2.2>
伊賀市	38.2 (+0.2) <-0.2>	18.3 (+1.3) <-0.5>	6.3 (+1.3) <-0.7>	67.2 (+5.2) <-7.8>	10.1 (-1.4) <-1.1>	95.8 (-0.6) <-0.5>	50.7 (-13.1) <-2.6>	74.3 (-7.7) <-1.4>	67.7 (-4.2) <-0.6>	56.6 (-4.8) <-0.0>	8.0 (-9.5) <-10.9>	76.0 (-15.6) <-8.5>
名張市	44.1 (+6.1) <-5.7>	22.4 (+5.4) <-3.6>	7.6 (+2.6) <-2.0>	58.1 (-3.9) <-1.3>	8.8 (-2.7) <-0.2>	96.7 (+0.3) <-0.4>	54.9 (-8.9) <-1.6>	77.2 (-4.8) <-1.5>	67.6 (-4.3) <-0.5>	57.4 (-4.0) <-0.8>	14.2 (-3.3) <-4.7>	71.5 (-20.1) <-13.0>
尾鷲市	41.7 (+3.7) <-3.3>	25.8 (+8.8) <-7.0>	6.7 (+1.7) <-1.1>	60.8 (-1.2) <-1.4>	8.3 (-3.2) <-0.7>	95.8 (-0.6) <-0.5>	50.8 (-13.0) <-2.5>	78.3 (-3.7) <-2.6>	77.5 (+5.6) <-10.4>	56.7 (-4.7) <-0.1>	71.4 (+53.9) <-17.5>	71.4 (-20.2) <-13.1>
紀北町	35.6 (-2.4) <-2.8>	21.5 (+4.5) <-2.7>	6.7 (+1.7) <-1.1>	61.8 (-0.2) <-2.4>	4.7 (-6.8) <-4.3>	97.3 (+0.9) <-1.0>	60.4 (-3.4) <-7.1>	77.8 (-4.2) <-2.1>	67.1 (-4.8) <-0.0>	57.0 (-4.4) <-0.4>	36.4 (+18.9) <-17.5>	45.5 (-46.1) <-39.0>
熊野市	42.9 (+4.9) <-4.5>	22.8 (+5.8) <-4.0>	5.4 (+0.4) <-0.2>	41.5 (-20.5) <-17.9>	5.4 (-6.1) <-3.6>	94.0 (-2.4) <-2.3>	55.7 (-8.1) <-2.4>	80.6 (-1.4) <-4.9>	64.5 (-7.4) <-2.6>	54.3 (-7.1) <-2.3>	44.4 (+26.9) <-25.5>	55.5 (-36.1) <-29.0>
御浜町	37.8 (-0.2) <-0.6>	25.6 (+8.6) <-6.8>	3.6 (-1.4) <-2.0>	43.9 (-18.1) <-15.5>	6.1 (-5.4) <-2.9>	97.6 (+1.2) <-1.3>	46.3 (-17.5) <-7.0>	75.6 (-6.4) <-0.1>	59.7 (-12.2) <-7.4>	68.3 (+6.9) <-11.7>	0.0 (-17.5) <-18.9>	100.0 (+8.4) <-15.5>
紀宝町	47.3 (+9.3) <-8.9>	16.7 (-0.3) <-2.1>	6.5 (+1.5) <-0.9>	32.5 (-29.5) <-26.9>	2.8 (-8.7) <-6.2>	95.4 (-1.0) <-0.9>	34.3 (-29.5) <-19.0>	68.6 (-13.4) <-7.1>	62.0 (-9.9) <-5.1>	47.2 (-14.2) <-9.4>	0.0 (-17.5) <-18.9>	80.0 (-11.6) <-4.5>

＜中学校＞

	生徒質問紙										学校質問紙	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
全 国	31.5	20.3	19.8	67.9	16.9	93.4	54.8	71.5	53.3	56.1	14.1	79.3
三重県	35.2 (+3.7) <-3.7>	24.0 (+3.7) <-3.7>	24.5 (+4.7) <-4.7>	64.4 (-3.5) <-3.5>	12.6 (-4.3) <-4.3>	92.8 (-0.6) <-0.6>	46.2 (-8.6) <-8.6>	62.1 (-9.4) <-9.4>	51.4 (-1.9) <-1.9>	53.2 (-2.9) <-2.9>	11.8 (-2.3) <-2.3>	69.2 (-10.1) <-10.1>
桑名市	37.6 (+6.1) <+2.4>	25.3 (+5.0) <+1.3>	23.4 (+3.6) <-1.1>	68.5 (+0.6) <+4.1>	14.6 (-2.3) <+2.0>	91.5 (-1.9) <-1.3>	41.4 (-13.4) <-4.8>	53.9 (-17.6) <-8.2>	40.7 (-12.6) <-10.7>	49.9 (-6.2) <-3.3>	0.0 (-14.1) <-11.8>	60.0 (-19.3) <-9.2>
木曽岬町	30.2 (-1.3) <-5.0>	15.8 (-4.5) <-8.2>	20.6 (+0.8) <-3.9>	55.5 (-12.4) <-8.9>	14.2 (-2.7) <+1.6>	84.1 (-9.3) <-8.7>	47.6 (-7.2) <+1.4>	60.3 (-11.2) <-1.8>	39.7 (-13.6) <-11.7>	60.3 (+4.2) <+7.1>	0.0 (-14.1) <-11.8>	100.0 (+20.7) <+30.8>
いなべ市	28.8 (-2.7) <-6.4>	21.4 (+1.1) <-2.6>	25.2 (+5.4) <+0.7>	75.5 (+7.6) <+11.1>	12.6 (-4.3) <+0.0>	96.7 (+3.3) <+3.9>	50.3 (-4.5) <+4.1>	81.3 (+9.8) <+19.2>	61.3 (+8.0) <+9.9>	62.7 (+6.6) <+9.5>	0.0 (-14.1) <-11.8>	50.0 (-29.3) <-19.2>
東員町	35.1 (+3.6) <-0.1>	25.8 (+5.5) <+1.8>	22.2 (+2.4) <-2.3>	70.2 (+2.3) <+5.8>	22.1 (+5.2) <+9.5>	92.7 (-0.7) <-0.1>	51.6 (-3.2) <+5.4>	69.4 (-2.1) <+7.3>	61.3 (+8.0) <+9.9>	64.9 (+8.8) <+11.7>	0.0 (-14.1) <-11.8>	50.0 (-29.3) <-19.2>
四日市市	31.3 (-0.2) <-3.9>	21.4 (+1.1) <-2.6>	22.5 (+2.7) <-2.0>	66.1 (-1.8) <+1.7>	15.4 (-1.5) <+2.8>	92.1 (-1.3) <-0.7>	48.0 (-6.8) <+1.8>	61.8 (-9.7) <-0.3>	58.3 (+5.0) <+6.9>	53.2 (-2.9) <+0.0>	31.8 (+17.7) <+20.0>	91.0 (+11.7) <+21.8>
菰野町	36.5 (+5.0) <+1.3>	23.5 (+3.2) <-0.5>	24.8 (+5.0) <+0.3>	65.9 (-2.0) <+1.5>	14.7 (-2.2) <+2.1>	93.1 (-0.3) <+0.3>	48.8 (-6.0) <+2.6>	66.4 (-5.1) <+4.3>	65.7 (+12.4) <+14.3>	53.7 (-2.4) <+0.5>	0.0 (-14.1) <-11.8>	50.0 (-29.3) <-19.2>
朝日町	20.2 (-11.3) <-15.0>	19.1 (-1.2) <-4.9>	19.1 (-0.7) <-5.4>	75.5 (+7.6) <+11.1>	17.0 (+0.1) <+4.4>	92.5 (-0.9) <-0.3>	52.1 (-2.7) <+5.9>	52.2 (-19.3) <-9.9>	48.9 (-4.4) <-2.5>	48.9 (-7.2) <-4.3>	0.0 (-14.1) <-11.8>	100.0 (+20.7) <+30.8>
川越町	31.9 (+0.4) <-3.3>	24.6 (+4.3) <+0.6>	18.1 (-1.7) <-6.4>	59.0 (-8.9) <-5.4>	12.3 (-4.6) <-0.3>	90.2 (-3.2) <-2.6>	52.5 (-2.3) <+6.3>	68.0 (-3.5) <+5.9>	56.6 (+3.3) <+5.2>	59.0 (+2.9) <+5.8>	0.0 (-14.1) <-11.8>	100.0 (+20.7) <+30.8>
鈴鹿市	30.9 (-0.6) <-4.3>	20.6 (+0.3) <-3.4>	21.8 (+2.0) <-2.7>	60.7 (-7.2) <-3.7>	10.9 (-6.0) <-1.7>	94.4 (+1.0) <+1.6>	44.5 (-10.3) <-1.7>	67.8 (-3.7) <+5.7>	54.5 (+1.2) <+3.1>	57.3 (+1.2) <+4.1>	0.0 (-14.1) <-11.8>	80.0 (+0.7) <-10.8>
亀山市	40.5 (+9.0) <+5.3>	30.2 (+9.9) <+6.2>	25.6 (+5.8) <+1.1>	62.8 (-5.1) <-1.6>	14.3 (-2.6) <+1.7>	91.5 (-1.9) <-1.3>	44.2 (-10.6) <-2.0>	54.5 (-17.0) <-7.6>	48.1 (-5.2) <-3.3>	52.9 (-3.2) <-0.3>	0.0 (-14.1) <-11.8>	100.0 (+20.7) <+30.8>
津市	35.9 (+4.4) <+0.7>	23.7 (+3.4) <-0.3>	25.1 (+5.3) <+0.6>	65.3 (-2.6) <+0.9>	12.9 (-4.0) <+0.3>	92.8 (-0.6) <+0.0>	46.4 (-8.4) <+0.2>	55.6 (-15.9) <-6.5>	45.8 (-7.5) <-5.5>	47.7 (-8.4) <-7.3>	4.5 (-9.6) <-7.3>	77.2 (-2.1) <+8.0>
松阪市	37.1 (+5.6) <+1.9>	28.5 (+8.2) <+4.5>	28.2 (+8.4) <+3.7>	65.0 (-2.9) <+0.6>	11.3 (-5.6) <-1.3>	90.4 (-3.0) <-2.4>	46.3 (-8.5) <+0.1>	67.8 (-3.7) <+5.7>	47.8 (-5.5) <-3.6>	49.7 (-6.4) <-3.5>	16.7 (+2.6) <+4.9>	41.6 (-37.7) <-27.6>
多気町	34.9 (+3.4) <-0.3>	21.0 (+0.7) <-3.0>	14.0 (-5.8) <-10.5>	60.5 (-7.4) <-3.9>	16.3 (-0.6) <-3.7>	81.4 (-12.0) <-11.4>	46.6 (-8.2) <+0.4>	39.6 (-31.9) <-22.5>	30.3 (-23.0) <-21.1>	41.9 (-14.2) <-11.3>	0.0 (-14.1) <-11.8>	0.0 (-79.3) <-69.2>
多気町松阪市学校組合	24.8 (-6.7) <-10.4>	14.5 (-5.8) <-9.5>	19.7 (-0.1) <-4.8>	69.3 (+1.4) <+4.9>	15.4 (-1.5) <+2.8>	94.9 (+1.5) <+2.1>	61.5 (+6.7) <+15.3>	78.6 (+7.1) <+16.5>	76.1 (+22.8) <+24.7>	56.4 (+0.3) <+3.2>	0.0 (-14.1) <-11.8>	100.0 (+20.7) <+30.8>
明和町	34.1 (+2.6) <-1.1>	23.0 (+2.7) <-1.0>	25.6 (+5.8) <+1.1>	58.4 (-9.5) <-6.0>	3.5 (-13.4) <-9.1>	96.0 (+2.6) <+3.2>	36.7 (-18.1) <-9.5>	46.4 (-25.1) <-15.7>	56.7 (+3.4) <+5.3>	51.8 (-4.3) <-1.4>	0.0 (-14.1) <-11.8>	0.0 (-79.3) <-69.2>
大台町	38.5 (+7.0) <+3.3>	13.9 (-6.4) <-10.1>	17.0 (-2.8) <-7.5>	75.4 (+7.5) <+11.0>	9.2 (-7.7) <-3.4>	95.4 (+2.0) <+2.6>	58.4 (+3.6) <+12.2>	70.8 (-0.7) <+8.7>	56.9 (+3.6) <+5.5>	69.2 (+13.1) <+16.0>	33.3 (+19.2) <+21.5>	66.7 (-12.6) <-2.5>
伊勢市	39.2 (+7.7) <+4.0>	26.5 (+6.2) <+2.5>	25.0 (+5.2) <+0.5>	63.6 (-4.3) <-0.8>	10.0 (-6.9) <-2.6>	92.6 (-0.8) <-0.2>	42.6 (-12.2) <-3.6>	55.9 (-15.6) <-6.2>	42.5 (-10.8) <-8.9>	52.2 (-3.9) <-1.0>	0.0 (-14.1) <-11.8>	66.6 (-12.7) <-2.6>
玉城町	32.2 (+0.7) <-3.0>	21.9 (+1.6) <-2.1>	26.0 (+6.2) <+1.5>	62.3 (-5.6) <-2.1>	10.3 (-6.6) <-2.3>	95.2 (+1.8) <+2.4>	61.6 (+6.8) <+15.4>	84.9 (+13.4) <+22.8>	71.3 (+18.0) <+19.9>	67.8 (+11.7) <+14.6>	0.0 (-14.1) <-11.8>	100.0 (+20.7) <+30.8>
大紀町	41.1 (+9.6) <+5.9>	26.7 (+6.4) <+2.7>	19.6 (-0.2) <-4.9>	73.2 (+5.3) <+8.8>	8.9 (-8.0) <-3.7>	91.1 (-2.3) <-1.7>	39.3 (-15.5) <-6.9>	39.3 (-26.8) <-17.4>	50.0 (-3.3) <-1.4>	39.3 (-16.8) <-13.9>	50.0 (+35.9) <+38.2>	100.0 (+20.7) <+30.8>
南伊勢町	40.2 (+8.7) <+5.0>	17.7 (-2.6) <-6.3>	15.6 (-4.2) <-8.9>	60.7 (-7.2) <-3.7>	16.7 (-0.2) <+4.1>	90.2 (-3.2) <-2.6>	58.8 (+4.0) <+12.6>	81.4 (+9.9) <+19.3>	72.6 (+19.3) <+21.2>	74.5 (+18.4) <+21.3>	0.0 (-14.1) <-11.8>	50.0 (-29.3) <-19.2>
度会町	30.2 (-1.3) <-5.0>	24.0 (+3.7) <+0.0>	27.0 (+7.2) <+2.5>	62.5 (-5.4) <-1.9>	11.5 (-5.4) <-1.1>	94.8 (+1.4) <+2.0>	46.9 (-7.9) <+0.7>	45.9 (-25.6) <-16.2>	41.7 (-11.6) <-9.7>	50.0 (-6.1) <-3.2>	0.0 (-14.1) <-11.8>	100.0 (+20.7) <+30.8>
鳥羽市	35.5 (+4.0) <+0.3>	27.7 (+7.4) <+3.7>	23.9 (+4.1) <-0.6>	68.9 (+1.0) <+4.5>	11.7 (-5.2) <-0.9>	91.6 (-1.8) <-1.2>	55.5 (+0.7) <+9.3>	64.5 (-7.0) <+2.4>	56.7 (+3.4) <+5.3>	53.9 (-2.2) <+0.7>	0.0 (-14.1) <-11.8>	60.0 (-19.3) <-9.2>
志摩市	39.4 (+7.9) <+4.2>	21.4 (+1.1) <-2.6>	23.6 (+3.8) <-0.9>	55.7 (-12.2) <-8.7>	7.9 (-9.0) <-4.7>	94.4 (+1.0) <+1.6>	54.3 (-0.5) <+8.1>	65.5 (-6.0) <+3.4>	52.3 (-1.0) <+0.9>	58.4 (+2.3) <+5.2>	0.0 (-14.1) <-11.8>	85.8 (+6.5) <+16.6>
伊賀市	41.1 (+9.6) <+5.9>	28.8 (+8.5) <+4.8>	28.5 (+8.7) <+4.0>	60.5 (-7.4) <-3.9>	13.2 (-3.7) <+0.6>	94.9 (+1.5) <+2.1>	45.1 (-9.7) <-1.1>	67.6 (-3.9) <+5.5>	52.1 (-1.2) <+0.7>	53.3 (-2.8) <+0.1>	10.0 (-4.1) <-1.8>	80.0 (+0.7) <+10.8>
名張市	39.9 (+8.4) <+4.7>	25.9 (+5.6) <+1.9>	29.4 (+9.6) <+4.9>	60.9 (-7.0) <-3.5>	13.3 (-3.6) <+0.7>	93.9 (+0.5) <+1.1>	42.9 (-11.9) <-3.3>	63.4 (-8.1) <+1.3>	51.0 (-2.3) <-0.4>	57.6 (+1.5) <+4.4>	20.0 (+5.9) <+8.2>	100.0 (+20.7) <+30.8>
尾鷲市	31.4 (-0.1) <-3.8>	30.7 (+10.4) <+6.7>	27.5 (+7.7) <+3.0>	73.9 (+6.0) <+9.5>	8.5 (-8.4) <-4.1>	90.2 (-3.2) <-2.6>	45.1 (-9.7) <-1.1>	61.4 (-10.1) <-0.7>	46.4 (-6.9) <-5.0>	47.7 (-8.4) <-5.5>	50.0 (+35.9) <+38.2>	50.0 (-29.3) <-19.2>
紀北町	38.8 (+7.3) <+3.6>	28.7 (+8.4) <+4.7>	31.2 (+11.4) <+6.7>	67.5 (-0.4) <+3.1>	7.6 (-9.3) <-5.0>	95.7 (+2.3) <+2.9>	43.1 (-11.7) <-3.1>	72.5 (+1.0) <+10.4>	60.0 (+6.7) <+8.6>	43.8 (-12.3) <-9.4>	0.0 (-14.1) <-11.8>	25.0 (-54.3) <-44.2>
熊野市	32.6 (+1.1) <-2.6>	16.3 (-4.0) <-7.7>	27.0 (+7.2) <+2.5>	48.2 (-19.7) <-16.2>	5.0 (-11.9) <-7.6>	95.8 (+2.4) <+3.0>	36.2 (-18.6) <-10.0>	53.9 (-17.6) <-8.2>	41.9 (-11.4) <-9.5>	48.2 (-7.9) <-5.0>	28.6 (+14.5) <+16.8>	42.9 (-36.4) <-26.3>
御浜町	41.6 (+10.1) <+6.4>	29.9 (+9.6) <+5.9>	16.9 (-2.9) <-7.6>	50.7 (-17.2) <-13.7>	1.3 (-15.6) <-11.3>	92.2 (-1.2) <-0.6>	62.4 (+7.6) <+16.2>	59.8 (-11.7) <-2.3>	29.9 (-23.4) <-21.5>	57.2 (+1.1) <+4.0>	33.3 (+19.2) <+21.5>	100.0 (+20.7) <+30.8>
紀宝町	41.2 (+9.7) <+6.0>	22.8 (+2.5) <-1.2>	36.0 (+16.2) <+11.5>	54.4 (-13.5) <-10.0>	4.4 (-12.5) <-8.2>	94.7 (+1.3) <+1.9>	41.2 (-13.6) <-5.0>	56.1 (-15.4) <-6.0>	46.5 (-6.8) <-4.9>	53.5 (-2.6) <+0.3>	0.0 (-14.1) <-11.8>	50.0 (-29.3) <-19.2>

6 各市町等別調査の結果・分析と今後の取組

※各市町等に関する調査結果、分析結果及び取組方策等の公表については、基本的に各市町等の判断により行います。各市町等の情報は、以下の各市町等のホームページ等をご覧ください。なお、リンク等の同意が得られた市町には、市町名に下線が示されています。

・ <u>桑名市</u>	・ <u>木曽岬町</u>	・ <u>いなべ市</u>	・ <u>東員町</u>	・ <u>四日市市</u>
・ <u>朝日町</u>	・ <u>菰野町</u>	・ <u>川越町</u>	・ <u>鈴鹿市</u>	・ <u>亀山市</u>
・ <u>津市</u>	・ <u>松阪市</u>	・ <u>多気町</u>	・ <u>多気町松阪市学校組合</u>	
・ <u>明和町</u>	・ <u>大台町</u>	・ <u>伊勢市</u>	・ <u>玉城町</u>	・ <u>大紀町</u>
・ <u>南伊勢町</u>	・ <u>度会町</u>	・ <u>鳥羽市</u>	・ <u>志摩市</u>	・ <u>伊賀市</u>
・ <u>名張市</u>	・ <u>尾鷲市</u>	・ <u>紀北町</u>	・ <u>熊野市</u>	・ <u>御浜町</u>
・ <u>紀宝町</u>				